



JGA ハンディキャップ規定 **(USGA ハンディキャップシステム準拠)**

2008-2011

規定マニュアル日本語版
【加盟倶楽部説明会用】

JGA ハンディキャップ規定 **(USGA ハンディキャップシステム準拠)**

【加盟倶楽部説明会用】

規定マニュアルおよび裁定集

有効期間：2008年1月1日～2011年12月31日

Copyright © 2008
United States Golf Association
All Rights Reserved

本規定マニュアル書の使い方

本書は JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) に関するすべてを網羅した完全規定マニュアルです。第 1 章は JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の目的および要項、第 2 章は重要な用語の定義を記載し、第 3 章～第 8 章ではプレーヤーとゴルフ倶楽部のハンディキャップ委員会の責任について詳細が盛り込まれています。第 10 章以降には JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の計算式、システムの抑制と均衡、JGA/USGA コースレーティング、ゴルフコースのセッティング、パーの設定、ハンディキャップストロークの割り当てなどを記載。巻末の付則には、異なるティーインググラウンドを使用する競技における JGA/USGA ハンディキャップインデックス調整方法のサンプル解説文、倶楽部向けの JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) 使用契約の必要事項、ゴルフ倶楽部監査手順などが含まれています。

本マニュアル書に慣れ親しんでいただくために、まず目次を通して JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) 全体がどのような構成になっているのかを理解して下さい。目次に記されている各項目タイトルと掲載ページを活用すれば、知りたい情報を的確に得ることができます。

第 2 章の用語の定義は重要です。JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) を理解するうえで非常に大切な用語は、規定条文全体を通してゴシック体で表示していますので、第 2 章の定義を参照しながら本規定の正しい理解を深めて下さい。

JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) について疑問が生じた時は、本マニュアル書を使って疑問を解消して下さい。規定の正しい理解と運用は、ゴルフをより公平で楽しいものとするための礎となります。

本規定は USGA ハンディキャップシステムに準拠しています。USGA ハンディキャップシステムは全米ゴルフ協会 (USGA) の知的所有物であり、これに基づいてハンディキャップインデックスを計算、認定、発行できるのは、JGA および JGA が認めた加盟倶楽部だけです。「JGA」および「JGA」が付記された用語を除いて、本規定に含まれるすべての内容および商標類は USGA の所有物であり、JGA および JGA が認めた加盟倶楽部以外はこれらを使用することができません。

規定の正式名称と略称について

本書内では規定の正式名称と略称を併用して表記してあります。

正式名称： JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠)

略 称： JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠)

目次

パート I – JGA ハンディキャップ規定（USGA ハンディキャップシステム準拠）の目的、認証、ライセンス認可、および用語の定義

第 1 章： JGA ハンディキャップ規定（USGA ハンディキャップシステム準拠）の目的、認証、ライセンス認可 1

1-1.	目的	1
1-2.	承認、ライセンス認可	2
	裁定集	4

第 2 章： 用語の定義 5

	裁定集	13
--	-----	----

パート II – ハンディキャップに関するプレーヤーの責任

第 3 章： プレーヤー 17

3-1.	JGA/USGA ハンディキャップインデックスの取得	17
3-2.	JGA/USGA ハンディキャップインデックスの使用	17
3-3.	コースハンディキャップ	17
3-4.	JGA/USGA ハンディキャップインデックスの上限	20
3-5.	異なるティーインググラウンドを使用する競技、男女が同じティーインググラウンドを使用する競技	20
3-6.	競技における正しいハンディキャップの適用	23
	裁定集	23

第 4 章： ホールスコアの調整 25

4-1.	ホールアウトしていないホール、コンシードされたストローク	25
4-2.	プレーしなかったホール、ゴルフ規則に従ってプレーされなかったホール	26
4-3.	ストロークコントロール（ESC）	26
	裁定集	28

プレーヤーおよびハンディキャップ委員会の責任

第 5 章： スコア 29

5-1.	採用可能なスコア	29
5-2.	スコアの提出	30
	裁定集	36

第6章： スコア記録	41
6-1. 継続的な記録	42
6-2. 非アクティブシーズン	42
6-3. ハンディキャップリストとスコア記録	42
6-4. ハンディキャップカード	43
6-5. 複数の倶楽部に所属するプレーヤー	43
6-6. プレーヤーが所属倶楽部を変更する場合	44
6-7. 倶楽部を退会した会員の記録	44
裁定集	44
第7章： プリファードライ (ウィンタールール)	47
7-1. プリファードライ適用時のスコアの採用	47
7-2. プリファードライ適用時の注意点	49
7-3. 通常のコース難易度の維持	49
ハンディキャップ委員会の責任	
第8章 ハンディキャップ委員会	50
8-1. ハンディキャップ委員長	50
8-2. 任務と責任	50
8-3. ハンディキャップの更新	55
8-4. ペナルティースコア、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正および停止	56
裁定集	59
第9章： ハンディキャップ競技	61
9-1. 競技に必要なハンディキャップ	61
9-2. JGA/USGA ハンディキャップインデックスの使用	62
9-3. ハンディキャップストロークの割り当て	65
9-4. ハンディキャップアローワンス	76
9-5. ハンディキャップ競技のタイの決定方法	78
裁定集	
計算式	
第10章： JGA/USGA ハンディキャップ計算式	82
10-1. ハンディキャップディファレンシャルの計算	82
10-2. JGA/USGA ハンディキャップインデックス計算式	83
10-3. 非常に優れたトーナメントスコアによる JGA/USGA ハンディキャップインデックスの引き下げ	85
10.4. コースハンディキャップ	91

10-5.	9 ホールハンディキャップ – ハンディキャップインデックス (N)	91
	裁定集	92

システムの抑制と均衡

第 11 章： ハンディキャップの管理 95

11-1.	ゴルフ倶楽部のハンディキャップ委員会	95
11-2.	スコア検証	95
11-3.	ハンディキャップディファレンシャルのワースト 10 枚の除外	95
11-4.	20 枚未満の提出スコア	95
11-5.	ストロークコントロール	96
11-6.	非常に優れたトーナメントスコアによる JGA/USGA ハンディキャップ インデックスの引き下げ	96
11-7.	JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正または停止	96
11-8.	ペナルティースコア	96
11-9.	承認されたゴルフ協会が発行するレーティング	96
11-10.	ライセンス認可の必要条件	96
11-11.	USGA ハンディキャップ部門	97

パート III – ゴルフコース

第 12 章： コースの実測 97

12-1.	基準測定点：パーマメントマーカー	97
12-2.	実測距離の測定	98

第 13 章： JGA/USGA コースレーティング 100

13-1.	用語の定義	100
13-2.	査定の基本条件	101
13-3.	査定の手順	101

第 14 章： コースレーティング査定の実施 105

14-1.	承認されたゴルフ協会による査定	105
14-2.	承認されたゴルフ協会による再査定	105
14-3.	査定チームのメンバー	105
14-4.	ゴルフ協会の記録管理	106
14-5.	コース改造	107
14-6.	ゴルフ倶楽部による仮レーティング	107

第 15 章： コースセッティング 107

15-1.	コース難易度の維持	107
15-2.	バランスの良いティーマーカーの設置	108

15-3.	ホールロケーション	109
15-4.	コース管理	110
15-5.	コースのマーキング	110
第 16 章： パーの設定		110
裁定集		111
第 17 章： ハンディキャップストロークの割り当て		111
17-1.	委員会の裁量	111
17-2.	スコアに基づく割り当て	113
17-3.	9 ホールコース	116
17-4.	27 ホールコース	116
17-5.	フォアボールおよびベストボールストロークプレー、ステーブルフォード	116
パートIV – 付則		
付則 A： JGA/USGA ショートコースハンディキャップの査定手順		119
A-1.	JGA/USGA ショートコースハンディキャップを使用できるゴルフ倶楽部	119
A-2.	JGA/USGA ショートコースハンディキャップの計算方法	119
付則 B： 第 8-4 項適用に関する通知文書サンプル例		123
付則 C： ジュニアパー		124
C-1.	ジュニアのレベル分類	124
C-2.	ジュニアパーの設定	124
C-3.	ジュニア用スコアカード	125
C-4.	ジュニアパーに基づくスコアの提出方法	126
付則 D： 第 3-5 項、および第 9-3c 項の解説文書サンプル例 (異なるティーインググラウンドを使用した競技)		127
付則 E： 非常に優れたトーナメントスコアの確率表		128
付則 F： 倶楽部向け JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) ライセンスプログラム		129
付則 G： ゴルフ倶楽部監査手順		131
付則 H： 最も上達したプレーヤーの決定方法		133

パートI — JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の目的、認証、ライセンス認可、および用語の定義

第1章： JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の目的、認証、ライセンス認可

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第2章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

1-1. 目的

JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) の目的は、技量の異なるプレーヤー同士が公正な基準で競い合えるようにすることにより、ゴルフをより楽しめるようにすることである。本システムは、各プレーヤーに対して技量差に拘わらず公平なコースハンディキャップを提供し、プレーヤーのスコア変動に応じて JGA/USGA ハンディキャップインデックスを調整する。また本システムは、プレーヤーの潜在技量と関連のない悪いスコアを除外し、シーズンまたは年をまたいだ JGA/USGA ハンディキャップインデックスの継続性を高めている。JGA/USGA ハンディキャップインデックスはすべてのプレー方式に通用し、JGA が認めたゴルフ倶楽部に所属する個人に対してのみ発行する。

JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) は2つの前提条件を根幹としている。一つは、各プレーヤーはプレーする場所に拘わらず毎ホール最善のスコアを目指すということであり、もう一つは、プレーヤーは採用可能なスコアをすべて提出し、スコアの検証を受けるということである。この前提条件を順守することは、プレーヤーとハンディキャップ委員会の共同責任である。

JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、JGA (承認されたゴルフ協会) またはゴルフ倶楽部によって発行され、プレーヤーの技量を小数第1位までの数値で表示する (例: 10.4)。

JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、標準難易度のコースにおけるプレーヤーの技量をスクラッチゴルファーの技量と比較したものである。プレーヤーはスコアに JGA/USGA コースレーティングおよびスローレーティングを添えて提出し、スコア記録に登録する。JGA/USGA ハンディキャップインデックスの計算には、最大20枚のスコアカード、および採用可能なトーナメントスコアが用いられる。この方法は提出カード枚数に応じたベストハンディキャップディファレンシャル(20枚中ベスト10枚が理想)に基づいているため、プレーヤーの潜在技量を反映する。

JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、プレーするコースやティーに拘わらず、どこへでも持ち運びが可能である。プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、プレーするティーのスローレーティングに基づいてコースハンディキャップに換算される。

JGA/USGA コースレーティングは、スクラッチゴルファーが通常のコンディションでプレーした場合のコース難易度を示す尺度である。スコアに影響を与える距離と障害の難易度に基づいて評価される。スローレーティングはスクラッチゴルファー以外のプレーヤーにとっての相対コース難易度を示す尺度である。各コースの各ティーには、スクラッチゴルファーとボギーゴルファー双方のレーティングが査定され、JGA/USGA コースレーティングとスローレーティングを併用することにより、スクラッチゴルファー以外のプレーヤーにとってのコース難易度を反映する。スクラッチゴルファーとボギーゴルファーのスコア差が大きいコースはスローレーティングが高くなり、プレーヤーに与えられるハンディキャップストロークは多くなる。反対に両者のスコア差が小さい場合、スローレーティングは低くなり、プレーヤーに与えられるハンディキャップストロークは少なくなる。

各プレーヤーは、コースハンディキャップ換算表を利用して自身の JGA/USGA ハンディキャップインデックスをコースハンディキャップに換算する。コースハンディキャップ換算表は、コースのクラブハウス内または1番ティーインググラウンド付近に設置されている。コースハンディキャップ換算表はティーマーク毎に設置され、男女別に使用する。プレーヤーには、コースの相対難易度(スローレーティング)に基づいたハンディキャップストローク(コースハンディキャップ) が与えられる。

JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) のすべてを網羅した本規定マニュアルを活用することによって、すべての競技をより楽しむことができる。

1-2. 承認、ライセンス認可

JGA (承認されたゴルフ協会) またはゴルフ倶楽部は、JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) を使用したり、USGA 商標を使用したり、JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発行するためには、USGA のライセンス認可を受けなければならない。JGA/USGA コースレーティングとスローレーティングを発行できるのは JGA (承認されたゴルフ協会) のみである。ゴルフ倶楽部が JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) に従わない場合、規定およびシステムの如何なる部分も使用することはできず、また「JGA/USGA ハンディキャップインデックス」、「JGA/USGA ショートコースハンディキャップ」、或いは USGA が認めたハンディキャップなどの名称を使用することはできない。(裁定 1-2/1、1-2/2 参照)

日本において、JGA (承認されたゴルフ協会) が管轄地域内にあるゴルフ倶楽部に JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) の使用を認めるためには、まず JGA が USGA からの文書による承認を受けなければならない。

USGA の商標類を使用できるのは、本マニュアルに明記された規定を順守したうえで JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) の使用を認められた JGA (承認されたゴルフ協会) またはゴルフ倶楽部のみである。

世界では100以上の承認されたゴルフ協会と数千を超えるゴルフクラブがUSGAハンディキャップシステムを使用し、ハンディキャップインデックスを発行している。

JGA(承認されたゴルフ協会)やゴルフクラブの方針は、「ゴルフ規則」および「JGAハンディキャップ規定(USGAシステム準拠)」と一致していなければならない。各ゴルフクラブはJGAハンディキャップ規定(USGAシステム準拠)を保全するためにハンディキャップ委員会を設置しなければならない。このことは必要不可欠な要件である。またゴルフクラブは、JGA(承認されたゴルフ協会)が発行したJGA/USGAコースレーティングおよびスローブレーティングを使用しなければならない。

下記はUSGAが保有する商標類である:「ボギーレーティング™」、「コースハンディキャップ™」、「コースレーティングおよびスロープデータベース™」、「エクイタブルストロークコントロール™」、「ESC™」、「ハンディキャップディファレンシャル™」、「ハンディキャップインデックス®」、「USGAハンディキャップシステム・クラブ向けライセンスプログラム™」、「ホールバイホール・ストローク分配分析プログラム™」、「ホームコースハンディキャップ™」、「ショートコースハンディキャップ™」、「USGAショートコースレーティング™」、「スロープ®」、「スローブレーティング®」、「スロープシステム®」、「トレンドハンディキャップ™」、「トレンドハンディキャップインデックス™」、「トレンドディファレンシャル™」、「全米ゴルフ協会®」、「USGA®」、「USGAコースレーティング™」、「USGAコースレーティング・ソフトウェアプログラム™」、「USGAコースレーティングシステム™」、「USGAハンディキャップシステム™」。

JGAが認めたゴルフクラブまたはJGA(承認されたゴルフ協会)以外の団体、およびゴルフクラブの会員以外の個人は、上記の商標類を使用したり、USGAのハンディキャップ計算式を含むJGAハンディキャップ規定(USGAシステム準拠)の如何なる部分をも使用することができない。但し、JGA(承認されたゴルフ協会)やゴルフクラブに対して、JGAハンディキャップ規定(USGAシステム準拠)に従った限定的な目的の範囲内で商品やサービスを提供する場合は例外とする。USGAは、USGA商標類の使用を認められた者が、USGAハンディキャップシステムの品位と信頼を損なわない使用方法をとるように確認する。これらの確立された商標類の権利所有者として、USGAはこれら商標類の使用を他者に認める唯一の権利を有する。

【裁定集】第1章： JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の目的、認証、ライセンス認可

1-1/1. 1人のプレーヤーが、右打ちと左打ちで異なる2つのJGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得する

質問： 1人のプレーヤーが右打ちでJGA/USGA ハンディキャップインデックス2.6を持ち、更に左打ちでJGA/USGA ハンディキャップインデックス29.3を持っている。これは認められるか？

回答： 認められない。JGA/USGA ハンディキャップインデックスはすべてのラウンドのベストプレーに基づいている。従って、JGA/USGA ハンディキャップインデックス29.3は無効となる。

1-1/2. 左打ちから右打ちに転向したプレーヤー

質問： 左打ちだったプレーヤーが左打ちでのプレーを辞めて、新たに右打ちでプレーを始めた。左打ちで取得したそのプレーヤーのJGA/USGA ハンディキャップインデックスは有効か？

回答： そのプレーヤーが左打ちでプレーしていた時に取得したJGA/USGA ハンディキャップインデックスは有効ではない。プレーヤーは事実上新たにゴルフを始めたことになり、右打ちのプレーで新規にJGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得する必要がある。

1-2/1. 倶楽部の方針がJGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) に則していない

質問： JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) を使用するためには、USGA は「ゴルフ規則」および「JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠)」に則した倶楽部の方針を義務づけている。もし倶楽部がこれに従わない旨の文書通知を提出した場合、どのような処置を取るのか？

回答： 文書通知を受けた場合、JGA (承認されたゴルフ協会) はその倶楽部に連絡を取る。もし倶楽部に順守を促すことができない場合、JGA は倶楽部に対して文書通知を行い、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの発行、JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の如何なる部分の使用、およびUSGA 商標類の使用は順守なくして不可能である旨を伝える。倶楽部が順守を拒否した場合は、JGA は他のJGA 加盟倶楽部およびJGA/USGA ハンディキャップインデックスの発行を認められた倶楽部に対して、その倶楽部のJGA/USGA ハンディキャップインデックス発行権が無効となった旨を通知する。

1-2/2. USGA の認可を受けていない倶楽部

質問： JGA (承認されたゴルフ協会) の加盟倶楽部でなく、JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の使用を JGA から認められていない倶楽部は、JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発行することができるか？

回答： できない。JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) を使用するためには、すべての倶楽部は JGA (承認されたゴルフ協会) の認可を受けなければならない。

第2章： 用語の定義

アクティブシーズン (Active Season)

「アクティブシーズン」とは、JGA (承認されたゴルフ協会) が、その期間中のスコアをハンディキャップ査定に採用できると定めた期間をいう。

調整グロススコア (Adjusted Gross Score)

「調整グロススコア」とは、JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) に従って調整したプレーヤーのグロススコアをいい、以下の場合に適用する：ホールアウトしていないホール、コンシードされたストローク、プレーしなかったホール、ゴルフ規則に従ってプレーされなかったホール、またはストロークコントロール (第4章参照)。

承認されたゴルフ協会 (Authorized Golf Association)

「承認されたゴルフ協会」とは、管轄する地域を有し、並びに管轄地域内のゴルフ倶楽部を通して JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) および/または JGA/USGA コースレーティングシステムの使用を USGA に認められたゴルフ協会をいう。日本では JGA が唯一の承認されたゴルフ協会である。

ボギーゴルファー (Bogey Golfer)

男子「ボギーゴルファー」とは、標準難易度のコースでコースハンディキャップが 20 前後のプレーヤーをいう。海拔ゼロメートルでのティーショット平均飛距離は 200 ヤードで、370 ヤードのホールで 2 オン可能である。女子「ボギーゴルファー」とは、標準難易度のコースでコースハンディキャップが 24 前後のプレーヤーをいう。海拔ゼロメートルでのティーショット平均飛距離は 150 ヤードで、280 ヤードのホールで 2 オン可能である。

ボギーレーティング (Bogey Rating)

「ボギーレーティング」とは、USGA の商標であり、通常のコンディションにおけるボギーゴルファーにとってのコース難易度を評価したものである。ヤーデージ、実効プレー距離、および障害難易度が、ボギーゴルファーのスコアに及ぼす影響度に基づいて評価される。

コースハンディキャップ (Course Handicap)

「コースハンディキャップ」とは、USGA の商標であり、特定のティーマークからコースをプレーした時にプレーヤーのスコアリング技量をスクラッチレベルに調整するために与えられるハンディキャップストロークをいう。プラスコースハンディキャップのプレーヤーの場合は、スコアリング技量をスクラッチレベルに調整するために差し引かれるハンディキャップストロークをいう。コースハンディキャップは、プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスにコースハンディキャップ換算表またはコースハンディキャップ計算式を適用して決定し(第 10-4 項参照)、整数で表示する。ハンディキャップアローワンスを適用したり、または異なる JGA/USGA コースレーティングで競技を行う場合は、これらの条件を適用した結果をコースハンディキャップとして採用する。

コースハンディキャップ換算表 (Course Handicap Table)

「コースハンディキャップ換算表」とは、特定のティーマークのスロープレーティングに基づいて JGA/USGA ハンディキャップインデックスをコースハンディキャップに換算した結果を示した一覧表をいう。

コースレーティング (Course Rating)

USGA コースレーティング参照。

ディファレンシャル (Differential)

ハンディキャップディファレンシャル参照。

ストロークコントロール (Equitable Stroke Control / ESC)

「ストロークコントロール (ESC)」とは、プレーヤーの潜在技量をよりハンディキャップに反映させることを目的として、ハンディキャップ査定のために各ホールスコアを下方修正することをいう。ESC は、プレーヤーのコースハンディキャップに基づいて各ホールの上限スコアを定めており、プレーヤーの実際のスコアまたは最も可能性の高いスコアが、第 4-3 項の表に定められた上限スコアを超える場合に限り適用する。

ゴルフ協会 (Golf Association)

「ゴルフ協会」とは、アマチュアゴルファーによって管理されるゴルフ倶楽部の統轄組織で、規約に基づいて運営され、アマチュア競技の開催、地域内におけるゴルフ振興およびゴルフの精神の順守を目的として設立されたものをいう。

ゴルフ倶楽部 (Golf Club)

「ゴルフ倶楽部」とは、最低 10 名の会員で構成する組織で、ゴルフ活動の管理、スコア検証の実施、および JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の保全を目的として、規約と委員会 (特にハンディキャップ委員会) によって運営されるものをいう (倶楽部コンプライアンスチェックリスト・第 8-2m 項、および裁定 2/7 参照)。ゴルフ倶楽部は JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) を利用するための USGA の認可を受けなければならない、この認可は既に USGA の認可を受けている JGA (承認されたゴルフ協会) の会員制度を通して受けることができる (付則 F 参照)。

承認されたゴルフ協会のなかには、事務管理上の理由で、ゴルフ倶楽部が承認されたゴルフ協会に加盟する条件として、USGA が定める最低会員数 10 名を超える所属会員数を義務づける場合がある。

ゴルフ倶楽部の会員同士は、合理的且つ定期的に共にプレーする機会を持たなければならない。スコアは会員本人が提出しなければならない、また会員仲間や倶楽部のハンディキャップ委員会を含む (但しそれらに限定しない)、他者によるスコアの検証を受けられるようにしなければならない。

ゴルフ倶楽部は、以下 3 種類のいずれかとする：

タイプ 1: タイプ 1 倶楽部は、有効な JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングを保持する特定のゴルフコースに会員が所属し、そのゴルフコースで倶楽部競技の大部分が開催され、また倶楽部のスコア記録が保管されている場合をいう。

タイプ 2: タイプ 2 倶楽部は、職業、共済、民族、または社交上の組織を通して会員が交流し、会員の多数が倶楽部の設立以前から交流関係にある場合をいう。

タイプ 3: タイプ 3 倶楽部は、互いに面識のない者同士が会員として集まり、入会方法の大部分が公募 (新聞やインターネットなど) によって行われる場合をいう。

注: JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の規定条文中では、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの取得を目的として認可を受けたゴルフ倶楽部に所属している者を会員と定義している。

グロススコア (Gross Score)

「グロススコア」とは、プレーヤーが実際に費やしたストローク数に罰打を加えたものをいう (調整グロススコア参照)。

ハンディキャップアローワンス (Handicap Allowance)

「ハンディキャップアローワンス」とは、コースハンディキャップの適用率をいい、ハンディキャップ競技での採用が奨励される。適用率は競技方法によって異なり、公平な競技を実施するために設定されている。

ハンディキャップ委員会 (Handicap Committee)

「ハンディキャップ委員会」とは、ゴルフ倶楽部の委員会であり、スコアの検証を含む JGA ハンディキャップ規定(USGA ハンディキャップシステム準拠)の順守を確保するものである。ハンディキャップ委員会のメンバーは、委員長を含み倶楽部会員が多数を占めなければならない。倶楽部の従業員はハンディキャップ委員会のメンバーに加わることはできるが、委員長にはなれない。

ハンディキャップディファレンシャル (Handicap Differential)

「ハンディキャップディファレンシャル」とは、プレーしたティーマークの JGA/USGA コースレーティングと調整グロススコアの差に 113 を掛け、更にスロープレーティングで割ったものをいう。端数を四捨五入した小数第 1 位までの数値で表示する (例:12.8)。

ハンディキャップインデックス (Handicap Index)

「ハンディキャップインデックス」とは、USGA の商標であり、標準難易度のコースにおけるプレーヤーの潜在技量を示した尺度をいう。小数第 1 位までの数値で表示され (例:10.4)、コースハンディキャップに換算して使用する(第 10 章参照)。日本では JGA/USGA ハンディキャップインデックスの名称で使用する。

ハンディキャップホール (Handicap-Stroke Hole)

「ハンディキャップホール」とは、プレーヤーがハンディキャップストロークを与えられるホールをいう (第 9-3a 項、および第 17 章参照)。

ハンディキャップタイプ (Handicap Type)

本規定マニュアル内では、種類の異なる「ハンディキャップタイプ」を、下記の略称コードで表示する。

L	=	ローカルハンディキャップ
M	=	ハンディキャップ委員会が修正したハンディキャップ
N	=	9 ホールハンディキャップインデックス
NL	=	ローカル 9 ホールハンディキャップ
R	=	非常に優れた競技成績により自動的に引き下げられたハンディキャップ
SL	=	ショートコースハンディキャップ
WD	=	ハンディキャップ委員会によって無効とされたハンディキャップ

非アクティブシーズン (Inactive Season)

「非アクティブシーズン」とは、JGA (承認されたゴルフ協会) が、その期間中のスコアをハンディキャップ査定に採用できないと定めた期間をいう。

インデックス (Index)

ハンディキャップインデックス参照。

JGA/USGA コースレーティング (JGA/USGA Course Rating)

USGA コースレーティング参照。

JGA/USGA ハンディキャップインデックス (JGA/USGA Handicap Index)

ハンディキャップインデックス参照。

JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠)

(JGA Handicap Regulation (in compliance with USGA Handicap System))

USGA ハンディキャップシステム参照。

ローカルハンディキャップ (Local Handicap)

「ローカルハンディキャップ」とは、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの上限を超えたハンディキャップ(第3-4項)、規定で認められた頻度を超過して査定されたハンディキャップ(第8-3項)、またはプレーヤーの一時的な身体障害に基づいて査定されたハンディキャップのいずれかをいう。ローカルハンディキャップはJGA/USGA ハンディキャップインデックスではなく、必ず略称コード「L」を付記して識別し、倶楽部内の使用に限定しなければならない。ローカルハンディキャップは小数第1位までの数値で示され、コースハンディキャップに換算して使用する(例41.5L)。(ハンディキャップタイプ、トレンドハンディキャップ、および第3-3項参照。)

最も可能性の高いスコア (Most Likely Score)

「最も可能性の高いスコア」とは、ホールアウトしなかったホールやストロークがコンシードされた場合に、ハンディキャップ査定のためにプレーヤーが提出しなければならないスコアをいう。最も可能性の高いスコアは、実際に費やしたストロークに、50パーセント以上の確率でそこからホールアウトするまでに費やすであろうとプレーヤー自身が判断したストローク数を足したものである。最も可能性の高いスコアは、そのプレーヤーのストロークコントロールのスコア上限を超えることはできない(第4-3項参照)。

ネットスコア (Net Score)

「ネットスコア」とは、プレーヤーのグロススコアからハンディキャップストロークを引いたものをいう。プラスハンディキャップのプレーヤーは、グロススコアにハンディキャップストロークを足したものがネットスコアとなる。

オーバーライド (Override)

「オーバーライド」とは、トーナメントスコアによるハンディキャップ引き下げ(第10-3項)をハンディキャップ委員会が取り消すことをいう。オーバーライドは、予想される第10-3項のハンディキャップ引き下げを妨げるための予防手段として使用されることはない。

パー (Par)

「パー」とは、上級プレーヤーにとってそのホールで想定されるスコアをいい、通常のコンディションにおけるプレーで、グリーン上で2打を費やすものとする。JGA ハンディキャップ規

定(USGA ハンディキャップシステム準拠)やJGA/USGA コースレーティングシステムでは、パーは重要な要素ではない(第16章参照)。

スコアの検証 (Peer Review)

「スコアの検証」とは、プレーヤーの潜在技量を理解し、提出されたスコアに関する裏付けや紛議の合理的基礎を形成するゴルファーの能力をいう。

スコアの検証には、以下2つの必須要素がある。

1. 同一のゴルフ倶楽部に所属する会員同士は、合理的且つ定期的に共にプレーする機会を持たなければならない(裁定2/8参照)。
2. スコア記録およびJGA/USGA ハンディキャップインデックスリストは、同一倶楽部の会員を含む(但しこれに限定しない)、他者による検査が受けられるように開示されなければならない。スコア記録の表示方法は下記2種類とする。

概要表示 — 概要スコア記録は、直近6回のプレーヤーのJGA/USGA ハンディキャップインデックス変更履歴を、以下の情報と共に表示しなければならない：
スコア、スコアタイプ、レーティング、ディファレンシャル、日付(年/月)。これらはスコア検証に拘わる者に開示されなければならない。

詳細表示 — 詳細スコア記録は、直近6回のプレーヤーのJGA/USGA ハンディキャップインデックス変更履歴を、以下の情報と共に表示しなければならない：
スコア*、スコアタイプ、レーティング、ディファレンシャル、日付(年/月/日)。これらは同一倶楽部の会員、倶楽部のハンディキャップ委員会、およびそのプレーヤーが参加する競技の役員に開示されなければならない。

* 詳細スコア記録には各スコアにコース名を付記するものとし、特にタイプ3倶楽部の場合はこれを義務づける。

ペナルティースコア (Penalty Score)

「ペナルティースコア」とは、スコアを提出しないプレーヤー、或いはJGA ハンディキャップ規定(USGA ハンディキャップシステム準拠)の精神を順守しないプレーヤーに対して、ハンディキャップ委員会が提出するスコアをいう(第8-4b項、第8-4c(iv)項参照)。

プラスハンディキャップ (Plus Handicap)

コースハンディキャップ参照。

プリファードライ (Preferred Lies)

「プリファードライ(ウィンタールール)」とは、競技を管理する委員会またはコースを管理する委員会が採用することのできるローカルルールをいい、不良な状態がコース全域にわたって広がっているために、ボールのライの改善を特定の方法で認める方がフェアプレーを積極的に進めることになり、またコースを保護することになると考えた場合に採用できる(第7章、および「ゴルフ規則」付則I参照)。

スコアタイプ (Score Type)

プレイヤーのスコア記録では、種類の異なる「スコアタイプ」を、下記の略称コードで表示する。

A	=	アウエイスコア
AI	=	アウエイ・インターネットスコア
C	=	連結9ホールスコア
I	=	インターネットスコア
P	=	ペナルティスコア
T	=	トーナメントスコア
TI	=	トーナメント・インターネットスコア

スコアタイプがトーナメントスコアまたはインターネットで提出されたスコアの場合は、調整グロススコアの後ろに指定略称コードを付記しなければならない。

スコア記録 (Scoring Record)

「スコア記録」とは、プレイヤーが提出した直近20枚までのスコアに採用可能なトーナメントスコアを加えた記録をいい、各スコアにはJGA/USGAコースレーティング、スロープレーティング、コース名*、日付を付記する。

*タイプ1およびタイプ2 ゴルフ倶楽部は奨励、タイプ3 ゴルフ倶楽部は義務。

スクラッチゴルファー (Scratch Golfer)

「スクラッチゴルファー」とは、レーティング査定されたすべてのコースをコースハンディキャップ0(ゼロ)でプレーできるプレイヤーをいう。レーティング査定上の定義は、男子スクラッチゴルファーは、海拔ゼロメートルでティーショット平均飛距離250ヤード、470ヤードのホールで2オン可能。女子スクラッチゴルファーは、海拔ゼロメートルでティーショット平均飛距離210ヤード、400ヤードのホールで2オン可能である。

スロープレーティング (Slope Rating)

「スロープレーティング」とは、USGAの商標であり、スクラッチゴルファー以外のプレイヤーにとってのコース難易度を、JGA/USGAコースレーティング(つまりスクラッチゴルファーのコース難易度)との相対比較によって示した尺度である。スロープレーティングはJGA/USGAコースレーティングとボギーレーティングの差に基づいて算出され、最少55から最大155までの数値で示される。標準難易度のコースのスロープレーティングは113である。

正規のラウンド (Stipulated Round)

「正規のラウンド」は、委員会が別途承認した場合を除き、コース内の複数ホールを正しい順番でプレーすることから成る。正規の1ラウンドのホール数は18である。但し、委員会によって例外的に18より少ないホール数が承認された場合を除く。タイの場合には、委員会は、マッチの勝ちが決まるのに必要な数だけ、正規のラウンドを延長することができる(「ゴルフ規則」用語の定義、および規則2-3参照)。

ストロークホール (Stroke Hole)

ハンディキャップホール参照。

トーナメントスコア (Tournament Score)

「トーナメントスコア」とは、競技を管理する委員会によって開催される競技で出されたスコアをいう。競技は**正規のラウンド**に基づいて優勝者を決定しなければならない、ゴルフ規則に従ってプレーされなければならない。

上記の定義を指針として、委員会は（競技を管理する委員会と協議したうえで**ハンディキャップ委員会**がこれを担うのが望ましい）、その競技が**トーナメントスコア**の条件を満たしているかどうかを事前に決定し、スコア提出の際に略称コード「T」を付記しなければならないかどうかを事前に通知しなければならない。

日常的に行われている競技（オープンコンペなど）は、伝統、スケジュール、競技形態、および倶楽部の会員制度に関わる重要度が高くないため、通常は**トーナメントスコア**に指定されない。

倶楽部間競技は、上記要件を満たす場合に、以下のような例が**トーナメントスコア**として提出することができる：年齢制限のある競技、メンバー・ゲスト競技、チーム戦、地域および全国競技の予選、ゴルフ協会が開催する競技。

倶楽部内競技は、上記要件を満たす場合に、以下のような例が**トーナメントスコア**として提出することができる：グロス競技、アンダーハンディ競技、フォアボールマッチ、ストロークプレー競技、ステーブルフォード競技、および倶楽部チャンピオンシップ（ストロークプレー、マッチプレー、スクラッチ、アンダーハンディで行われる場合）。

トレンドハンディキャップ (Trend Handicap)

「**トレンドハンディキャップ**」とは、仮ハンディキャップをいい、これには直近のハンディキャップ査定後に提出され検証を受けていないスコアが含まれる。**トレンドハンディキャップ**は**JGA/USGA ハンディキャップインデックス**ではなく、USGA はその使用を奨励していない。

USGA コースレーティング (USGA Course Rating)

「**USGA コースレーティング**」とは、USGA の商標であり、スクラッチゴルファーが通常のコンドিশョンでプレーした場合のコース難易度を示す尺度である。小数第1位までの数値で示され、ヤードージ、実効プレー距離、および障害難易度が、スクラッチゴルファーのスコアに及ぼす影響度に基づいて評価される。日本では**JGA/USGA コースレーティング**の名称で使用する。

USGA ハンディキャップインデックス (USGA Handicap Index)

ハンディキャップインデックス参照。

USGA ハンディキャップシステム (USGA Handicap System)

「USGA ハンディキャップシステム」とは、USGA の商標であり、技量の異なるプレーヤーが公平に競い合えるようにするための USGA のゴルフ技量評価方法を示すものである。日本では JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の名称で使用する。

ウィンタールール (Winter Rules)

プリファードライ参照。

【裁定集】第2章：用語の定義

2/1. 「ゴルフ倶楽部」の定義

質問： あるゴルフ団体は、広範囲の地域内に居住するプレーヤーが誰でも入会できる会員制度を運営している。通常会員は地域内にある様々なゴルフ施設でプレーし、会員同士と一緒にプレーすることはない。この団体は、第2章で定義されているゴルフ倶楽部に当てはまるか？

回答： 当てはまらない。ゴルフ倶楽部と見なすためには、「会員同士は、合理的且つ定期的に共にプレーする機会を持たなければならない」と第2章で明記されている。また、同一ゴルフ倶楽部で JGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得する会員は、狭い範囲の地域内に居なければならない。例えば、会員の自宅または会社住所は、通常ゴルフ倶楽部の主たる所在地から半径 50 マイル (80km) 以内でなければならない (タイプ 2 およびタイプ 3 倶楽部のみに適用)。

2/2. (保留)

2/3. (保留)

2/4. 練習場が会員に対して発行した JGA/USGA ハンディキャップインデックス

質問： 練習場は JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) を使用できるか？

回答： できる。練習場で一緒に練習することは、ゴルフ倶楽部の定義で定める「共にプレーする機会」には当てはまらないが、ゴルフ倶楽部の主たる所在地を練習場に置くことは問題ない。会員同士が合理的且つ定期的に共にプレーする機会を持ち、スコアの検証が実施され、倶楽部コンプライアンスチェックリストのすべての要件が満たされていれば、その倶楽部は JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発行することができる (裁定 2/7 参照)。

2/5. 会社の従業員で構成されたゴルフ倶楽部

質問： ある会社の従業員 52 名がゴルフ倶楽部を設立した。会員は同じ職場で働き、毎週 1 回仕事の後にリーグ戦を行っている。倶楽部は USGA の規約例に基づいて規約を制

定し、役員会議を実施している。ハンディキャップ委員会も設置し、ハンディキャップに関する報告は掲示板を通して全会員に通知している。スコアは会員各自が提出し、ハンディキャップ委員会によって検証されている。JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) のその他の要件もすべて順守している。このグループは JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) の使用認可を受けることができるか？

回答： できる。会員同士が共にプレーし、提出されたスコアを検証する合理的且つ定期的な機会を持っており、またハンディキャップ委員会が第8章に明記されるスコア検証の監視要件を満たす合理的機会を持っていることによって、スコア検証の基準は満たされている。

2/6. 公募によって会員を募っている団体

質問： 新聞やWEBサイト上の募集広告によってゴルフ倶楽部と称する組織への入会を募っている団体がある。プレーヤーはWEBサイトまたは郵送で入会申込みおよび会費の支払を行う。会員は頻繁に開催されるトーナメントに参加することができ、ハンディキャップレポートとスコア記録はWEBサイトまたは郵送により査定日に各会員へ通知される。会員は通常インターネット上でスコアを提出し、JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発給される。この団体は、JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) が定めるゴルフ倶楽部の定義を満たし、JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) を使用することができるか？

回答： できる。ゴルフ倶楽部の定義(第2章)に明記されている通り、タイプ3倶楽部は公募によって会員を募集するものと考えられている。但し、ゴルフ倶楽部の定義に加えて、ゴルフ倶楽部は、倶楽部コンプライアンスチェックリスト(第8-2m項参照)、およびJGAハンディキャップ規定(USGA システム準拠)のすべて(裁定2/7の記載内容を含む)を順守しなければならない。

2/6.5. 会員の公募がゴルフ倶楽部のタイプ種別に及ぼす影響

質問： 現在タイプ1またはタイプ2に分類されている倶楽部が公募によって会員を増員することはできるか？ また公募を実施したことにより、タイプ3倶楽部へ種別変更されるか？

回答： タイプに関係なくゴルフ倶楽部が会員を公募することは問題ない。公募により入会した会員が全体のなかで比較的少数であれば、倶楽部タイプの種別に影響は及ばない。

2/6.7. 会員制度に関わる第三者

質問： 複数のゴルフ倶楽部が共同で新規会員の公募を行い、第三者が関与して各倶楽部への入会手続きを実施した。これは認められるか？

回答： 各ゴルフ倶楽部は規約によって新規会員の承認手続きを定めることができる。第三者はプレーヤーに対して特定のゴルフ倶楽部へ入会できる可能性を告知することはできるが、入会申込み手続きはプレーヤー個人が行い、倶楽部によって承認されなければならない。入会候補者は、これらの要件を満たさない限り、倶楽部会員にはなれない。

2/7. ゴルフ倶楽部の定義に定められている、ゴルフ倶楽部のタイプ種別に関する順守・認可要件について

「主たる所在地」（タイプ2および3倶楽部のみ適用）

ゴルフ倶楽部の主たる所在地は、JGA ハンディキャップ規定（USGA システム準拠）の使用許可申請を行った時点で実際に倶楽部が所在している住所でなければならない。そのゴルフ倶楽部が存在している限り、JGA（承認されたゴルフ協会）への事前文書通知なくして主たる所在地を変更することはできない。ゴルフ倶楽部から JGA/USGA ハンディキャップインデックスの発給を受けている会員は、狭い範囲の地域内に居なければならない。

例えば、会員の自宅または会社住所は、通常ゴルフ倶楽部の主たる所在地から半径 50 マイル（80km）以内でなければならない。

「身分証明書」（タイプ3倶楽部のみ適用）

ゴルフ倶楽部の会員になるためには、各個人は身分および居住地に関する証明書を倶楽部に提出しなければならない。

「必要なプレー回数と倶楽部の規模」（タイプ3倶楽部のみ適用）

USGA は各倶楽部会員に対して、他の会員とラウンドしたスコアを毎シーズン最低 3 枚提出し、そのうち最低 1 枚は倶楽部主催競技であることを求めている。この最低条件を満たさない者は、ハンディキャップを無効にすべきである。

ゴルフ倶楽部の規模には限りがある。会員数が倶楽部主催競技の参加可能人数を超える場合、必要なプレー回数の要件を満たすことができない。例えば、会員数 200 名の倶楽部が、最大出場数 15 名の主催競技を 8 回しか開催しなかった場合、全会員が倶楽部主催競技に参加することはできない（8 競技×15 名＝120 名<会員数 200 名）。

「会員組織のまとめり」（全タイプに適用）

JGA ハンディキャップ規定（USGA システム準拠）を使用するには、ゴルフ倶楽部には会員組織のまとめりがなくてはならない。そのためにトーナメント以外のグループ活動が必要であり、グループの指針や、会議や懇親会などの催事も必要である。

「連絡先情報」（全タイプに適用）

ゴルフ倶楽部会員の連絡先については、全会員が情報を共有できるようにしなければならない。

2/7.5. 倶楽部主催競技

質問： 裁定 2/7 の「プレー回数要件」に関する項目で触れられている倶楽部主催競技とは、どのようなものを指すのか？

回答： 倶楽部主催競技とは、ゴルフ倶楽部が主催し、参加者の多数が倶楽部会員であり、参加者が同じゴルフコースで同一ラウンドをプレーするものをいう。競技方法はハンディキャップ査定に採用できるスコアによって最終結果を決めるものでなければならず、またゴルフ規則の理念に則ってプレーされなければならない。普段は共にプレーすることがない会員同士が倶楽部主催競技を通して交流できれば、スコア検証の実施を促進できる。但し、会員数 150 名の倶楽部が参加者数 4 名の競技を開催しても、倶楽部主催競技の要件を満たしたことはない。(新規追加項目)

2/8. 合理的且つ定期的に共にプレーする機会

質問： 「ゴルフ倶楽部」および「スコア検証」の定義のなかで、「同一倶楽部の会員同士が合理的且つ定期的に共にプレーする機会を持たなければならない」と記されているが、同じコースを別の組でプレーした場合は、この要件に当てはまるか？

回答： 当てはまらない。プレーヤーの潜在技量を理解し、提出されたスコアに関する裏付けや紛議の合理的基礎を形成するためには、同一倶楽部の会員同士が同じ組と一緒にプレーしなければならない。「ゴルフ倶楽部」および「スコア検証」の定義で示されているように、同じ日に同じコースでプレーしたというだけではスコア検証の必要条件を満たさない。

パートII – ハンディキャップに関するプレーヤーの責任

第3章： プレーヤー

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第2章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、提出されたスコアに基づいて算出されたものであり、ティーマーク毎にコースハンディキャップに換算して競技に使用する。

3-1. JGA/USGA ハンディキャップインデックスの取得

JGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得するためには、プレーヤーはゴルフ倶楽部に所属して調整グロススコアを提出しなければならない。これらのスコアは検証を受け、提出枚数が5枚に達した後、JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) に基づいて倶楽部はプレーヤーに JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発行できる。

3-2. JGA/USGA ハンディキャップインデックスの使用

ゴルフ倶楽部が発行する JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、スロープレーティング 113 のコースにおけるプレーヤーの潜在技量を示した数値であり、JGA (承認されたゴルフ協会) が定めたハンディキャップ更新日に更新・再発行される。直近の更新日に発行された自身の JGA/USGA ハンディキャップインデックスを知っておくことはプレーヤーの責任である。プレーヤーは JGA/USGA ハンディキャップインデックスをコースハンディキャップに換算して使用しなければならない。例えば、本章 P19 のコースハンディキャップ換算表サンプル例に示されているように、JGA/USGA ハンディキャップインデックス 16.2 は、スロープレーティング 140 のコースではコースハンディキャップ 20 となる (裁定 3-2/1、および 3-2/2 参照)。

3-3. コースハンディキャップ

コースハンディキャップは、プレーするコースとティーマークに応じてプレーヤーが受けるハンディキャップストロークである。

プレーヤーは、コースハンディキャップ換算表を使用して、JGA/USGA ハンディキャップインデックスをコースハンディキャップに換算する。レーティング査定された各ティーには、それぞれのスロープレーティングに基づいて男女別々にコースハンディキャップ換算表が設置されている。正しいコースハンディキャップを決定し、ハンディキャップストロークを与えたり受けるホールを知っておくことはプレーヤーの責任である (コースハンディキャップ換算表サンプル例、第 3-6 項、および「ゴルフ規則」規則 6-2 参照)。

コースハンディキャップは、プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスにプレーするコースのスロープレーティングを掛け、これを 113 で割ることによって決定する（第 10-4 項参照）。上記計算式の結果は小数点以下を四捨五入した整数で表示する。

ネットスコアが、プレーしたティーの JGA/USGA コースレーティングと同じだった場合、そのプレーヤーは自分のハンディキャップ通りのプレーをしたということになる。一般的に、このようなプレーは 4 ～ 5 ラウンドに 1 回あると考えられる。

コースハンディキャップ換算表はコースハンディキャップを決定するためのものであり、有効な JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングを持つゴルフ倶楽部は、JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) と併用する場合に限り使用が認められる。

注： コースハンディキャップ換算表には、当該ティーの JGA/USGA コースレーティングが明記されているものとする (P19 コースハンディキャップ換算表サンプル例参照)。

コースハンディキャップ換算表

発行： 日本ゴルフ協会

倶楽部名： JGA ゴルフ倶楽部 Tee： バックティースロープレーティング： 140JGA/USGA コースレーティング： 72.7 ボギーレーティング： 98.7性別： X 男子 女子

JGA/USGA ハンディキャップ インデックス	コース ハンディキャップ	JGA/USGA ハンディキャップ インデックス	コース ハンディキャップ
+3.5 ~ +2.9	+4	16.6 ~ 17.3	21
+2.8 ~ +2.1	+3	17.4 ~ 18.1	22
+2.0 ~ +1.3	+2	18.2 ~ 18.9	23
+1.2 ~ +0.5	+1	19.0 ~ 19.7	24
+0.4 ~ 0.4	0	19.8 ~ 20.5	25
0.5 ~ 1.2	1	20.6 ~ 21.3	26
1.3 ~ 2.0	2	21.4 ~ 22.1	27
2.1 ~ 2.8	3	22.2 ~ 23.0	28
2.9 ~ 3.6	4	23.1 ~ 23.8	29
3.7 ~ 4.4	5	23.9 ~ 24.6	30
4.5 ~ 5.2	6	24.7 ~ 25.4	31
5.3 ~ 6.0	7	25.5 ~ 26.2	32
6.1 ~ 6.8	8	26.3 ~ 27.0	33
6.9 ~ 7.6	9	27.1 ~ 27.8	34
7.7 ~ 8.4	10	27.9 ~ 28.6	35
8.5 ~ 9.2	11	28.7 ~ 29.4	36
9.3 ~ 10.0	12	29.5 ~ 30.2	37
10.1 ~ 10.8	13	30.3 ~ 31.0	38
10.9 ~ 11.7	14	31.1 ~ 31.8	39
11.8 ~ 12.5	15	31.9 ~ 32.6	40
12.6 ~ 13.3	16	32.7 ~ 33.4	41
13.4 ~ 14.1	17	33.5 ~ 34.3	42
14.2 ~ 14.9	18	34.4 ~ 35.1	43
15.0 ~ 15.7	19	35.2 ~ 35.9	44
15.8 ~ 16.5	20	36.0 ~ 36.7	45

換算表の使用方法について

- プレーヤーのJGA/USGAハンディキャップインデックスに該当する欄からコースハンディキャップを選んで下さい。
- 上記換算表はサンプル例です。実際のラウンド時には、使用ティーに設置されている換算表(性別毎)を使用して下さい。

3-4. JGA/USGA ハンディキャップインデックスの上限

JGA/USGA ハンディキャップインデックスの上限は、男子 36.4、女子 40.4 とする（第 10-5d 項参照）。

注： スロープレーティング 113 を超えるゴルフコースでは、JGA/USGA ハンディキャップインデックス上限値をコースハンディキャップに換算すると、この上限値よりも大きい数値になる。

例： JGA/USGA ハンディキャップインデックス 36.4 のプレーヤーは、スロープレーティング 133 のコースでは、コースハンディキャップ 43 となる。

プレーヤーは、この上限を超えるローカルハンディキャップを持つことができるが、その場合、ハンディキャップカードやレポートには必ず略称コード「L」を付記してローカルハンディキャップであることを明確にしなければならない（例：41.5L）。このようなローカルハンディキャップを倶楽部間競技で使用する場合は、本項で定める JGA/USGA ハンディキャップインデックス上限値に引き下げて使用することを USGA は奨励している。

3-5. 異なるティーを使用する競技、男女が同じティーを使用する競技

■ a. 異なるティー：男子 vs 男子、女子 vs 女子、男子 vs 女子

通常、異なるティーにはそれぞれ異なるレーティングが設定されている。JGA/USGA コースレーティングはスクラッチゴルファーの想定スコアを表したものであり、レーティングが高いコースほど難易度が高くなる。従って、JGA/USGA コースレーティングの高いティーを使用するプレーヤーは、双方の JGA/USGA コースレーティングの差（小数点以下を四捨五入した整数）をコースハンディキャップに追加する（裁定 3-5/1 参照）。

例 1： ミドルティー（男子 JGA/USGA コースレーティング 70.3）を使用する男子プレーヤーと、バックティー（男子 JGA/USGA コースレーティング 72.6）を使用する男子プレーヤーが対戦する場合、バックティーのプレーヤーはコースハンディキャップに 2 打を追加する（ $72.6 - 70.3 = 2.3 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 2$ ）。

例 2： フォワードティー（女子 JGA/USGA コースレーティング 73.4）を使用する女子プレーヤーと、ミドルティー（男子 JGA/USGA コースレーティング 70.9）を使用する男子プレーヤーが対戦する場合、フォワードティーの女子プレーヤーはコースハンディキャップに 3 打を追加する（ $73.4 - 70.9 = 2.5 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 3$ ）。

■ b. 同じティー：男子 vs 女子

男子と女子が対戦する場合、同じティーからプレーしてもレーティングは男女で異なる。通常、JGA/USGA コースレーティングは男子より女子の方が高いため、女子プレーヤーは、双方の JGA/USGA コースレーティングの差（小数点以下を四捨五入した整数）をコースハンディキャップに追加する。

例: ミドルティー(女子 JGA/USGA コースレーティング 77.3)を使用する女子プレーヤーと、同じミドルティー(男子 JGA/USGA コースレーティング 70.9)を使用する男子プレーヤーが対戦する場合、女子プレーヤーはコースハンディキャップに6打を追加する($77.3 - 70.9 = 6.4 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 6$)。

上記のハンディキャップ調整を行った結果が使用するティーのスロープレーティングに設定されたコースハンディキャップ最大値を超える場合でも、レーティングの高いティーを使用するプレーヤーのコースハンディキャップには、必ず追加ストロークを加えなければならない。但し別の方法としてJGA/USGAコースレーティングが低いティーを使用するプレーヤーのコースハンディキャップから、該当するストロークを差し引くことも可能。

第3-5項の正しい適用手順:

ステップ1: 第3-3項に従って、使用するティーのコースハンディキャップを計算する。

各プレーヤーのコースハンディキャップは、プレーするティーに設置されている男女別のコースハンディキャップ換算表を使用するか、またはコースハンディキャップ計算式(JGA/USGA ハンディキャップインデックス \times プレーするティーのスロープレーティング $\div 113$)を使用して決定する。

例: JGA/USGA ハンディキャップインデックス 26.5の女子プレーヤーが、スロープレーティング 120のティーからプレーする場合、コースハンディキャップは28となる(第3-3項のコースハンディキャップ計算式参照)。

JGA/USGA ハンディキャップインデックス 26.5の男子プレーヤーが、スロープレーティング 115のティーからプレーする場合、コースハンディキャップは27となる(第3-3項のコースハンディキャップ計算式参照)。

ステップ2: 第9-4項に従って、ハンディキャップアローワンスを適用する(適用可能な場合)。

例: フォアボールストロークプレー競技で男子は90パーセント、女子は95パーセントのJGA/USGA ハンディキャップインデックスを採用すると委員会が決定したとする。

ステップ1でコースハンディキャップ27となった男子は、コースハンディキャップ24となる($27 \times 0.9 = 24.3 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 24$)。

ステップ1でコースハンディキャップ28となった女子は、コースハンディキャップ27となる($28 \times 0.95 = 26.6 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 27$)。

ステップ3: それぞれの使用ティーに設定されているJGA/USGAコースレーティングの差を計算する(小数点以下を四捨五入した整数)。

例： 男子はミドルティー（男子 JGA/USGA コースレーティング 73.7）、女子はフロントティー（女子 JGA/USGA コースレーティング 69.8）を使用する。双方のレーティングの差を計算すると、 $73.3 - 69.8 = 3.9 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 4$ となる。

上記で算出したレーティング差を、JGA/USGA コースレーティングの高いティーを使用するプレーヤーのコースハンディキャップに追加する。但し別の方法として、JGA/USGA コースレーティングが低いティーを使用するプレーヤーのコースハンディキャップから、該当するストロークを差し引くことも可能（裁定 3-5/1 参照）。

例： JGA/USGA コースレーティングの高いティー(73.7)を使用する男子のコースハンディキャップは、ステップ 2 で導き出した数値に 4 打を追加して 28 となり、女子はステップ 2 のまま 27 となる。

一方、JGA/USGA コースレーティングが低いティーを使用する女子のコースハンディキャップから該当するストロークを差し引いた場合、ステップ 2 の数値から 4 打を引いて 23 となり ($27 - 4 = 23$)、男子はステップ 2 のまま 24 となる。

注： ステップ 2 およびステップ 3 で与えたり受けるストロークは、ハンディキャップ査定のためにストロークコントロール (ESC) を実施する際には無視する（第 4-3 項、例 2 および例 3 参照）。例えば、第 3-5 項の調整でコースハンディキャップ 25 に 3 打追加した場合、競技上の正しいコースハンディキャップは 28 だが（第 3-6 項参照）、ストロークコントロール (ESC) を実施する際のコースハンディキャップは 25 である。

第 3-5 項の図例

公平な競技の促進

プレーヤー A ゴールドティー	VS 使用ティー	プレーヤー B ブルーティー
$\begin{array}{r} 10.4 \\ 130 \\ \hline 12 \\ + 71.1 \\ \hline \textcircled{83} \end{array}$	JGA/USGA ハンディキャップインデックス スロープレーティング コースハンディキャップ JGA/USGA コースレーティング 目標スコア	$\begin{array}{r} 10.4 \\ 140 \\ \hline 13 \\ + 73.2 \\ \hline \textcircled{86} \end{array}$
$\begin{array}{r} 83 \\ - 12 \\ \hline \textcircled{= 71} \end{array}$	目標スコア コースハンディキャップ（第 3-5 項調整後） = ネットスコア	$\begin{array}{r} 86 \\ - 15 \\ \hline \textcircled{= 71} \end{array}$

付則 D - 第 3-5 項、および第 9-3c 項の解説文書サンプル例参照。

3-6. 競技における正しいハンディキャップの適用

「ゴルフ規則」の規則 6-2 では、競技において正しいハンディキャップを適用することをプレーヤーに義務づけている。競技における正しいハンディキャップとは、ハンディキャップアローワンス、競技の条件、異なるティーを使用する競技、または男女が同じティーを使用する競技の結果として、与えたり受けるハンディキャップストロークを調整したコースハンディキャップをいう（第 9-4 項、および第 3-5 項参照）。

■ a. マッチプレー

ハンディキャップ競技では、マッチを始める前に、プレーヤーは互いにそれぞれのコースハンディキャップを決める。プレーヤーがそのプレーヤーに認められるコースハンディキャップよりも多いコースハンディキャップを宣言した上でマッチを始め、このことが与えたり受けるストローク数に影響した場合、そのプレーヤーは競技失格となる。それ以外の場合には、プレーヤーは宣言したコースハンディキャップでプレーしなければならない。

■ b. ストロークプレー

ハンディキャップ競技では、プレーヤーは毎ラウンド、委員会にスコアカードを提出する前に、スコアカードに自分のコースハンディキャップが記入されていることを確認しなければならない。提出されたスコアカード（規則 6-6b）にコースハンディキャップの記入がない場合、または記入されたコースハンディキャップが認められているものよりも多くそのために受けるハンディキャップストローク数に影響した場合、そのプレーヤーは競技失格となる。それ以外の場合には、提出されたスコアカードはそのまま有効である。

注： ハンディキャップストロークを与えたり受けるホールを知っておくことは、プレーヤーの責任である。

【裁定集】第3章： プレーヤー

3-2/1. ハンディキャップインデックス(N) (9ホールハンディキャップインデックス)を持つプレーヤーが18ホール競技に参加する場合

質問： ハンディキャップインデックス(N)（第10-5項参照）を持つプレーヤーが18ホール競技への参加を望んでいるが、そのプレーヤーは18ホールのJGA/USGAハンディキャップインデックスを持っていない。このプレーヤーはどのように18ホールのハンディキャップを算出すればよいか？

回答： 9ホールハンディキャップインデックスを持つプレーヤーは、それを2倍して18ホールのプレーに使用する。但し、9ホールハンディキャップインデックスは、18ホールのJGA/USGAハンディキャップインデックスよりも正確でないということが言える。半分のホール数のスコアに基づいているために、そのプレーヤーが受けるストロークは、18ホールのJGA/USGAハンディキャップインデックスよりも一般的に1または2打少なくなる。

3-2/2. 18 ホールの JGA/USGA ハンディキャップインデックスと、ハンディキャップインデックス (N) (9 ホールハンディキャップインデックス) を持つプレーヤー

質問: あるプレーヤーが 18 ホールの JGA/USGA ハンディキャップインデックスとハンディキャップインデックス (N) を持っているが、ハンディキャップインデックス (N) を 2 倍しても 18 ホールの JGA/USGA ハンディキャップインデックスと同じにならない。このプレーヤーは競技ではどちらのハンディキャップインデックスを使用すればよいか？

回答: 18 ホール競技では 18 ホールの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを使用し、ハンディキャップインデックス (N) は 9 ホール競技で使用する。

3-5/1. JGA/USGA コースレーティングが異なる 2 つのティーを使用する競技で、参加者の多数がレーティングの高いティーを使用する場合のレーティング差調整方法

質問: 異なる 2 つのティーの JGA/USGA コースレーティングの差を調整する場合、レーティングの高いティーを使用するプレーヤーのコースハンディキャップにレーティング差を追加しなければならないとなっている。参加者 100 名の競技で 88 名がバックティーを使用し、12 名がフォワードティーを使用する場合、レーティングの差を 88 名のコースハンディキャップに加えるのではなく、委員会は 12 名のコースハンディキャップから差し引くことができるか？

回答: できる。全体的な影響は変わらないため、このような場合、委員会はレーティング差を差し引いて調整することができる。

3-5/2. ゴルフ倶楽部は、JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) 第 3-5 項の規定に則さない措置をとることができるか？

質問: 異なるティーを使用した競技において、ゴルフ倶楽部は JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) 第 3-5 項の規定に則さない措置をとることができるか？

回答: できない。異なるティーを使用する競技で JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) 第 3-5 項の規定を適用しないことは、「ゴルフ規則」の適用を排除することになり、競技を管理する委員会は「ゴルフ規則」の適用を排除する権限を持たない。

3-6/1. プレーヤーが JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) で認められるハンディキャップよりも多いハンディキャップをマッチで使用した場合

質問: コースハンディキャップ 23 のプレーヤー A と、コースハンディキャップ 31 のプレーヤー B がマッチで対戦した。第 9-4a(i) 項に定められているハンディキャップアローワンスを適用して、両者のコースハンディキャップの差である 8 打がプレーヤー B に与えられ、そのマッチはプレーヤー B が 1 アップで勝った。しかしプレーヤー A がプレーヤー B のハンディキャップについて質問したところ、JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) に定められているストロークコントロール (ESC) によるホールスコア調整を行っていなかったことをプレーヤー B は認めた。もし ESC によるホールスコア調整を行っていれば、プレーヤー

B のコースハンディキャップは 29 であったと判断し、委員会はプレーヤー B を規則 6-2a の違反で失格とした。委員会の裁定は正しいか？

回答：「ゴルフ規則」の規則 6-2a には次のように明記している。『ハンディキャップ競技では、マッチを始める前に、プレーヤーは互いにそれぞれのハンディキャップを決める。プレーヤーがそのプレーヤーに認められるハンディキャップよりも多いハンディキャップを宣言した上でマッチを始め、このことが与えたり受けるストローク数に影響した場合、そのプレーヤーは競技失格となる。それ以外の場合には、プレーヤーは宣言したハンディキャップでプレーしなければならない。』

たとえ ESC によるホールスコアの調整をプレーヤー B が怠ったためにコースハンディキャップが正確でないとしても、プレーヤー B のコースハンディキャップは 31 である。従って、プレーヤー B は規則 6-2a に違反しておらず、マッチの結果はそのままである。

プレーヤーがハンディキャップ査定のために各ホールのスコアを正しく記入したり提出したかどうかを、競技を開催する委員会が判断するのは現実的ではなく、「ゴルフ規則」は、プレーヤーがこれらを正しく行っていることを前提としている。従ってこのような場合には、ハンディキャップ査定のために提出したスコアにストロークコントロールを適用しなかったことを理由に、JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) 第 8-4c 項の規定に基づいて、ハンディキャップ委員会がプレーヤー B に対して適切な処置を下す。

第 4 章： ホールスコアの調整

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第 2 章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

ゴルフのゲームでは、プレーヤーが常に最善のプレーに務めることを前提としている。JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) は、ホールアウトしていないホール、プレーしなかったホール、または「ゴルフ規則」に従ってプレーされなかったホールのスコアを記入すること、並びにストロークコントロールのホール上限スコアを超えるスコアを下方修正することを、各プレーヤーに義務づけている。

4-1. ホールアウトしていないホール、コンシードされたストローク

ホールアウトしなかったホールやストロークがコンシードされたホールがある場合、プレーヤーはハンディキャップ査定のために、そのホールに最も可能性の高いスコアを記入しなければならない。最も可能性の高いスコアは、第 4-3 項に定義されているそのプレーヤーのストロークコントロールの上限スコアを超えることはできない。最も可能性の高いスコアは、略称コード「X」を付記して記入する (裁定 4-1-1 参照)。

ホールアウトしなかった理由がハンディキャップの改ざん目的でなければ、プレーヤーが 1 ラウンド中に認められるホールアウトしなかったホールの数に上限はない。

例1: プレーヤーAとプレーヤーBは、フォアボールストロークプレー競技にパートナーとして参加した。両者ともにハンディキャップを受けないホールで、プレーヤーAは第2打をホールまで残り6メートルにつけ、プレーヤーBは残り8メートルにつけた。プレーヤーBが先に第3打のパットを入れ、プレーヤーAはプレーヤーBのスコアを上回る可能性がなくなったために球をピックアップした。この場合、プレーヤーAの最も可能性の高いスコアは「4」となり、スコアカードには「X-4」と記入する。

例2: プレーヤーAとプレーヤーBがマッチプレーで対戦した。両者ともにハンディキャップを受けないホールで、プレーヤーAはスコア4で先にホールアウトし、プレーヤーBはカップまで10メートルの第5打を残した。このホールのプレーヤーBの負けが決定したために、プレーヤーBは球をピックアップした。この場合、プレーヤーBの最も可能性の高いスコアは「6」となり、スコアカードには「X-6」と記入する。

例3: プレーヤーAとプレーヤーBがマッチプレーで対戦した。両者ともにハンディキャップを受けないホールで、プレーヤーAは第4打をカップまで30センチにつけ、プレーヤーBは残り3メートルの第3打パットを外した。両者はともにコンシードし、このホールを分けた。この場合、プレーヤーAとプレーヤーBの最も可能性の高いスコアは「5」となり、スコアカードには両者とも「X-5」と記入する。

4-2. プレーしなかったホール、「ゴルフ規則」に従ってプレーされなかったホール

プレーしなかったホールやゴルフ規則に従ってプレーされなかったホール（プリファードライの場合を除く）がある場合、プレーヤーはハンディキャップ査定のために、そのホールのパーにそのホールでプレーヤーが受けるハンディキャップストロークを加えたスコアを記入しなければならない。このスコアは、略称コード「X」を付記して記入する。

例: コースハンディキャップ10のプレーヤーは、ハンディキャップホールの最初の10ホールで各ハンディキャップストローク1打を受ける。6番目のハンディキャップホール（パー4）がグリーン改造中だったためにプレーしなかった場合、そのホールのスコアはパー（4）にハンディキャップストローク（1）を加えたものでなければならず、スコアカードには「X-5」と記入する。

注: 「ゴルフ規則」に従ってプレーされなかったホールが多数に及ぶ場合は、そのラウンドのスコアをハンディキャップ査定のために提出してはならない。

4-3. ストロークコントロール (ESC)

トーナメントスコアを含む、ハンディキャップ査定のために提出するすべてのスコアには、ストロークコントロール(ESC)を適用しなければならない。ストロークコントロールは、プレーヤーの潜在技量をよりハンディキャップに反映させることを目的として、ハンディキャップ査定のために1ホールのスコアに上限を定めて調整する。

ESCを適用していないスコアによって査定されたハンディキャップを、JGA/USGAハンディキャップインデックスと呼ぶことはできない。

ESC は、下記の表に基づいて、プレーヤーの実際のスコアまたは最も可能性の高いスコアが1ホールのスコア上限を超えた場合に、使用するティーのコースハンディキャップに応じて適用する(9ホールのストロークコントロールについては第10-5c項参照)。

ストロークコントロール

コースハンディキャップ	1ホールのスコア上限
9以下	ダブルボギー
10～19	7
20～29	8
30～39	9
40以上	10

例: コースハンディキャップ6のプレーヤーは、1ホールのスコア上限は「パー+2打」(ダブルボギー)。コースハンディキャップ13のプレーヤーは、ホールのパーに関係なく1ホールのスコア上限は「7打」。コースハンディキャップ42のプレーヤーは、ホールのパーに関係なく1ホールのスコア上限は「10打」である。

JGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得していないプレーヤーは、JGA/USGA ハンディキャップインデックス上限値(男子36.4、女子40.4)を使用してコースハンディキャップを決定し、ストロークコントロールを実施しなければならない。

ストロークコントロールを適用する各ホールのスコアに上限はない。

例: コースハンディキャップ23のプレーヤーが、1ラウンド中3ホールでそれぞれスコア「9」、「10」、「11」を出した。この場合、各ホールのESC上限は「8」なので、ESC適用後のこのプレーヤーの調整グロススコアは、実際のスコアよりも6打少なくなり($[9 - 8] + [10 - 8] + [11 - 8] = 6$)、スコア記録にはこの調整グロススコアを記録する。

競技の条件、ハンディキャップアローワンス、異なるティーを使用する競技、または男女が同じティーを使用する競技などによってハンディキャップに調整が加えられる場合でも(第3-5項、第9-3c項、第9-4項参照)、ストロークコントロールを実施する際にはプレーヤーの実際のJGA/USGAハンディキャップインデックスを使用してコースハンディキャップを決定する。

例1: JGA/USGAハンディキャップインデックス35.4、コースハンディキャップ39のプレーヤーが、競技の条件としてJGA/USGAハンディキャップインデックス25.4を上限に定める競技に参加し、コースハンディキャップ28でプレーした。しかしストロークコントロールを実施する際は、このプレーヤーはコースハンディキャップ39を使用する。

例2： コースハンディキャップ 30 のプレーヤーがフォアボール競技に参加し、ハンディキャップアローワンス 90 パーセントの適用を受けてコースハンディキャップ 27 でプレーした。しかしストロークコントロールを実施する際は、このプレーヤーはコースハンディキャップ 30 を使用する。

例3： JGA/USGA ハンディキャップインデックス 25.4、コースハンディキャップ 28 のプレーヤーが、異なるティーを使用する競技に参加した。レーティングの高いティー (JGA/USGA コースレーティング 73.0) とレーティングの低いティー (JGA/USGA コースレーティング 71.2) のレーティング差は 2 打である ($73.0 - 71.2 = 1.8 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 2$)。このプレーヤーはレーティングの高いティーを使用したため、追加 2 打のハンディキャップストロークを受け、コースハンディキャップ 30 でプレーした。しかしストロークコントロールを実施する際は、このプレーヤーはコースハンディキャップ 28 を使用する。

例4： JGA/USGA ハンディキャップインデックス 25.4、コースハンディキャップ 28 のプレーヤーが、参加した競技をスコア「92」（ストロークコントロールを適用していないグロススコア）でプレーした。トーナメントでは「92」のスコアを提出したが、ハンディキャップ査定のためにスコアを提出する際には、必ずストロークコントロールによる調整を加えなければならない。

プレーヤーはいかなる場合においても、本章の規定を JGA/USGA ハンディキャップインデックスの改ざん目的に使用してはならない。もしそのような目的で本章の規定を使用した場合、ハンディキャップ委員会はそのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを第 8-4 項に基づいて修正するか、或いは無効としなければならない。

【裁定集】第4章： ホールスコアの調整

4-1/1. ホールアウトしなかったホールの「最も可能性の高いスコア」

質問： ホールアウトしなかったホールでは、プレーヤーはハンディキャップ査定のために、そのホールに「最も可能性の高いスコア」を記入しなければならないと、このスコアは、そのプレーヤーのストロークコントロール上限を超えることはできないと、第 4 章「ホールスコアの調整」で明記されている。「最も可能性の高いスコア」の具体的な意味は？

回答： 「最も可能性の高いスコア」は、各プレーヤーが自身のプレーに基づいて判断しなければならないものであり、実際に費やしたストロークに、50 パーセント以上の確率でそこからホールアウトするまでに費やすであろうとプレーヤー自身が判断したストローク数を足したものである。プレーヤーは個々の状況を、合理的な予測に基づいて評価しなければならない。

またプレーヤーは「最も可能性の高いスコア」とストロークコントロールの上限スコアを比較し、そのうち小さいスコアを採用する。例えば、「最も可能性の高いスコア」が「8」、ESC 上限スコアが「7」の場合、ハンディキャップ査定のためにスコアカードには「X-7」と記入する。

プレーヤーおよびハンディキャップ委員会の責任

第5章： スコア

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第2章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

5-1. 採用可能なスコア

ハンディキャップの公平性を高めるには、プレーヤーの潜在技量を反映した完全なスコア記録に関する正確な情報が必要である。各プレーヤーは、本章で定義されている採用可能なスコアすべてを提出する責任を負わなければならない。第4章で定めるすべての調整（ストロークコントロールを含む）は、トーナメントスコアを含むすべてのスコアに適用しなければならない。

■ a. スコアの提出

13ホール以上プレーした場合は、プレーヤーは18ホールのスコアを提出しなければならない。7～12ホールをプレーした場合は、プレーヤーは9ホールのスコアを提出しなければならない（裁定5-1a/3参照）。

■ b. すべてのコースのスコア

プレーヤーはアクティブシーズン中、JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングを持つすべてのコース（ホームコース、アウェイコース共に）のスコアを、適切なJGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングを付記して提出しなければならない（裁定5-1b/1参照）。

■ c. すべての形式の競技のスコア

マッチプレーおよびストロークプレーのスコアは、ハンディキャップ査定のために提出しなければならない。マッチプレー形式、複数ボール形式、またはチーム戦形式においてホールアウトしていないホールがある場合や、そのホールの負けが決定して球をピックアップした場合も、これに含まれる（裁定5-1c/1、および第4章参照）。

■ d. ゴルフ規則に従ったプレーのスコア

スコアは、ゴルフ規則の理念に則ったプレーによるものでなければならない（裁定5-1d/1、および5-1d/2参照）。

■ e. 失格

プレーヤーが競技失格となった場合でも、採用可能なスコアであれば、ハンディキャップ査定のために調整グロススコアを提出しなければならない。例えば、スコアカードの署名を怠ったために競技失格となったプレーヤーのスコアが、ハンディキャップ査定に採用可能なスコアの場合である。

■ f. 採用できないスコア

下記の条件に基づくスコアはハンディキャップ査定に採用することはできず、プレーヤーのスコア記録に登録してはならない。

- (i) プレーしたホールが7ホール未満の場合
- (ii) JGA(承認されたゴルフ協会)が定めた非アクティブシーズン中のゴルフコースでプレーが行われた場合
- (iii) ゴルフ規則の理念に従ってプレーされなかったホールが多数に及ぶ場合(プリファードライの場合を除く)
- (iv) 18ホールのコース距離が3,000ヤード未満の場合(9ホールのコースは1,500ヤード未満の場合)
- (v) 競技の条件としてクラブの本数が14本未満に制限されている場合、または使用できるクラブの種類が制限されている場合(例:アイアンのみを使用する競技など)
- (vi) JGA/USGAコースレーティングおよびスロープレーティングを持たないコースでプレーした場合
- (vii) 規則に適合しないクラブ、球、またはティーペグを使用した場合
- (viii) ゴルフ規則14-3に関連して、ストローク中に人工の機器や異常な用具を使用したり、用具を異常な方法で使用した場合(例外については裁定5-1f/2参照)

5-2. スコアの提出**■ a. 通則**

プレーしたコースにてラウンド終了後直ちに、プレーヤー自らが直接スコアを提出することは、スコアの検証を実施するための望ましい方法である。このスコア提出方法は、可能な限り実施されなければならない。スコア提出場所は、プレーヤーがなるべく容易に毎ラウンドのスコアを提出できるように設置するべきである。レポート形態はゴルフ倶楽部またはJGA(承認されたゴルフ協会)の責任であり、ハンディキャップ委員会が採用した手続きに従って実施する。提出されたスコアは、その日のうちに全会員に開示し、スコア検証を受けられるようにしなければならない(裁定5-2a/1)。

ハンディキャップ査定のために、プレーヤーは、プレーしたコースにてラウンド終了後直ちに、以下の情報を自ら提出しなければならない。もしそれが不可能な場合は、次回のハンディキャップ更新日の前にスコア記録が最新の状態になるように、できるだけ速やかに提出しなければならない(裁定 5-2a/2)。

- (i) プレーヤー名前、または ID 番号
- (ii) 日付
- (iii) コース名*
- (iv) プレーしたコースの JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティング
- (v) 調整グロススコア
- (vi) トーナメントスコアまたはインターネット上で提出されたスコアのスコアタイプ (スコアタイプ参照)

*タイプ 1 およびタイプ 2 ゴルフ倶楽部は奨励、タイプ 3 ゴルフ倶楽部は義務。

ハンディキャップ委員会は、E メール、ファックス、インターネット、郵送によるスコア提出を認めることができる。但し、電話による口頭でのスコア提出は認められない。

E メール、ファックス、インターネット、郵送で倶楽部に提出されたスコアは、プレーヤー自らが直接スコアを提出した場合と同様に、スコア検証を受けなければならない。E メール、ファックス、インターネット、郵送によるスコア提出をゴルフ倶楽部が認めた場合は、ハンディキャップ委員会はこれらのスコア受付に関する責任者 1 名を配置しなければならない。またインターネットでのスコア提出を認める場合は、倶楽部の全会員がインターネット上ですべてのスコアを検証できるようにしなければならない。

提出するのは合計スコアで良く、ホールバイホールのスコアは必要ない。ハンディキャップ委員会は委員会の責任遂行の補助として、定期的にスコアカード現物の提出やアテスト署名をプレーヤーに求めることができるが、このことを採用可能なスコアの条件として使用してはならない。ハンディキャップ査定に採用可能なスコアは、スコアカード現物の有無に拘わらず採用される(裁定 5-2a/3、および 5-2a/4 参照)。

■ b. 18 ホール未満のスコアの提出

13 ホール以上プレーした場合は、プレーヤーは 18 ホールのスコアを提出しなければならない。7～12 ホールをプレーした場合は、プレーヤーは 9 ホールのスコアを提出しなければならない。いずれの場合も、プレーしていないホールについては、そのホールのパーにそのホールでプレーヤーが受けるハンディキャップストロークを加えたスコアを記入しなければならない。(第 4 章、および第 5-1a 項参照)。

例： コースハンディキャップ 30 のプレーヤーが、日没のために 16 ホールでプレーを終了した。17 番ホールはハンディキャップナンバー 18 のパー 3 なので、このプレーヤーの 17 番のスコアは、パー (3) +ハンディキャップストローク (1) = 「X-4」となる。18 番ホールはハンディキャップナンバー 12 のパー 4 なので、このホールのスコアは、パー(4) +ハンディキャップストローク (2) = 「X-6」となる。

■ c. 9 ホールスコアの提出

9 ホールのスコアをハンディキャップ査定に採用するためには、以下の条件を満たさなければならない。

- (i) コースが 9 ホールの JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングを持っていないなければならない。
- (ii) 最低 7 ホール以上プレーしなければならない。

プレーヤーがスコア記録に登録できる 9 ホールスコアの数に制限はない。提出したスコアの大部分が 9 ホールスコアであっても、そのプレーヤーは、9 ホールのハンディキャップインデックス (ハンディキャップインデックス (N)) ではなく (計算式は第 10-5 項参照)、18 ホールの JGA/USGA ハンディキャップインデックス(第 10-2 項参照)を使用することができる(裁定 5-2c/1 参照)。

■ d. 9 ホールスコアの取扱について

提出された 9 ホールスコアは、以下のように取り扱う。

- (i) 9 ホールスコアをトーナメントスコア (T スコア) に指定してはならない。
- (ii) 2 つの 9 ホールスコアを連結して 18 ホールスコアにする場合、JGA/USGA コースレーティングは各 9 ホールの合計、スロープレーティングは各 9 ホールの平均 (小数点以下を四捨五入した整数) を使用する。
- (iii) 2 つの 9 ホールスコアが連結された 18 ホールスコアは、略称コード「C」を付記して記録する (例 85C)。またその 2 つの 9 ホールのうちいずれかがインターネット経由で提出されたものである場合 (第 5-2a(vi) 項参照)、略称コード「CL」を付記して記録する。
- (iv) 9 ホールスコアは、スコアタイプに拘わらず、プレーヤーのスコア記録への提出順で連結する。例えば、異なるコースのミドルティーとバックティーの 9 ホールスコアを、提出順に基づいて連結する。

9 ホールスコアを連結した 18 ホールスコアには、2 つの 9 ホールスコアのうち最も新しい方の日付とコース名 (必要に応じて) を付記する (例：4 月 29 日と 5 月 4 日の場合は 5 月 4 日を採用)。

スコア記録に登録されている20番目に古い18ホールスコアよりも新しい9ホールスコアは、他の9ホールスコアと連結することができる。9ホールスコアの連結はプレイヤーのスコア記録への提出順に基づいて行い、必ずしも日付順である必要はない。

プレイヤーがスコア記録に登録できる9ホールスコアの数に制限はない。提出したスコアの大部分が9ホールスコアであっても、そのプレイヤーは、9ホールのハンディキャップインデックス(ハンディキャップインデックス(N))ではなく(計算式は第10-5項参照)、18ホールのJGA/USGAハンディキャップインデックス(第10-2項参照)を使用することができる(裁定5-2c/1参照)。

■ e. トーナメントスコアの提出

トーナメントスコアとは、競技を管理する委員会によって開催される競技で出されたスコアをいう。競技は**正規のラウンド**に基づいて優勝者を決定しなければならない、ゴルフ規則に従ってプレーされなければならない。

委員会は(競技を管理する委員会と協議したうえで**ハンディキャップ委員会**がこれを担うのが望ましい)、その競技が**トーナメントスコア**の条件を満たしているかどうかを事前に決定し、スコア提出の際に略称コード「T」を付記しなければならないかどうかを事前に通知しなければならない。日常的に行われている競技(オープンコンベンなど)は、伝統、スケジュール、競技形態、および倶楽部の会員制度に関して重要度が高くないため、通常は**トーナメントスコア**に指定されない。

■ f. プレーヤーの代わりに委員会がスコアを提出する場合

プレーヤーがスコア提出を怠った場合、**ハンディキャップ委員会**はそのプレーヤーの承諾なしにスコアを提出することができる(第8-4b項参照)。競技においては、その競技を管理する委員会が参加者すべてのスコアを提出することができる。プレーヤーと委員会によるスコアの重複提出を避けるため、委員会はスコアを提出する際に必ずプレーヤーにその旨を通知しなければならない。

■ g. レーティング査定済みコースの未査定ティーインググラウンドを使用したスコアの提出
JGA(承認されたゴルフ協会)は、最も使用頻度の高いティーインググラウンドに**JGA/USGAコースレーティング**と**スロープレーティング**を査定する。もしプレーしたティーインググラウンドに該当する性別の**JGA/USGAコースレーティング**と**スロープレーティング**が査定されていない場合、プレーヤーは一時的な措置として以下の手順を適用することができる。

- ・ 該当する性別のレーティングが査定されている最も近いティーインググラウンドを選ぶ。
- ・ 選択したティーインググラウンドとプレーするティーインググラウンドのヤードージ差を算出する。
- ・ 次頁に記載した表を使用して、ヤードージ差によるレーティング調整値を導き出す。

女子：未査定ティーインググラウンドのレーティング調整表

査定済み ティーとの ヤードージ差	JGA/USGA コース レーティング 調整値	スロープ レーティング 調整値	査定済み ティーとの ヤードージ差	JGA/USGA コース レーティング 調整値	スロープ レーティング 調整値
0～8	0.0	0	621～638	3.5	7
9～26	0.1	0	639～656	3.6	8
27～44	0.2	0	657～674	3.7	8
45～62	0.3	1	675～692	3.8	8
63～80	0.4	1	693～710	3.9	8
81～98	0.5	1	711～728	4.0	8
99～116	0.6	1	729～746	4.1	9
117～134	0.7	1	747～764	4.2	9
135～152	0.8	2	765～782	4.3	9
153～170	0.9	2	783～800	4.4	9
171～188	1.0	2	801～818	4.5	10
189～206	1.1	2	819～836	4.6	10
207～224	1.2	2	837～854	4.7	10
225～242	1.3	3	855～872	4.8	10
243～260	1.4	3	873～890	4.9	10
261～278	1.5	3	891～908	5.0	11
279～296	1.6	3	909～926	5.1	11
297～314	1.7	4	927～944	5.2	11
315～332	1.8	4	945～962	5.3	11
333～350	1.9	4	963～980	5.4	11
351～368	2.0	4	981～998	5.5	12
369～386	2.1	4	999～1016	5.6	12
387～404	2.2	5	1017～1034	5.7	12
405～422	2.3	5	1035～1052	5.8	12
423～440	2.4	5	1053～1070	5.9	13
441～458	2.5	5	1071～1088	6.0	13
459～476	2.6	5	1089～1106	6.1	13
477～494	2.7	6	1107～1124	6.2	13
495～512	2.8	6	1125～1142	6.3	13
513～530	2.9	6	1143～1160	6.4	14
531～548	3.0	6	1161～1178	6.5	14
549～566	3.1	7	1179～1196	6.6	14
567～584	3.2	7	1197～1211	6.7	14
585～602	3.3	7	1212～1232	6.8	14
603～620	3.4	7	1233～1250	6.9	15

調整表の使用方法： 査定済みティーインググラウンドと未査定ティーインググラウンドのヤードージ差に該当する欄を選択し、JGA/USGA コースレーティングとスロープレータリングの調整値を導き出す。未査定ティーインググラウンドのヤードージが査定済みティーインググラウンドより長い場合、上記の調整値を査定済みティーインググラウンドのレーティングに加える。未査定ティーインググラウンドのヤードージが査定済みティーインググラウンドより短い場合、上記の調整値を査定済みティーインググラウンドのレーティングから差し引く。

男子：未査定ティーインググラウンドのレーティング調整表

査定済み ティーとの ヤーデーシ差	JGA/USGA コース レーティング 調整値	スロープ レーティング 調整値	査定済み ティーとの ヤーデーシ差	JGA/USGA コース レーティング 調整値	スロープ レーティング 調整値
0～10	0.0	0	407～428	1.9	5
11～32	0.1	0	429～450	2.0	5
33～54	0.2	0	451～472	2.1	5
55～76	0.3	1	473～494	2.2	5
77～98	0.4	1	495～516	2.3	5
99～120	0.5	1	517～538	2.4	6
121～142	0.6	1	539～560	2.5	6
143～164	0.7	2	561～582	2.6	6
165～186	0.8	2	583～604	2.7	6
187～208	0.9	2	605～626	2.8	7
209～230	1.0	2	627～648	2.9	7
231～252	1.1	3	649～670	3.0	7
253～274	1.2	3	671～692	3.1	7
275～296	1.3	3	693～714	3.2	8
297～318	1.4	3	715～736	3.3	8
319～340	1.5	4	737～758	3.4	8
341～362	1.6	4	759～780	3.5	8
363～384	1.7	4	781～802	3.6	9
385～406	1.8	4			

調整表の使用方法： 査定済みティーインググラウンドと未査定ティーインググラウンドのヤーデーシ差に該当する欄を選択し、JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングの調整値を導き出す。未査定ティーインググラウンドのヤーデーシが査定済みティーインググラウンドより長い場合、上記の調整値を査定済みティーインググラウンドのレーティングに加える。未査定ティーインググラウンドのヤーデーシが査定済みティーインググラウンドより短い場合、上記の調整値を査定済みティーインググラウンドのレーティングから差し引く。

未査定ティーインググラウンドのヤーデーシが査定済みティーインググラウンドより長い場合、上記表の調整値を査定済みティーインググラウンドのレーティングに加える。未査定ティーインググラウンドのヤーデーシが査定済みティーインググラウンドより短い場合は、上記表の調整値を査定済みティーインググラウンドのレーティングから差し引く。

この方法は、プレーヤーが異なるティーインググラウンドを組み合わせる場合にも適用できる。その場合は、まずプレーする合計ヤーデーシを決定し、上記の手順を適用する。

競技を管理する委員会が異なるティーインググラウンドを組み合わせる場合も、この方法を適用することができる。但しこの方法で決定したレーティングは、正式なJGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングではない。

9 ホールのレーティングを調整する場合は、JGA/USGA コースレーティングは実際のヤーデーシ差に基づいて決定し、スロープレーティングはヤーデーシ差を2倍した数値に基づいて決定する。

例1： 女子レーティングが査定されていないミドルティーから女子がプレーした。フォワードティーの女子 JGA/USGA コースレーティングは 71.6、スロープレーティングは 119、ミドルティーのヤーデージはフォワードティーより 396 ヤード長い。この場合、女子調整表を使用して、査定済みティーインググラウンドとのヤーデージ差「387～404」から、JGA/USGA コースレーティング調整値「2.2」、スロープレーティング調整値「5」を選択し、それぞれをフォワードティーのレーティングに加える。提出スコアには、JGA/USGA コースレーティング 73.8 ($71.6 + 2.2$)、スロープレーティング 124 ($119 + 5$) を記入する。

例2： 男子レーティングが査定されていないフォワードティーから男子が 9 ホールをプレーした。ミドルティーの男子 9 ホール JGA/USGA コースレーティングは 34.8、スロープレーティングは 117、フォワードティーのヤーデージはミドルティーより 195 ヤード短い。この場合、男子調整表を使用して、査定済みティーインググラウンドとのヤーデージ差「187～208」から JGA/USGA コースレーティング調整値「0.9」を選択し、2 倍のヤーデージ差 ($195 \times 2 = 390$) に該当する「385～406」からスロープレーティング調整値「4」を選択。それぞれをミドルティーのレーティングから差し引く。提出スコアには、JGA/USGA コースレーティング 33.9 ($34.8 - 0.9$)、スロープレーティング 113 ($117 - 4$) を記入する。

注1： 必要な JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティング (男女共に) が査定されていないコースをプレーした場合、プレーヤーは JGA (承認されたゴルフ協会) に連絡すること。

注2： 査定済みティーインググラウンドとのヤーデージ差が女子 1,250 ヤード、男子 802 ヤードを超える場合、そのヤーデージ差を 2 で割った数値を調整表に適用し、これに該当する JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングの調整値を 2 倍する。例えば、男子のヤーデージ差が 1,400 ヤードの場合、ヤーデージ差 700 ヤードに該当する「693～714」を選択し、調整値は JGA/USGA コースレーティングが「 $3.2 \times 2 = 6.4$ 」スロープレーティングは「 $8 \times 2 = 16$ 」となる。

【裁定集】第5章： スコア

5-1a/1. 任意に選択した 9 ホールを 2 回プレーしたスコアの使用

質問： ある倶楽部では、悪天候の時に多くのメンバーが、クラブハウスに近い 9 ホール (1、2、3、13、14、15、16、17、18 番) をプレーすることが多い。この 9 ホールを 2 回プレーしたスコアは、ハンディキャップ査定に採用できるか？

回答： できる。このようなプレー方法がよく行われている場合は、倶楽部は JGA (承認されたゴルフ協会) から、このプレー方法でハンディキャップディファレンシャルを決定できる JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングを取得することができる。

5-1a/2. 1人でプレーした時のスコア

質問： プレーヤーが1人でプレーした時のスコアは、ハンディキャップ査定に採用できるか？

回答： できる。但し、ゴルフ規則に従ってプレーした場合に限る。

5-1a/3. 臨時のグリーンまたはティーインググラウンドを使用したスコアを、ハンディキャップ査定に採用する

質問： 臨時のグリーンまたはティーインググラウンドを使用した場合、倶楽部はそのスコアをハンディキャップ査定に採用できるか？

回答： できる。コース改造中でもゴルフ規則に従ってプレーできる場合は、そのスコアは提出すべきである。レーティングの変更については、倶楽部は必ず JGA（承認されたゴルフ協会）に相談しなければならない。

5-1b/1. アウェイスコアを認めない倶楽部

質問： 倶楽部は、アウェイスコアをハンディキャップ査定に採用することを拒否できるか？

回答： できない。プレーヤーがすべての採用可能なスコアを提出してスコア検証を受けることは、JGA ハンディキャップ規定（USGA システム準拠）の基本理念である。

5-1c/1. マッチプレーとストロークプレーが複合された場合のスコアの取扱

質問： 倶楽部選手権のマッチプレー競技で対戦した2人のプレーヤーが、同時にストロークプレーでも競った。このようなプレー方法はゴルフ規則 33-1 で禁止されている。2人のプレーヤーは、このスコアをハンディキャップ査定のために提出できるか？

回答： ストロークプレーのスコアは、ハンディキャップ査定に採用できる。

5-1d/1. レッスンを受けながらプレーしたスコア

質問： レッスンを受けながらプレーしたスコアを提出できるか？

回答： できない。レッスンを受けながらのプレーはゴルフ規則に従って行われたプレーではなく（規則 8-1 参照）、そのスコアは JGA/USGA ハンディキャップインデックスの計算に使用することはできない。

5-1d/2. 1人のプレーヤーがラウンドを通して2つの球をプレーした場合のスコア

質問： あるプレーヤーは、しばしば1人でラウンドし、ラウンド全体を通して2つの球をプレーする。このプレーヤーは、それぞれの球のスコアをハンディキャップ査定のために提出することができるか？

回答： できない。2つの球をプレーすることは、ゴルフ規則に従ったプレーとはみなされず（規則7-2参照）、いずれの球でプレーしたスコアも提出することはできない。

5-1f/1. パー3コースのスコア

質問： 距離3,000ヤード未満のパー3コースでのスコアがJGA/USGAハンディキャップインデックスの査定に採用できないのは何故か？

回答： 一般的にこのようなコースでは、14本すべてのクラブを使用することが求められず、そのスコアを通常のコースと同じ基準でハンディキャップ査定に使用するのとは公平ではない。また、このようなショートコースでのスコアは、使用クラブの種類を制限した競技でのスコアと同様である。従って、ハンディキャップ査定に採用することはできない。

但し、パー3コースのスコアは、そのようなショートコースでの使用に限定したハンディキャップ（ショートコースハンディキャップ）を査定するために採用することができる。詳細は付則Aを参照。

5-1f/2. 距離計測機器を使用したプレーのスコア

質問： 距離計測機器を使用したプレーのスコアは、ハンディキャップ査定に採用できるか？

回答： 使用した距離計測機器が距離のみを測定する機器であれば、委員会が距離測定機器の使用を認めるローカルルールを制定しているか否かに拘わらず、そのスコアはハンディキャップ査定に採用することができる。しかし、プレーヤーのプレーに影響する可能性のあるその他の条件（例えば風や傾斜など）を測定する機器を使用することは認められず、そのような付属の機能を実際に使用したかどうか拘わらず、その機器を使用したプレーのスコアはハンディキャップ査定に採用することができない。（改訂項目）

5-1f/3. ストローク中に人工の機器を使用したプレーのスコア

質問： ストローク中にタオルを脇の下に挟むなど、人工の機器を使用したプレーのスコアは、ハンディキャップ査定に採用できるか？

回答： できない。規則14-3に定められているように、ストローク中に人工の機器を使用した場合、そのスコアは第5-1f(viii)項に基づいて、ハンディキャップ査定に採用することはできない。

5-2a/1. 指定期間内のスコア提出

質問： 倶楽部会員のなかにはプレー日の2ヶ月後にスコアを提出する者がいる。プレー日から2週間以内のスコア提出をハンディキャップ委員会が義務づけることは適切か？

回答： 適切である。通常、スコアはラウンド終了直後、または可及的速やかに提出すべきである。ハンディキャップ委員会は、情状を酌量したうえで、スコア提出の合理的な期限を定めることができる。

5-2a/2. スコア提出が遅れてハンディキャップ更新日に間に合わなかった場合

質問： 5月1日はハンディキャップ更新日だったが、4月30日にプレーしたプレーヤーがスコアを提出したのは5月2日だった。この場合、ハンディキャップ委員会はそのような措置をとれば良いか？

回答： 可能であれば、4月30日のスコアを追加してこれらのプレーヤーのハンディキャップを直ちに再計算する。ハンディキャップ計算を外部委託している倶楽部など、もしそれが不可能な場合は、そのスコアは次回のハンディキャップ更新日まで持ち越す。

5-2a/3. スコアカードの提出

質問： ハンディキャップ委員会は、プレーヤーに対してスコアカード現物の提出を義務づけることはできるか？

回答： できない。ハンディキャップ委員会は、プレーヤーのスコア調整が正確に実施されているかどうかを確認するために、定期的にスコアカード現物の提出を求めることはできるが、仮にスコアカードの提出がなくても、スコア記録やJGA/USGAハンディキャップインデックスに関するペナルティーを課すことがあってはならない。

5-2a/4. JGA/USGAハンディキャップインデックスの停止または修正を受けたプレーヤーに対する、スコアカード提出の義務づけ

質問： ハンディキャップ委員会によってJGA/USGAハンディキャップインデックスが停止されたり修正されたプレーヤーが、新たにJGA/USGAハンディキャップインデックスの取得を認められた場合、ハンディキャップ委員会はそのプレーヤーに対してスコアカードの提出を義務づけることはできるか？

回答： できる。ハンディキャップ委員会によってJGA/USGAハンディキャップインデックスが停止されたり修正されたプレーヤーに対して、ハンディキャップ委員会は観察期間内のスコアカード提出を要請することができる。

5-2a/5. フォアボール競技でスコア未記入のホールがある場合

質問： 倶楽部主催のフォアボール競技に参加したプレーヤーは、ゴルフ規則 31-3 に従って、2つのホールでパートナーのスコアを採用したため自分のスコアを記入しなかった。ハンディキャップ査定のために、委員会はこのプレーヤーの2ホールのスコアをどのように記入すれば良いか？

回答： プレーヤー自身がスコア未記入ホールのスコアを覚えている場合は、そのプレーヤーはストロークコントロールの上限範囲内で実際のスコアを記入しなければならない。プレーヤーが球をピックアップした場合は、委員会はそのプレーヤーがホールアウトしたものと仮定して、最も可能性の高いスコアを記入しなければならない(第4-1項参照)。しかしながら、これらの情報が得られない場合は、委員会はスコア未記入ホールに、そのホールのパーにプレーヤーが受けるハンディキャップストロークを加えたスコアを記入しなければならない(第4章、および裁定 4-1/1 参照)。

注： ハンディキャップ査定のためにプレーヤーに認められる1ラウンドのスコア未記入ホール数には上限がある。プレーヤーは、18ホールスコアでは13ホール以上プレーしなければならない。従って、9ホールスコアでは7ホール以上プレーしなければならない。従って、18ホールスコアで認められるスコア未記入ホールは最大5ホール、9ホールスコアでは最大2ホールとなる。

5-2a/6. インターネットでのスコア提出

質問： インターネットでのスコア提出に関する重要なポイントは？

回答： インターネットの簡便性により、ゴルフ倶楽部とハンディキャップ委員会はインターネットによるスコア提出を積極的に推進できるとUSGAは考えている。インターネットでのスコア提出を実施する場合は、倶楽部の全会員がインターネット上ですべてのスコアを検証できるようにすることが義務づけられている。会員同士で常時スコアを検証し合えるこの方法は、スコア検証の機能を向上させることができ、ゴルフ倶楽部とJGAハンディキャップ規定(USGAシステム準拠)の基礎をより強固にすると考えられる。

5-2a/7. 18ホール未満でマッチが終了し、その後プレーヤーが残りホールをプレーした場合のスコア

質問： 16番ホールでマッチの勝敗が決した後、プレーヤーは残り2ホールをプレーした。この2ホールのスコアはどのように記入すれば良いか？

回答： このプレーヤーの実際のスコアを記入すべきである。マッチ終了後ホールのスコアが過大であると委員会が判断した場合は、第8章の規定を適用することができる(第8-4c(v)項参照)。

5-2a/8. モバイル端末またはワイヤレス機器によるスコア提出

質問： プレーヤーは、モバイル端末やワイヤレス機器を使用して個人的にスコアを提出できるか？

回答： できる。インターネットのスコア提出を認めている倶楽部の会員は、このような方法でスコアを提出することができる。このような方法はコンピューター端末を使用したインターネットのスコア提出と同様であるため、これらの機器の使用は認められる。

5-2a/9. ウェブサイト上でのハンディキャップ取得

質問： 個人はウェブサイト上でJGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得できるか？

回答： できない。但し、ライセンス認可を受け、JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) を完全に順守し、主にウェブサイトを通して会員とコミュニケーションを図るゴルフ倶楽部から、個人はJGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得することができる (裁定 2/7 参照)。

5-2c/1. 9 ホールスコアの連結方法

質問： 27 ホールの総当たり戦形式のように、複数の9 ホールをプレーする競技の場合、各9 ホールスコアはどのように連結すれば良いか？

回答： 9 ホール毎の総当たり戦、または27ホールや複数の9ホールで争う競技方法の場合、USGA は以下の方法で各9 ホールスコアを連結することを奨励している：

1 番目と2 番目にプレーした9 ホールのスコアを連結して18 ホールスコアとする。3 番目にプレーした9 ホールのスコアは、9 ホールスコアとして提出し、別の9 ホールスコアと連結した時点でスコア記録に登録する。

また例外として、例えば1人のプレーヤーが1日に27ホールをプレーし、そのうち最初の9ホールが練習ラウンドだった場合、最初にプレーした練習ラウンドの9ホールを9ホールスコアとして提出し、続く2つの9ホールスコアを連結して18ホールスコアとする。

上記いずれの場合も、連結した2つの9ホールスコアは、18ホールのトーナメントスコアに指定することができる。

第6章： スコア記録

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第2章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

6-1. 継続的な記録

スコア記録では、新しいシーズン（または暦年）のスコアを、前のシーズンのスコアに追加していかなければならない。スコア記録は、年をまたいで継続的に管理されなければならない（裁定 6-1/1 参照）。

6-2. 非アクティブシーズン

地域を管轄する JGA（承認されたゴルフ協会）は、管轄地域内の非アクティブシーズン期間を制定する責任を持つ。JGA（承認されたゴルフ協会）が管轄する地域内のゴルフ倶楽部は、JGA の加盟倶楽部であるか否かに拘わらず、JGA が定めた非アクティブシーズンを守らなければならない（裁定 6-2/1 参照）。

非アクティブシーズン中のスコアは、ハンディキャップ査定に採用することができない。但し、プレーヤーが JGA/USGA ハンディキャップインデックスの発給を受けるゴルフ倶楽部が非アクティブシーズン中であっても、プレーしたコースがアクティブシーズン中だった場合は、そのスコアはハンディキャップ査定のために提出しなければならない。倶楽部のハンディキャップ委員会は、プレーヤーがアウェイスコアを次回の JGA/USGA ハンディキャップインデックス更新日までに提出できるようにしなければならない。また可能であれば、倶楽部はアクティブシーズン開始時点で、プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを再計算しなければならない。

例： ミシガン州のゴルフ倶楽部に所属するプレーヤーが 1 月にフロリダ州でプレーした場合、フロリダでのスコアはそのプレーヤーが所属するミシガン州のゴルフ倶楽部に提出しなければならない。もしこのプレーヤーがフロリダ州のゴルフ倶楽部にも所属している場合は、このスコアはフロリダ州のゴルフ倶楽部に提出しなければならない。

6-3. ハンディキャップリストとスコア記録

スコア記録の閲覧は、スコア検証の重要な構成要素である。そのために倶楽部は、最新のハンディキャップ更新日時点における会員の JGA/USGA ハンディキャップインデックスリストとスコア記録を、全会員が容易に閲覧できる場所で開示しなければならない（裁定 6-3/1、および 6-3/2 参照）。

ハンディキャップレポートは各プレーヤーの正しい記録履歴であり、最新の JGA/USGA ハンディキャップインデックスと共に、少なくとも最新 20 枚のスコア（スコア記録が 20 未満の場合はそれに準じる）と、各スコアのプレー日付、JGA/USGA コースレーティングおよびスローレーティング、コース名* が記録されていなければならない。ハンディキャップ情報が蓄積されているコンピューターに会員が直接アクセスできる場合は、コンピューター上でスコア記録を開示することも可能だが、スコア検証のためには、直近の更新日時点における最新のスコア記録とインターネットで提出されたスコア（認められる場合）を、倶楽部は紙面上で開示すべきである。

* タイプ 1 およびタイプ 2 ゴルフ倶楽部は奨励、タイプ 3 ゴルフ倶楽部は義務。

6-4. ハンディキャップカード

プレーヤーには、各自の JGA/USGA ハンディキャップインデックスが示されたハンディキャップカードが発行される。カードに表示されるハンディキャップは、JGA (承認されたゴルフ協会) または JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) を順守するゴルフ倶楽部が発給したものであり、JGA/USGA ハンディキャップインデックスと明記されていなければならない。JGA/USGA ハン

ディキャップインデックスを発給したゴルフ倶楽部または JGA (承認されたゴルフ協会) の名称もカードに記載しなければならない。コンピューター計算プログラムを提供したり発給元を支援している団体名を表示することは可能だが、その際に表示サイズが高さ 1/4 インチ (6mm) 未満且つ発行元名より小さくなくてはならない。

氏名	京橋 太郎				
倶楽部名	日本ゴルフ協会		JGAゴルフ倶楽部		
発行日	08/01/20		HDCP		インデックス
提出スコア数	20				13.7
スコア履歴 *は最新の採用スコア					
1	93	88*	91	86*	92
6	96*	89	92	92	88*
11	90*	89*	98	97*A	89*
16	84*	96	86	87*A	93

6-5. 複数倶楽部に所属するプレーヤー

複数のゴルフ倶楽部に所属するプレーヤーとは、以下いずれかに該当する場合をいう。

- (a) JGA (承認されたゴルフ協会) またはコンピューター計算プログラム (そのようなプログラムが提供されている場合) に複数倶楽部所属会員 (マルチメンバー) として登録され、すべての倶楽部のスコアがコンピューター上でそのプレーヤーのスコア記録に登録される場合。
- (b) すべての倶楽部のスコアを、JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティング、および日付と共に、プレーヤーが直接提出しているか、または E メール、ファックス、インターネット、郵送で提出 (第 5-2 項参照) している場合 (倶楽部が認める場合)。

プレーヤーが複数の倶楽部で JGA/USGA ハンディキャップインデックスを保持し、且つそれらの倶楽部がオンラインネットワーク計算プログラムを使用していない場合は、すべての採用可能なスコアをすべての倶楽部に提出しなければならない (裁定 6-5/1 参照)。倶楽部間でハンディキャップ更新日が異なったり、郵送遅延などの問題が生じたり、または倶楽部間でアクティブシーズンの時期が異なったりしない限り、このことによってすべての倶楽部で JGA/USGA ハンディキャップインデックスを均一に保つことができる。採用可能なすべてのスコアをすべての倶楽部に提出することを怠ると、最新 20 枚中ベストディファレンシャル 10 枚に基づいた JGA/USGA ハンディキャップインデックスではなくなり、結果的に JGA/USGA ハンディキャップインデックスと呼べなくなる。すべてのスコアをすべての倶楽部に提出したにも拘わらず倶楽部間で JGA/USGA ハンディキャップインデックスが異なる場合は、競技を管理する委員会はそのプレーヤーに対して、そのなかで最も低いものの使用を求めることができる (裁定 6-5/2、および 6-5/3 参照)。

6-6. プレーヤーが所属倶楽部を変更する場合

所属倶楽部を変更する場合は、プレーヤーは変更後の新しい倶楽部に、適切な JGA/USGA コースレーティングおよびスローレーティングを付記した最新のスコア 20 枚と採用可能なトーナメントスコアを日付順で提出する。この情報は、そのプレーヤーのスコア記録として新しい倶楽部に登録されるが、通常次回のハンディキャップ更新日までは JGA/USGA ハンディキャップインデックスを変更することはない。またプレーヤーは、スコア記録に最低 5 枚のスコアを登録しなければならない。スコア記録が登録されない場合は、5 枚のスコアが提出されてハンディキャップ更新が実施されるまで、そのプレーヤーは JGA/USGA ハンディキャップインデックスを持たない状態となる。最低 5 枚のスコアがスコア記録に登録されるまでの間は、ハンディキャップ委員会は暫定措置としてそのプレーヤーに修正ハンディキャップインデックスを発行することができる(第 3-1 項、および第 8-2h 項参照)。

6-7. 倶楽部を退会した会員の記録

退会した会員のスコア記録は、新しいゴルフ倶楽部がそれを必要とする場合に備えて、最低 1 年間は旧所属ゴルフ倶楽部または JGA(承認されたゴルフ協会)が保存しておくべきである。

退会した会員の JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、それを発行したゴルフ倶楽部が定める次回ハンディキャップ更新日まで有効である。そのプレーヤーが別のゴルフ倶楽部に入会した場合、新しい倶楽部の次回ハンディキャップ更新日に、旧所属倶楽部から引き継がれたスコア記録と暫定期間中に登録されたスコアに基づいて、新しい JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発行する。この暫定期間中、ハンディキャップ委員会は、入手可能なスコアに基づいて、修正ハンディキャップインデックス(ハンディキャップインデックス(M))を発行することができる。但し JGA/USGA ハンディキャップインデックスまたはハンディキャップインデックス(M)を発行するためには、プレーヤーのスコア記録には最低 5 枚のスコアが登録されていなければならない(第 8-2i 項参照)。

【裁定集】第 6 章： スコア記録

6-1/1. 長期間に渡ってゴルフのプレーを辞めていたプレーヤーが、プレーを再開した場合の取扱い

質問： JGA/USGA ハンディキャップインデックスを持つプレーヤーが、長期間ゴルフのプレーを辞めていたが、再びプレーを再開した。このプレーヤーは以前の JGA/USGA ハンディキャップインデックスを使用すべきか？ それとも新たに取得すべきか？

回答： 予定されている次回のハンディキャップ更新日まで、そのプレーヤーは JGA/USGA ハンディキャップインデックスを持たない状態となる。但し、プレーヤーのスコア記録に最低 5 枚のスコアが登録されている場合、所属倶楽部のハンディキャップ委員会はハンディキャップ更新日の前に、修正ハンディキャップインデックス(ハンディキャップインデックス(M))を発行することができる。

プレーを再開した時点でスコア記録が登録されていない場合は、5枚のスコアが提出されてハンディキャップ更新が実施されるまで、そのプレーヤーはJGA/USGAハンディキャップインデックスを持たない状態となる。

6-2/1. アクティブシーズンと非アクティブシーズンの制定

質問： 米国では南部の州は年間を通してゴルフをプレーできるが、北部の州はそうではない。JGA（承認されたゴルフ協会）は非アクティブシーズンをどのように制定するのか？

回答： 承認されたゴルフ協会は、北部の州では非アクティブシーズンを制定できるが、南部の州では制定できない。

6-3/1. スコア検証を目的としたスコア記録の開示

質問： ハンディキャップを持つプレーヤーの概要スコア記録は、ゴルフ倶楽部のウェブサイトおよびハンディキャップ計算プログラムのウェブサイトで開示されている。倶楽部会員、ハンディキャップ委員会、およびプレーヤーが参加する競技の役員は、これらのウェブサイトを通してプレーヤーの詳細スコア記録を閲覧できる。これはプレーヤーの個人情報保護に反しないか？

回答： 反しない。JGAハンディキャップ規定（USGAハンディキャップシステム準拠）の根幹はスコア検証であり、JGA/USGAハンディキャップインデックスリストを含むスコア記録は、倶楽部会員およびハンディキャップ委員会を含む（但しこれらに限定しない）他者による閲覧を受ける。ゴルファーはJGA/USGAハンディキャップインデックスの取得を決めた時点で、これらの情報開示を含む規定の運用を承諾しており、個人情報保護に関する問題はない。（改訂項目）

6-3/2. 容易に閲覧できるスコア記録

質問： 第5-2項には、提出されたスコアはすぐに閲覧されると記されている。第6-3項では、スコア記録（JGA/USGAハンディキャップインデックスリスト含む）は容易に閲覧できる場所で開示しなければならないと定めている。これを満たす具体的な要件は？

回答： 情報は容易に閲覧できる状態で開示しなければならない。例えば、提出されたスコア、スコア記録、およびJGA/USGAハンディキャップインデックスリストを閲覧できる場所が1ヶ所しかなく、その場所が管理者の自宅内、ゴルフショップのカウンター内、または他者が簡単に立ち入れない場所だった場合、必要な条件は満たされていない。もしゴルフ倶楽部の全会員がインターネットに接続できるのであれば、提出されたスコア、スコア記録、およびJGA/USGAハンディキャップインデックスリストを倶楽部のウェブサイト上で表示することは、必要条件を満たすことになる。会員の情報にアクセスする唯一の手段としてその会員のID番号を使用することは、容易に閲覧できる状態とは見なされない。つまり氏名検索機能のような追加手段を提供しなければならない。

6-3/3. 所属倶楽部のスコア検証情報の開示

質問： 倶楽部または JGA（承認されたゴルフ協会）は、倶楽部のハンディキャップ委員長、および競技を管理する委員会に対して、プレーヤーの詳細スコア記録を開示することはできるか？

回答： できる。このことはスコア検証の本質であり、倶楽部または JGA（承認されたゴルフ協会）が、これらの者に対して詳細スコア記録を提供することを USGA は奨励している。（新規追加項目）

6-3/4. 競技役員がスコア記録の提出を求めた場合

質問： ゴルフ倶楽部のハンディキャップ委員会、またはゴルファーが参加する競技を管理する委員会が、別の倶楽部に会員のスコア記録を提供するよう求めた。この要請を拒むことは、JGA ハンディキャップ規定（USGA ハンディキャップシステム準拠）の違反となるか？

回答： このような要請を拒むことは JGA ハンディキャップ規定（USGA ハンディキャップシステム準拠）の違反ではないが、スコア検証が広範囲で実施できるように、倶楽部がこのような要請を受け入れることを USGA は奨励している。競技を管理する委員会は、もしこのような要請が却下された場合、ゴルファーの参加を断ることができる。（新規追加項目）

6-5/1. 所属倶楽部に対するスコア検証情報の提供

質問： 近隣地域内の3つのゴルフ倶楽部に所属するプレーヤーがいる。しかしその地域では複数倶楽部所属会員に対応するネットワークサービスが提供されていないため、プレーヤーが第6-5項に従って3つの倶楽部すべてにスコアを提出するのは容易ではない。このプレーヤーに対して特例措置をとることはできるか？

回答： できる。プレーヤーが近隣地域内の3つのゴルフ倶楽部に所属し、その地域では複数倶楽部所属会員に対応するネットワークサービスが提供されておらず、且つプレーヤーが第6-5項に従って3つの倶楽部すべてにスコアを提出するのは容易ではないため、そのプレーヤーは JGA/USGA ハンディキャップインデックスの発給を受ける倶楽部を1ヶ所に指定することができる。その場合、以下を追加の条件とする。

通常、指定する倶楽部は、そのプレーヤーが最も多くプレーする倶楽部であるべきである。

そのプレーヤーが所属する地域内の他の倶楽部は、ハンディキャップ記録からそのプレーヤーを削除し、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの発給を停止することに合意しなければならない。そのプレーヤーのすべてのスコアは、プレーした場所に拘わらず、指定した倶楽部に提出するか、または指定した倶楽部を経由して提出しなければならない。

6-5/2. 複数倶楽部会員の JGA/USGA ハンディキャップインデックスが、非アクティブシーズン中の倶楽部の方がアクティブシーズン中の倶楽部より低い場合

質問： プレーヤーはミネソタ州の M ゴルフ倶楽部とアリゾナ州の A ゴルフ倶楽部に所属している。M ゴルフ倶楽部の JGA/USGA ハンディキャップインデックスは冬季クローズとなった 10 月 15 日時点で 15.2 である。その後プレーヤーは数ヶ月間をアリゾナで過ごし、最新 20 枚のスコアで査定した A ゴルフ倶楽部の JGA/USGA ハンディキャップインデックスは 16.8 となった。第 6-5 項に従えば、プレーヤーは低い方の JGA/USGA ハンディキャップインデックス 15.2 を、M ゴルフ倶楽部の次回ハンディキャップ更新日 (4 月 15 日) まで使用しなければならないことになるが、最新のスコアで査定した JGA/USGA ハンディキャップインデックス 16.8 を使用することはできないのか？

回答： できる。A ゴルフ倶楽部の JGA/USGA ハンディキャップインデックスは最新のスコア 20 枚で査定されているが、M ゴルフ倶楽部は非アクティブシーズン中のため最新のスコアが反映されていない。従って、この場合は高い方の JGA/USGA ハンディキャップインデックスを使用するのが公平である。

6-5/3. 複数倶楽部会員の JGA/USGA ハンディキャップインデックスが修正された場合

質問： 複数の倶楽部に所属するプレーヤーが、そのうち 1 つの倶楽部で第 8 章の規定に基づいて JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正を受けた。このことは他の倶楽部にも通知すべきか？

回答： JGA/USGA ハンディキャップインデックスを修正した倶楽部が、そのプレーヤーが所属するすべての倶楽部にその旨を通知することを、USGA は奨励している。修正された JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、すべての倶楽部で適用されるべきである。

第 7 章： プリファードライ (ウィンタールール)

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第 2 章—用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

7-1. プリファードライ適用時のスコアの採用

プリファードライ (ウィンタールール) を認めるローカルルールを採用した場合のスコアは、ハンディキャップ査定のために提出しなければならない。但し、委員会 (コースを管理する委員会と協議したうえでハンディキャップ委員会がこれを担うのが望ましい) が、コースの状態が非常に悪いためにそのスコアを提出すべきでないとは判断した場合は例外とする。コースの状態を理由に、プレーヤー個人がスコア提出の可否を判断することはない。仮にプレーヤー個人がこのローカルルールのような措置を適用できると判断しても、委員会がそのよう

なルールを採用していなければ、プレーヤーはスコアをハンディキャップ査定のために提出しなければならない。

不良なコース状態やぬかるみがあるなどの悪条件が、特に冬季に、広範囲にわたって見られるような場合、委員会はコースを保護するために、あるいはフェアで愉快的なゴルフプレーを楽しめるようにするために、救済を認める臨時のローカルルールを作成できる。ただし、このローカルルールは、状態が改善されたらすぐに採用を停止すべきである。

委員会がこのようなローカルルールの採用を決定した場合、「ゴルフ規則」付則I (B) ローカルルールの参考例 4c、および規則 33-8a を適用するべきである。但し、これは期間限定の措置であるため、ローカルルールの参考例 4c をスコアカードに記載することはできない。

以下、「ゴルフ規則」付則I (B)4c より。

プリファードライとウィンタールール

フェアプレーを妨げるような一時的な異常な状態があり、しかもそれがあまり広範囲にわたるものでないときは、そのような所は修理地と標示することができる（ゴルフ規則 25 参照）。

しかしながら、豪雪や雪解け、長雨や酷暑のような悪条件がフェアウェイをひどい状態にし、時には、大型芝刈機類を使えなくすることもある。そのような不良な状態がコース全域にわたって広がっているために、委員会がプリファードライやウィンタールールを認める方がフェアプレーを積極的に進めることになり、またコースを保護することになると考えた場合には、次のようなローカルルールの採用を勧める。

スルーザグリーン（またはより限定的に例えば、「6 番ホールでは」）の「芝草を短く刈ってある区域」にある球は、罰なしに拾い上げてふくことができる。球を拾い上げる前に、プレーヤーはその位置をマークしなければならない。球を拾い上げたあと、プレーヤーはその球を元の位置より、（ここに、例えば 6 インチ（15cm）とか 1 クラブレングスなどと許容限度を記載のこと）の範囲内で、ホールに近づかず、ハザード内でもグリーン上でもない所にプレスしなければならない。

プレーヤーは自分の球を一度だけプレスすることができ、球がプレスされた時点でその球はインプレーとなる（規則 20-4 参照）。球がプレスされた箇所に止まらない場合は、規則 20-3d が適用となる。プレスした球がプレスした箇所に止まり、そのあとで球が動いても、罰はない。その球は他の規則の規定が適用となるのでなければあるがままにプレスされなければならない。

プレーヤーが球を拾い上げる前にその位置をマークしなかったり他の方法（クラブで球を転がすなど）で球を動かした場合、プレーヤーは 1 打の罰を受ける。

注：「芝草を短く刈ってある区域」とは、フェアウェイの芝の長さかそれより短く刈ってあるコース上のすべての区域（ラフを通り抜ける通路を含む）をいう。

このローカルルール違反の罰は

マッチプレーでは そのホールの負け

ストロークプレーでは 2打

プレーヤーがこのローカルルールの一般の罰を受ける場合、このローカルルールによる罰（1打の罰）は加える必要はない。

例えば、ストロークプレーで、プレーヤーがこのローカルルールが採用されていないのに誤って行使したことで2打の罰を受けた場合、球を拾い上げる前にその位置をマークしなかったことによる1打の罰は受けない。

7-2. プリファードライ適用時の注意点

プリファードライとウィンタールールを認めるローカルルールを採用する前に、委員会は以下のことを考慮しておくべきである。

- (a) このようなローカルルールは、球はあるがままにプレーするという基本理念に対立する。
- (b) プリファードライはコースの保護という名目で採用することがあるが、実際には良好な状態の芝に球を動かすことを認めてその部分の芝を削るため、逆にコースを痛める。
- (c) 一般的にプリファードライを採用するとプレーヤーのスコアは良くなり、その結果 JGA/USGA ハンディキャップインデックスは低くなるため、プリファードライでプレーしたことのないプレーヤーと対戦した時に不利となる。
- (d) プリファードライを過度に採用すると、あるがままの状態で球をプレーしなければならぬ時にプレーヤーが不利を被る。

7-3. 通常のコース難易度の維持

プリファードライを認めるローカルルールを採用する場合、委員会はティーマーカーの位置を調整するなどして、そのコースの通常の難易度をできるだけ変えないように務めるべきである（第15章「コースセッティング」参照）。

ハンディキャップ委員会の責任

第8章： ハンディキャップ委員会

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第2章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

ハンディキャップ委員会は、JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の根幹である。JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) を使用する各ゴルフ倶楽部は、それぞれが発行する JGA/USGA ハンディキャップインデックスを保全するために必ずハンディキャップ委員会を設置しなければならない。この委員会は、会員が JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) を順守するように務めなければならない。

8-1. ハンディキャップ委員長

ハンディキャップ委員長は、十分に時間をかけて JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) の基本知識を把握する必要がある。ハンディキャップ委員長が会員に提供する情報が多いほど、会員からより多くの協力を得ることができる (裁定 8-1/1、および 8-1/1.5 参照)。

8-2. 任務と責任

ゴルフ倶楽部のハンディキャップ委員会は、各会員の JGA/USGA ハンディキャップインデックス計算を含む JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) のすべてに関して責任を持つ。ハンディキャップ委員会は、ハンディキャップ査定のために提出されたすべての採用可能なスコアを確認し、スコア検証を受けられるようにしなければならない。またハンディキャップ委員会は、コースの状態が不良な場合にスコアの提出を停止する権限を持つ。長期に渡ってスコア提出を停止する場合、ゴルフ倶楽部は JGA (承認されたゴルフ協会) から許可を得なければならない。

■ a. 会員への通知

シーズンが始まる前に、JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) の説明、すべての採用可能なスコアを提出することの重要性、およびハンディキャップ委員会の方針について、会員に対して通知することが望ましい。会員は、以下について説明を受けるものとする。

- (i) スコアの提出方法、提出場所
- (ii) ハンディキャップカード発行の有無
- (iii) JGA/USGA ハンディキャップインデックスの更新方法
- (iv) JGA (承認されたゴルフ協会) が定めたハンディキャップ更新日

- (v) JGA (承認されたゴルフ協会) が定めた非アクティブシーズンの期間 (第 6-2 項参照)
- (vi) アクティブシーズン開始前のアウェイスコアの提出方法
- (vii) JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正に関するハンディキャップ委員会の責任 (第 8-4 項、および第 10-3 項参照)
- (viii) スコア提出を怠ったプレーヤーに対するペナルティー (第 8-4c(iv) 項参照)
- (ix) トーナメントスコアの指定方法 (第 8-21 項、および第 10-3 項参照)

■ b. 倶楽部における JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングの表示

各ティーインググラウンドの JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングは、スコアカードに印刷するとともに、できれば JGA (承認されたゴルフ協会) が認定した掲示板などを使用して目立つ場所に表示する。またこれらのレーティングは、スコア提出用のコンピューター上でも簡単に検索できるようにしておく。

■ c. 同一地域内コースの JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングの表示

同一地域内にあるコースの JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングは、JGA (承認されたゴルフ協会) によって提供されたリストをスコア提出場所に掲示する。スコア提出にコンピューターを使用する場合は、このリストをコンピューター上で簡単に検索できるようにする。

■ d. コースハンディキャップ換算表の掲示

JGA (承認されたゴルフ協会) がゴルフ倶楽部に発行した各ティーインググラウンドのコースハンディキャップ換算表は、倶楽部内の目立つ場所、1 番ティーインググラウンド付近、およびその他 JGA/USGA ハンディキャップインデックスをコースハンディキャップに換算するうえで適切な場所に掲示しなければならない。JGA (承認されたゴルフ協会) からこれらの換算表を入手し、しかるべき場所に掲示することはハンディキャップ委員会の責任である。換算表には、JGA/USGA ハンディキャップインデックスと対応するコースハンディキャップの一覧リストに加えて、そのティーインググラウンドの JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングを表示する。コースハンディキャップ換算表は、レーティングを発行した JGA (承認されたゴルフ協会) から入手することもできる。

■ e. 他のコースとの JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングの比較

ハンディキャップ委員会は、JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングを他のコースと比較するべきである。JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングは、各ティーインググラウンドに男女別で査定されなければならない。

倶楽部は、JGA (承認されたゴルフ協会) が発行した JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングを使用しなければならない。査定されたレーティングに不服がある場合、倶楽部は JGA (承認されたゴルフ協会) に対して見直しを求めることができる。

■ f. 競技結果の検査

ハンディキャップ委員会は、競技の結果を検査すべきである。もし非常に優れたネットスコアのプレーヤーがいる場合は、ハンディキャップ委員会は第 8-4 項、および第 10-3 項の規定に基づいてしかるべき措置をとる（付則 E 参照）。ゴルフ倶楽部またはハンディキャップ委員会は、非常に優れたトーナメントスコアを出したプレーヤーが所属するゴルフ倶楽部または JGA（承認されたゴルフ協会）に、その旨を報告する。

■ g. プレーヤーの記録の管理

ハンディキャップ委員会は、プレーヤーの記録の管理（JGA/USGA ハンディキャップインデックスリストの開示を含む）に責任を持たなければならない。直近のハンディキャップ更新日時点での最新スコア記録は、スコア検証の定義に定められているようにすべての会員と他者に開示されなければならない。委員会のなかでプレーヤーの記録管理の責任者 1 名を任命し、各会員の JGA/USGA ハンディキャップインデックス更新作業に取り組むことが望ましい。

ハンディキャップ計算にコンピューターや計算プログラムを使用している場合でも、入力されたデータや計算結果を検証し、JGA ハンディキャップ規定（USGA ハンディキャップシステム準拠）のその他の規定を適用することは、ハンディキャップ委員会の責任である。

■ h. 新規会員の記録

新規会員のスコア記録（各スコアおよび付随する JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングを含む）を入手することは、ハンディキャップ委員会の責任である。ハンディキャップ委員会は、プレーヤーの旧所属ゴルフ倶楽部、JGA（承認されたゴルフ協会）、計算プログラム、またはプレーヤー本人から、スコア記録を入手することができる。もしスコア記録が入手できない場合は、新規会員は最低 5 枚のスコアを提出してハンディキャップ更新日に JGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得するか、あるいは最低 5 枚のスコアがスコア記録に登録されるまでの暫定措置として、ハンディキャップ委員会が修正ハンディキャップインデックスを発行することができる（第 6-6 項、および裁定 6-1/1 参照）。

■ i. 倶楽部を退会した会員の記録

退会した会員のスコア記録は、新しいゴルフ倶楽部がそれを必要とする場合に備えて、最低 1 年間は旧所属ゴルフ倶楽部または JGA（承認されたゴルフ協会）が保存しておくべきである。

退会した会員の JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、それを発行したゴルフ倶楽部が定める次回ハンディキャップ更新日まで有効である。そのプレーヤーが別のゴルフ倶楽部に入会した場合は、第 6-7 項を参照。

■ j. 記録や計算結果の訂正

ハンディキャップ委員会は、スコア記録や計算プログラムによる計算結果の正確性を検証しなければならない。もし間違いが存在する場合は、委員会は JGA (承認されたゴルフ協会) または計算プログラム管理者に連絡し、次回のハンディキャップ更新日までのできるだけ早い時期にスコア記録を訂正させなければならない。ハンディキャップ委員会は、スコア記録の間違いが発覚後できるだけ早く、訂正した JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発行しなければならない。ゴルフ倶楽部は、JGA や計算プログラム管理者に協力を求めることができ、すべてのレポートは訂正された情報に基づいて修正されなければならない。

■ k. ハンディキャップカード

ハンディキャップ委員会は、JGA/USGA ハンディキャップインデックスが表示されたハンディキャップカードを各プレーヤーに発行することができる (第 6-4 項参照)。

■ l. 他の委員会との連携

ハンディキャップ委員会は、定期的に以下の項目について (但しこれらに限定しない) 他の委員会と協議するものとする。

- ・ USGA のガイドラインに基づいたハンディキャップホールのハンディキャップナンバー割り当て (第 17 章参照)
- ・ コースセッティングおよびパーの設定 (第 15 章、および第 16 章参照)
- ・ コースの状態が不良な場合のスコア提出の停止
- ・ トーナメントスコア指定の可否に関するトーナメント委員会、または競技を管理する委員会との協議 (第 2 章、第 8-2 項、第 10 章、および裁定 10-3/1 ~ 10-3/6 参照)
- ・ コース難易度の維持 (第 15 章)
- ・ プリファードライに関するローカルルールの制定 (第 7-1 項参照)

他の委員会との連携において、ハンディキャップに関する情報を随時提供することはハンディキャップ委員会の責任である。

■ m. コンプライアンス順守の要件

ゴルフ倶楽部が JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) を順守しているかどうかを確認するために、次頁のチェックリストを使用する (倶楽部コンプライアンスチェックリスト、P54 参照)。

倶楽部コンプライアンスチェックリスト

ゴルフ倶楽部の順守要件

● 本規定が定める ゴルフ倶楽部 の定義を満たしているか？
● ハンディキャップ委員会 は主に会員で構成されているか？ 委員長は会員か？ (第 8-1 項)
● プレーヤーのスコア提出時に、各ティーインググラウンドの正しい JGA/USGA コースレーティング と スロープレーティング を登録できるようになっているか？ (第 5-2 項、第 8-2b ～ c 項)
● ホームとアウェイのスコアをすべて提出するように義務づけているか？ (第 5-1 項)
● スコア提出前に本規定が定める ホールスコア調整 を義務づけているか？ (第 4 章)
● 9 ホールスコアの提出を義務づけているか？ (第 5-2c ～ d 項)
● ゴルフ規則の理念順守を強く求めているか？ (第 5-1d 項)
● JGA (承認されたゴルフ協会) が定めるハンディキャップ更新スケジュールとスコア提出期間を守っているか？ (第 8-3a ～ b 項)
● すべての採用可能なスコアが正しく登録されているか？ (第 5-2 項)
● ハンディキャップの計算や調整は、JGA/USGA ハンディキャップ計算式に基づいて行われているか？ (第 8-4 項、第 10 章)
● 全会員の最新のスコア記録と JGA/USGA ハンディキャップインデックスリストは、他者による検証を容易に受けられる状態になっているか？ (第 6-3 項)
● プレーヤーの潜在技能を反映していない JGA/USGA ハンディキャップインデックスの増減修正を実施しているか？ (第 8-4c 項)
● 恒久的なコース改造があった時は JGA (承認されたゴルフ協会) に通知し、新しい JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングが査定できるようにしているか？ (第 14-5b 項)
● 男子 36.4、女子 40.4 の上限を超えるハンディキャップは、略称コード「L」を付記してローカルハンディキャップとして識別しているか？ (第 3-4 項)
● JGA (承認されたゴルフ協会) が発行した最新の JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングを使用しているか？ (第 14 章)
● USGA ハンディキャップセミナー (USGA または JGA (承認されたゴルフ協会) が開催) にゴルフ倶楽部の代表者が参加し、システムに関するテストに合格しているか？
● JGA/USGA ハンディキャップインデックスの発給を JGA (承認されたゴルフ協会) に認められているか？

上記設問の回答がすべて「はい」の場合は、そのゴルフ倶楽部は JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) を順守しており、JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発行することができる。

上記設問の回答にひとつでも「いいえ」がある場合、JGA (承認されたゴルフ協会) に連絡し、コンプライアンス順守に必要なしかるべき措置をとる。

8-3. ハンディキャップの更新

ゴルフ倶楽部のハンディキャップ委員会は、JGA（承認されたゴルフ協会）が定めるハンディキャップ更新のスケジュールと手順に従う責任がある。

■ a. 更新スケジュール、更新頻度、および非アクティブシーズン

同一地域内のゴルフ倶楽部が発行する JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、同じ日付で更新されなければならない。JGA/USGA ハンディキャップインデックスの更新頻度は、JGA（承認されたゴルフ協会）が定めたアクティブシーズン中、1ヶ月に1度以上且つ2週間に1度以下でなければならない。JGA（承認されたゴルフ協会）は、管轄地域内において以下を定めなければならない。

- (i) JGA/USGA ハンディキャップインデックスの更新日
- (ii) 非アクティブシーズンの開始日と終了日

上記のスケジュールは、地域内にあるすべての加盟倶楽部および非加盟倶楽部に通知する。

非アクティブシーズンを採用している承認されたゴルフ協会は、ハンディキャップ更新日を非アクティブシーズン中に設定することができる。但し更新頻度は、1ヶ月に1度以上且つ2週間に1度以下でなければならない。

JGA（承認されたゴルフ協会）に加盟していない倶楽部も、地域を管轄する承認されたゴルフ協会が定めたハンディキャップ更新スケジュールと非アクティブシーズンに従わなければならない。

上記に定める更新頻度を超えたハンディキャップは（例えば提出スコア1枚毎に更新するなど）、JGA/USGA ハンディキャップインデックスではなく、略称コード「L」を付記してローカルハンディキャップとして識別しなければならない。競技を管理する委員会が参加者に JGA/USGA ハンディキャップインデックスの保有を義務づけるよう、USGA は奨励している。

■ b. 非アクティブシーズン中のスコア

地域を管轄する承認されたゴルフ協会が定めた非アクティブシーズン中のスコアは、ハンディキャップ査定に採用してはならない（例えば、12月にニューヨークでプレーした時のスコアなど）。但し、所属倶楽部の非アクティブシーズン期間中に、プレーヤーがアクティブシーズン中のコースでプレーした場合は（例えば12月にフロリダでプレーした場合など）、そのスコアを所属倶楽部のアクティブシーズン開始日またはできるだけ速やかに提出しなければならない。アクティブシーズン中の地域でプレーした時は、すべてのスコア（または20枚を超える場合は最低20枚）と採用できるトーナメントスコアを提出しなければならない。また可能であれば、倶楽部はアクティブシーズン開始時点で、プレーヤーのハンディキャップインデックスを再計算しなければならない。

8-4. ペナルティースコア、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正と停止**■ a. 通則**

プレーヤーは必ず JGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得しなければならず、ゴルフ倶楽部のハンディキャップ委員会にプレー技量を証明する完全な情報を提供しないプレーヤーは、JGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得することはできない。JGA/USGA ハンディキャップインデックスの変更は JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) のみに従って行われなければならない。プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを変更できるのは、そのプレーヤーのハンディキャップを管理するハンディキャップ委員会のみである。シーズンや年のはじめに自動的に JGA/USGA ハンディキャップインデックスを増やしてはならない。JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、シーズンや年をまたいで継続的に管理されなければならない (裁定 8-4a/1、および第 6-1 項参照)。

■ b. ペナルティースコア

採用可能なスコアをプレーヤーがラウンド終了後速やかに提出しなかった場合、ハンディキャップ委員会はそのプレーヤーのスコア記録に登録されている最も低いハンディキャップディファレンシャルに相当するスコア、および/またはペナルティースコア、およびレーティングを提出するべきである。但し、提出されなかったスコアが異常に高かった場合、ハンディキャップ委員会はそのプレーヤーのスコア記録に登録されている最も高いハンディキャップディファレンシャルに相当するスコア、および/またはペナルティースコア、およびレーティングを提出するべきである。

■ c. ハンディキャップ委員会による JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正
プレーヤーの潜在技量を反映した JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発給することは、ハンディキャップ委員会の責任である。以下に記載した状況が発生した場合、ハンディキャップ委員会はプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを修正する必要がある。但し、以下の状況に限らず必要な場合には、ハンディキャップ委員会の判断で JGA/USGA ハンディキャップインデックスを修正できる。JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正を実施する前に、ハンディキャップ委員会はプレーヤーに対して、直接または書面にて状況を説明する機会を与えなければならない。修正された JGA/USGA ハンディキャップインデックスには略称コード「M」を付記し、ハンディキャップ委員会によって修正されたハンディキャップインデックス (M) であることを識別する (例: 4.9M)。

注: JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正に関する通知文書サンプル例については、付則 B 参照。

(i) システムが対応できない速さで上達した場合

ゴルフを始めたばかりのプレーヤーは急速に上達することがあり、通常の査定手順では潜在技量を JGA/USGA ハンディキャップインデックスに反映できない場合がある。例えば、練習やラウンドレッスン (裁定 5-1/d1 参照) でゴルフ上達を図ったプレーヤーは、スコア記録には潜在技量が示されないため、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正が必要となる場合がある。また、プレーヤーのハンディキャップ更新が1ヶ月に1度のみの場合、ハンディ

キャップ委員会はそのプレーヤーの翌月の上達を加味して JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正を検討することができる。

- (ii) 大量のアウェイスコアやインターネットスコアがインデックスを変える場合
アウェイスコアやインターネットスコアを大量に提出したために JGA/USGA ハンディキャップインデックスが3.0ストローク以上増加し、その後プレーヤーが所属倶楽部でプレーした時のスコアによってこの増加が過大であることが明らかになった場合、ハンディキャップ委員会はそのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを下方修正しなければならない。
- (iii) 一時的な身体障害
プレーヤーが一時的にプレーから遠ざかったりプレーを辞めたことで JGA/USGA ハンディキャップインデックスを増やしてはならないが、一時的な身体障害を理由にハンディキャップインデックスを増やすことはできる。上方修正されたハンディキャップは JGA/USGA ハンディキャップインデックスではなく、略称コード「L」を付記して倶楽部内の使用に限定したローカルハンディキャップとして識別しなければならない。例えば、手術を受けたプレーヤーには回復するまでの期間、高いハンディキャップを与えることができる(裁定 8-4c/1、8-4c/2、およびローカルハンディキャップの定義参照)。
- (iv) スコア提出を怠った場合
プレーヤーがすべての採用可能なスコアを提出しなかった場合、あるいは JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の精神を順守しなかった場合、そのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスには上方修正または下方修正が加えられなければならない。修正の幅はハンディキャップ委員会が決定しなければならない。
- (v) スコアを改ざんした場合
プレーヤーがスコアを改ざんした場合、ハンディキャップ委員会はそのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを修正または停止しなければならない(第 8-4f 項参照)。スコア改ざん例には、以下のものが含まれる。
 - (a) 誤ったスコアを提出した場合
 - (b) スコアの提出を避けるために 6 ホールでプレーを終了した場合
 - (c) スコアの提出を避けるために 2 つ以上の球を繰り返しプレーした場合
 - (d) 第 4 章に定められたホールスコアの調整を行わなかった場合
 - (e) 故意に過少スコアを申告した場合
 - (f) 故意に余分なストロークを打ってスコアを増やした場合

(vi) 第 5-1f 項の継続的な違反

ハンディキャップ委員会は、第 5-1f 項の規定を継続的に違反しているプレーヤーを特定し、そのようなラウンドのスコアはハンディキャップ査定に採用できないことをそのプレーヤーに通知しなければならない。もしプレーヤーがハンディキャップ委員会の通知を受けた後に違反を続けた場合、ハンディキャップ委員会はこのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックス停止を検討することができる。

■ d. ハンディキャップ委員会による修正の適用期間

ハンディキャップ委員会は、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正または停止期間を決定しなければならない。そのためにハンディキャップ委員会はハンディキャップ更新日毎に、修正されたハンディキャップインデックス (M) と第 10-2 項に定める通常の計算方法で算出した JGA/USGA ハンディキャップインデックスを比較するべきである。例えば、修正されたハンディキャップインデックス 4.9M のプレーヤーが、その後のスコア記録でこれよりも低い JGA/USGA ハンディキャップインデックスが算出された場合 (例えば 4.0)、ハンディキャップ委員会は修正を解除することができる。

■ e. トーナメントスコアの検証

ハンディキャップ委員会は、非常に優れたトーナメントスコアによる JGA/USGA ハンディキャップインデックスの引き下げを検証しなければならない。この JGA/USGA ハンディキャップインデックスの引き下げは第 10-3 項によって自動的に算出される。

ハンディキャップ委員会は、第 10-3 項に基づいて引き下げられた JGA/USGA ハンディキャップインデックスをハンディキャップ更新日毎に見直し、下記いずれかの措置をとる。

- ・ 第 10-3d 項の規定に従って JGA/USGA ハンディキャップインデックスの引き下げをそのまま継続する。
- ・ 更なる JGA/USGA ハンディキャップインデックス引き下げを適用する (第 10-3e 項参照)。
- ・ 引き下げを取り消す (オーバーライド)。例えば、プレーヤーが大量のトーナメントスコア (例えば 50 枚) を提出していて、そのうち初期のスコアに基づいて JGA/USGA ハンディキャップインデックスの引き下げが行われている場合、ハンディキャップ委員会は引き下げを取り消すことができる。

■ f. JGA/USGA ハンディキャップインデックスの停止

プレーヤーが JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) に定められているプレーヤーの責任を繰り返し果たさなかった場合、ハンディキャップ委員会はそのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを停止しなければならない。但し停止措置をとる前に、ハンディキャップ委員会はその旨をプレーヤーに通知し、プレーヤーが直接または書面にてハンディキャップ委員会に回答する機会を与えなければならない。停止した JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、ハンディキャップ委員会が定める条件に基づいて復活させることができる (裁定 5-2a/4 参照)。

【裁定集】第8章： ハンディキャップ委員会**8-1/1. 倶楽部のオーナーと従業員**

質問： ハンディキャップ委員会の定義では、倶楽部の従業員は委員長になれないとなっている。ゴルフ倶楽部のオーナーは従業員の1人とみなされるか？ ゴルフ倶楽部を運営する第三者機関の従業員、或いはゴルフ倶楽部を所有または運営する自治体の職員は、委員長になれないのか？

回答： 倶楽部の所属プロと同様、上記に示された者はいずれも倶楽部会員に対して満足を提供する立場の人間であるため、公平な役割を担うことは難しい。従ってこれらの「従業員」は、彼らが雇われているゴルフ倶楽部のハンディキャップ委員長になることはできない。

8-1/1.5. ハンディキャップ委員会の報酬

質問： ゴルフ倶楽部を運営する会社がハンディキャップ委員長に報酬を支払っている。これは認められるか？

回答： 認められない。ハンディキャップ委員会のメンバー（委員長含む）の任務を遂行する対価として報酬を受け取っている者は従業員とみなされ、ハンディキャップ委員長を務める資格はない。報酬（またはUSGAが報酬と同等であるとみなすもの）を受け取った者は、裁定8-1/1と同様に従業員のような立場に立たされる。報酬に含まれるのは（但しこれらに限定しない）、収益の歩合、旅費の支払い、コース売上増に伴う金銭的利益、手数料、奨励金、などである。但し、ハンディキャップ委員会メンバーまたは委員長は、任務遂行に対して以下のような恩恵を受けることができる： 年会費の免除、年間グリーンフィーの免除、または倶楽部の練習場の無償使用など。（新規項目）

8-2m/1. 倶楽部の代表者が退職した場合

質問： USGA ハンディキャップセミナーに参加した倶楽部の代表者が退職した場合、その倶楽部のハンディキャップライセンス契約は無効となるか？

回答： 無効とはならない。ライセンス契約期間中に倶楽部の代表者がセミナーに参加し、JGA ハンディキャップ規定（USGA ハンディキャップシステム準拠）に関する知識テストに合格していれば、契約は期間満了まで有効である。但し、各ゴルフ倶楽部には、上記の要件を満たす最低1名の代表者が常に在籍するべく務めることを奨励する。承認されたゴルフ協会は加盟倶楽部に対して、加盟倶楽部としての恩恵を受けるための必要条件として、セミナーに参加しテストに合格した代表者を常時在籍させることを義務づけることができる。但し、このような条件によって、その倶楽部に対するJGA ハンディキャップ規定（USGA ハンディキャップシステム準拠）使用ライセンスの認可要件が影響を受けることはない。（新規項目）

8-3a/1. 更新された JGA/USGA ハンディキャップインデックスの公表日

質問： 倶楽部がハンディキャップ計算プログラム管理者から更新された JGA/USGA ハンディキャップインデックスリストを受け取る日付は月によって異なる。例えば 6 月は倶楽部がリストを受け取ったのは 6 月 25 日だったが、翌月は 7 月 30 日だった。この場合、倶楽部はリストを受領後すぐに公表しても良いか？ それとも承認されたゴルフ協会が更新日として公式に定めている毎月 1 日に公表すべきか？

回答： 公式に定められている更新日が毎月 1 日であることから、更新された JGA/USGA ハンディキャップインデックスリストは毎月 1 日に公表すべきである。リストを倶楽部が受け取ってから公表するまでの期間は、ハンディキャップ計算プログラム管理者と調整して最短にすべきである。

8-4a/1. JGA/USGA ハンディキャップインデックス引き上げ幅の上限設定

質問： 1 回の更新でプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを引き上げられる幅に上限を設けたい。倶楽部はそのような規定を採用することができるか？

回答： できない。

8-4c/1. 一時的な身体障害を持つプレーヤーの扱い

質問： JGA/USGA ハンディキャップインデックス 11.1 のプレーヤーが、股関節置換手術を受けたために一時的にプレーすることができなくなった。その後プレーヤーは再びプレーを再開したが、術後の影響で最新 3 枚のスコアは 104、100、102 であった。このプレーヤーは体調が回復するまでの間、特別なハンディキャップ修正措置を受けることができるか？

回答： 第 8-4c(iii) 項の規定に基づいて、このプレーヤーはハンディキャップ修正を受けることができる。このプレーヤーには、一時的な身体障害を持つ間、現状の技量を反映させた臨時のローカルハンディキャップを発給するべきである。このハンディキャップには略称コード「L」を付記し、倶楽部内の使用に限定したローカルハンディキャップとして識別しなければならない。臨時のローカルハンディキャップは、倶楽部のハンディキャップ委員会または競技を管理する委員会が許可した場合に限り使用することができる。(改訂項目)

8-4a/2. 身体障害を持つプレーヤーの扱い

質問： 重度の身体障害を持つプレーヤーが、長期間に渡る療養を経て再びプレーできる状態に回復したが、障害を負う以前に査定された JGA/USGA ハンディキャップインデックスでのプレーはもはや不可能である。この場合、特別なハンディキャップ修正の適用は可能か？

回答： 可能。但し、この場合の身体障害は恒久的であり、第 8-4c(iii) 項で想定している身体障害よりも障害の程度は大きい。

従って、ハンディキャップ委員会はこのプレーヤーの以前のスコア記録を破棄し、新たに 5 枚のスコアが提出されるまでローカルハンディキャップの使用を認めることができる。5 枚のスコアが提出された時点で、新たに JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発給する。

8-4c/3. 季節変動がもたらす JGA/USGA ハンディキャップインデックスへの影響

質問： ほぼ毎年、あるプレーヤーのスコアは特定の季節になると非常に良くなり（または悪くなり）、それによって JGA/USGA ハンディキャップインデックスも変化する。しかしプレーヤー曰く、このスコアの変動は季節的なコースコンディションの違いによるものであるとのこと。ハンディキャップ委員会は、このプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスに季節的な修正を適用することができるか？

回答： できる。コースコンディションの自然な変化はプレーヤーの潜在技量に影響を及ぼすものではなく、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの変動に結びつけるべきではない。ハンディキャップ委員会は、このようなスコアがプレーヤーの潜在技量と異なると判断した場合、そのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを修正できる。

このような季節的なコースコンディションの違いによるスコア変動が多くのプレーヤーに見受けられ、且つハンディキャップ委員会がレーティング通りにコース難易度を維持することが困難と判断した場合、ハンディキャップ委員会はスコア提出の一時停止を検討すべきである。但し、この停止期間が長期に及ぶ場合は、レーティングを査定した JGA（承認されたゴルフ協会）の許可を得なければならない。（新規追加項目）

第9章： ハンディキャップ競技

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第2章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

9-1. 競技に必要なハンディキャップ

ゴルフ協会、ゴルフ倶楽部、その他の団体が開催する競技に参加するために、プレーヤーが JGA/USGA ハンディキャップインデックスを持つことを、USGA は勧めている（裁定 9-1/1、9-1/2 参照）。

■ a. 有効期限内のハンディキャップ

JGA/USGA ハンディキャップインデックスが競技の参加資格に含まれている場合、プレーヤーはエントリー時点で有効な JGA/USGA ハンディキャップインデックスを提出しなければならない。

■ b. 委員会によって修正されたハンディキャップインデックス

本規定マニュアルで別途定めている場合を除き、ハンディキャップ委員会によって修正されたハンディキャップインデックスは、そのプレーヤーのハンディキャップインデックスである（ローカルハンディキャップの定義、第 3-4 項、第 8-4c 項、第 8-4d 項、第 8-4f 項、および第 10-3e 項参照）。

9-2. JGA/USGA ハンディキャップインデックスの使用**■ a. 競技開始時**

競技開始時に使用する JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、競技を管理する委員会が決定しなければならない。競技開始時点で有効な JGA/USGA ハンディキャップインデックスの使用を委員会が義務づけることを、USGA は奨励している。

■ b. 競技中のハンディキャップ変更

競技中にプレーヤーのコースハンディキャップ変更を認めるかどうかは、競技を管理する委員会の判断であり、その決定は競技開始前に発表する。「ゴルフ規則」の規則 33-1 は、『委員会は、競技規定を作らなければならない』と定めている。

個別な特例として、委員会はプレーヤーのコースハンディキャップを競技のラウンド間または前に変更することができる。但し、JGA/USGA ハンディキャップインデックスを修正できるのは、プレーヤーの所属倶楽部のハンディキャップ委員会のみである（第 8-4c 項参照）。

また可能な場合は、各ラウンド当日における有効な JGA/USGA ハンディキャップインデックスをプレーヤーが使用することを、USGA は勧めている。例えば、競技期間がハンディキャップ更新日の前後にわたる場合、各ラウンド当日の有効な JGA/USGA ハンディキャップインデックスを使用すべきである（裁定 9-2b/1 参照）。

■ c. 複数の JGA/USGA ハンディキャップインデックスを持っているプレーヤー

プレーヤーが複数のゴルフ倶楽部に所属し、ハンディキャップ更新日の違いによってそれぞれの JGA/USGA ハンディキャップインデックスが異なる場合、競技を管理する委員会は、そのプレーヤーに対して最も低いものを使用することを義務づけるべきである（第 6-5 項、および裁定 6-5/2 参照）。

9-3. ハンディキャップストロークの割り当て**■ a. ハンディキャップストロークの適用方法**

グロススコアにハンディキャップストロークを適用する場合は、スコアカードに記入されているハンディキャップ（通常はコースハンディキャップ）をグロススコアから引いて、そのプレーヤーのネットスコアを決定する。

競技を管理する委員会は、プレー終了後に、各ホールスコアを加算し、スコアカードに記入されているハンディキャップをグロススコアに適用し、ネットスコアを決定することに責任がある（「ゴルフ規則」規則 33-5 参照）。

プレー中に各ホールでハンディキャップストロークを適用する際、通常プレーヤーはスコアカードに記載されたハンディキャップナンバー（ハンディキャップストロークを与えたり受けるべきホールの順番）に従う。例えば、ハンディキャップストローク 3 打を受けるプレーヤーは、ハンディキャップナンバー 1 から 3 の各ホールで 1 打づつ受ける。但し、競技を管理する委員会は、この順番を特別に設定することが認められており、その場合はハンディキャップストロークを与えたり受けるべきホールの順番を示す「ハンディキャップストローク表」を公表しなければならない。例えば、スコアカードに記載されたハンディキャップナンバーが 3 番ホール = 1、「13 番ホール = 2」、「8 番ホール = 3」の場合でも、委員会は「4 番ホール = 1」、「12 番ホール = 2」、「7 番ホール = 3」とすることができる（「ゴルフ規則」規則 33-4 参照）。

男女混合競技でプレーヤーが各自の球をプレーし且つ各ホールのハンディキャップナンバーが男女で異なる場合、プレーヤーはそれぞれのハンディキャップナンバーに従ってハンディキャップストロークを受ける。

パートナー間で良い方のティーショットを選ぶ男女混合のフォアサムマッチプレー競技の場合、男子のハンディキャップナンバーに従う。

プラスコースハンディキャップのプレーヤーは、ハンディキャップナンバー 18 のホールからハンディキャップストロークを加えていかなければならない。例えば、ストロークプレーのパートナー競技の場合、コースハンディキャップ「+1」のプレーヤーのサイドは、ハンディキャップナンバー 18 のホールスコアに 1 打を加えなければならない。またマッチプレーでハンディキャップの少ないサイドにコースハンディキャップ「+1」のプレーヤーがいる場合は、そのサイドはスクラッチでプレーし、もう一方のサイドのコースハンディキャップに 1 打を加える（裁定 9-3a/1、9-3a/2、9-3a/3 参照）。

プラスハンディキャップのプレーヤーが同じサイドにいる場合は、プレー形態に応じてハンディキャップアローワンスを適用し（第 9-4 項参照）、そのプレーヤーのコースハンディキャップをゼロ(0)に近づける。これは同じサイドでプレーするプラスハンディキャップのプレーヤーともう 1 人のプレーヤーのコースハンディキャップの開きを、できるだけ適正に近づけるために行う。

例： コースハンディキャップ「+5」のプレーヤー A と、コースハンディキャップ「10」のプレーヤー B が同じサイドで競技に参加した。両者のコースハンディキャップの開きは 15 打である。80 パーセントのハンディキャップアローワンスを適用すると、プレーヤー A のコースハンディキャップは「 $+5 \times 80\% = +4$ 」、プレーヤー B は「 $10 \times 80\% = 8$ 」となり、両者のコースハンディキャップの開きは 12 打に縮まる。

■ b. JGA/USGA ハンディキャップインデックスの基準は 18 ホール

JGA/USGA ハンディキャップインデックスは 18 ホールを基準としている。競技が複数ラウンドに及ぶ場合でも、第 9-4 項のハンディキャップアローワンスは 18 ホール毎に適用する。

■ c. 異なるティーインググラウンドを使用する競技、男女が同じティーインググラウンドを使用する競技

- (i) **異なるティーインググラウンド：男子 vs 男子、女子 vs 女子、男子 vs 女子**
通常、異なるティーインググラウンドにはそれぞれ異なるレーティングが設定されている。JGA/USGA コースレーティングはスクラッチゴルファーの想定スコアを表したものであり、レーティングが高いコースほど難易度が高くなる。従って、JGA/USGA コースレーティングの高いティーインググラウンドを使用するプレーヤーは、双方の JGA/USGA コースレーティングの差（小数点以下を四捨五入した整数）をコースハンディキャップに追加する（裁定 3-5/1 参照）。

例 1： ミドルティー（男子 JGA/USGA コースレーティング 70.3）を使用する男子プレーヤーと、バックティー（男子 JGA/USGA コースレーティング 72.6）を使用する男子プレーヤーが対戦する場合、バックティーのプレーヤーはコースハンディキャップに 2 打を追加する（ $72.6 - 70.3 = 2.3 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 2$ ）。

例 2： フォワードティー（女子 JGA/USGA コースレーティング 73.4）を使用する女子プレーヤーと、ミドルティー（男子 JGA/USGA コースレーティング 70.9）を使用する男子プレーヤーが対戦する場合、フォワードティーの女子プレーヤーはコースハンディキャップに 3 打を追加する（ $73.4 - 70.9 = 2.5 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 3$ ）。

- (ii) **同じティーインググラウンド：男子 vs 女子**
男子と女子が対戦する場合、同じティーインググラウンドからプレーしてもレーティングは男女で異なる。通常、JGA/USGA コースレーティングは男子より女子の方が高いため、女子プレーヤーは、双方の JGA/USGA コースレーティングの差（小数点以下を四捨五入した整数）をコースハンディキャップに追加する（例外については裁定 3-5/1 参照）。

例： ミドルティー（女子 JGA/USGA コースレーティング 77.3）を使用する女子プレーヤーと、同じミドルティー（男子 JGA/USGA コースレーティング 70.9）を使用する男子プレーヤーが対戦する場合、女子はコースハンディキャップに 6 打を追加する（ $77.3 - 70.9 = 6.4 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 6$ ）。

- (iii) **異なるティーインググラウンドを使用するフォアサム競技、男女が同じティーインググラウンドを使用するフォアサム競技**
フォアサム競技で異なるティーインググラウンドを使用する場合、または男女が同じティーインググラウンドを使用する場合、それぞれの JGA/USGA コースレーティング差の半分をコースハンディキャップの調整に使用する。

例： プレーヤー A (男子) とプレーヤー B (女子) がパートナーを組み、フォアサム競技でプレーヤー C (男子) とプレーヤー D (女子) のチームと対戦した。男子は JGA/USGA コースレーティング 71.2 の白ティーマーカーを使用し、女子は JGA/USGA コースレーティング 73.6 の赤ティーマーカーを使用した。2つのティーインググラウンドのレーティング差は 2.4 である。このレーティング差の半分は、小数点以下を四捨五入した整数で 1 となる ($2.4 \div 2 = 1.2 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 1$)。この場合、各チームのコースハンディキャップを決定した後、両チームのコースハンディキャップに 1 打を加える。もしプレーヤー A とプレーヤー B が共に男子だった場合は、男女がパートナーを組むプレーヤー C とプレーヤー D のチームだけに 1 打のハンディキャップストロークを追加する。

フォアサム競技でチーム毎に使用するティーインググラウンドが異なる場合は、JGA/USGA コースレーティングの高いティーインググラウンドを使用するチームは、双方の JGA/USGA コースレーティングの差 (小数点以下を四捨五入した整数) をコースハンディキャップに追加する (裁定 3-5/1 参照)。

例： プレーヤー A とプレーヤー B がパートナーを組む男子チームが、フォアサム競技でプレーヤー C とプレーヤー D の女子チームと対戦した。男子は JGA/USGA コースレーティング 71.2 の白ティーマーカーを使用し、女子は JGA/USGA コースレーティング 73.6 の赤ティーマーカーを使用した。2つのティーインググラウンドのレーティング差は 2.4 であり、小数点以下を四捨五入した整数で 2 となる ($2.4 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 2$)。この場合、各チームのコースハンディキャップを決定した後、女子チームのコースハンディキャップに 2 打を加える。

注： 上記の手順で適用した追加ハンディキャップストロークは、ハンディキャップ査定のために行うストロークコントロールの際には除外する (第 4-3 項・例 3 参照)。

9-4. ハンディキャップアローワンス

ハンディキャップアローワンスは、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの査定には何ら影響を及ぼさないが、フェアで公正な競技を実施するためにその使用を奨励する。

ハンディキャップアローワンスはすべての形式のプレーを公平に行うためのものである。100 パーセントのコースハンディキャップを使用した方がプレーヤーにとって公平なプレー形式もあるが、チーム競技では、100 パーセントのコースハンディキャップを使用するとハンディキャップの多いチームがハンディキャップの少ないチームよりも有利になることがあるため、100 パーセント未満のコースハンディキャップを使用することを勧める。

ハンディキャップアローワンスを正しく適用するために、以下の手順に従う。

- ステップ 1: まず、プレーヤーのコースハンディキャップ（使用するティーインググラウンドに応じて）を決定しなければならない。
- ステップ 2: 次に、プレー形式に応じて適切なハンディキャップアローワンスを適用する。
- ステップ 3: 異なるティーインググラウンドを使用する競技または男女が同じティーインググラウンドを使用する競技の場合は（第 3-5 項、および第 9-3c 項参照）、使用するティーインググラウンドの JGA/USGA コースレーティング差に基づく調整を加えなければならない。

注: 上記ステップ 2 とステップ 3 を順序通りに適用することは重要である。レーティングの異なるティーインググラウンドを使った競技の場合、このことによってレーティングの高いティーインググラウンドを使用するプレーヤーが、レーティング差を正確にコースハンディキャップに追加することができる。

例えば、JGA/USGA コースレーティングが 4 打異なる 2 つのティーインググラウンドを使用した競技で、ハンディキャップアローワンス 80 パーセントが適用された場合、レーティングの高いティーインググラウンドを使用するコースハンディキャップ 30 のプレーヤー A は、まずステップ 2 でハンディキャップアローワンスを適用してコースハンディキャップ 24 ($30 \times 80\% = 24$) となり、次にレーティング差を加えてコースハンディキャップ 28 ($24 + 4 = 28$) となる。しかしこの手順を逆にすると、「ステップ 3: $30 + 4 = 34$ 」→「ステップ 2: $34 \times 80\% = 27.2 = 27$ 」となり、ハンディキャップストロークを 1 打失うことになる。

上記調整を行った結果が使用するティーインググラウンドのスロープレーティングに設定されたコースハンディキャップ上限を超える場合でも、ステップ 3 の追加ストロークをコースハンディキャップに加算する。

注: ステップ 2 および/またはステップ 3 の算出結果が小数の場合、小数点以下を四捨五入した整数で表示する。

■ a. マッチプレー

マッチプレーでは、ゲームは各ホールごとに行われる。「ゴルフ規則」で別の規定がある場合を除き、少ないストローク数で自分サイドの球をホールに入れたサイドがそのホールの勝ちを得、ハンディキャップマッチでは少ないネットスコアのサイドがそのホールの勝者となる。一方のサイドが残りのホール数よりも多く勝ち越した時に、マッチ（委員会が別途定めた場合を除き、**正規のラウンド**から成る）はそのサイドの勝ちである。タイの場合には、委員会は、マッチの勝ちが決まるのに必要な数だけ、**正規のラウンド**を延長することができる（「ゴルフ規則」規則 2-1、および規則 2-3）。また委員会は、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技のハンディキャップ調整を適用する前に、適切なハンディキャップアローワンスを決定しなければならない（第 9-3 項参照）。

(i) シングルマッチプレー

シングルマッチプレーでは、一方のプレーヤーが残りのホール数よりも多く勝ち越した時に、マッチはそのプレーヤーの勝ちである。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第 9-3c 項を適用しなければならない。

ハンディキャップアローワンス: 2人のプレーヤーのコースハンディキャップの差(100%)をハンディキャップの多いプレーヤーが受け、ハンディキャップの少ないプレーヤーはスクラッチでプレーする(裁定 9-4a/1、および 9-4a/3 参照)。

例: コースハンディキャップ 17のプレーヤーはコースハンディキャップ 13のプレーヤーから、ハンディキャップストローク 4打を受け、ハンディキャップナンバー 1から4のホールで1打ずつ受ける。

(ii) シングルマッチプレーのボギー競技とパー競技

ボギー競技またはパー競技は、ホールごとに決められているスコアに対してプレーする競技形式であり、得点のつけ方は、マッチプレーの場合と同様である。競技者がスコアを申告しなかったホールは負けとして扱われる。各ホールの勝ち負けを集計して最高の成績を得た競技者が、優勝者である(「ゴルフ規則」規則 32-1)。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第 9-3c 項を適用しなければならない。

ハンディキャップアローワンス: 各プレーヤーは100%のコースハンディキャップを受ける。

例: コースハンディキャップ 17のプレーヤーは、ハンディキャップナンバー 1から17のホールでハンディキャップストロークを1打ずつ受ける。

(iii) フォアボールマッチプレー

フォアボールマッチプレーは、2人のうちの良い方のスコア対他の2人のうちの良い方のスコアでマッチを競う(「ゴルフ規則」規則 30、および用語の定義)。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第 9-3c 項を適用しなければならない。

ハンディキャップアローワンス: プレーヤー4人のうち最もハンディキャップの少ないプレーヤーはスクラッチでプレーする。他の3人はそれぞれ、最もハンディキャップの少ないプレーヤーのコースハンディキャップとの差(100%)をハンディキャップストロークとして受ける(裁定 9-4a/2 参照)。

例: プレーヤー A、B、C、D のコースハンディキャップは、A = 5、B = 10、C = 15、D = 20。プレーヤー A はスクラッチでプレーし、プレーヤー B は 5 打、C は 10 打、D は 15 打のハンディキャップストロークを受ける。

男女混合フォアボールマッチプレーの場合は、それぞれのハンディキャップストローク表に基づいてハンディキャップストロークを割り当てる。競技を管理する委員会は使用するティーインググラウンドを指定する。

(iv) **フォアボールマッチプレーのボギー競技とパー競技**

フォアボールマッチプレー形式のボギー競技とパー競技は、2人のうちの良い方のスコア対他の2人のうちの良い方のスコアでマッチを競い、各ホールごとに決められているパーやボギーに対してプレーする。各ホールの勝ち負けを集計して最高の成績を得たチームが、優勝者である。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第9-3c項を適用しなければならない。

ハンディキャップアローワンス： 男子は90パーセント、女子は95パーセントのコースハンディキャップを適用。

例： 共に男子のプレーヤーAとBは、コースハンディキャップ10のプレーヤーAがハンディキャップストローク9打を受け($10 \times 90\% = 9$)、コースハンディキャップ16のプレーヤーBはハンディキャップストローク14打を受ける($16 \times 90\% = 14.4 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 14$)。ハンディキャップストロークの割り当ては、それぞれのハンディキャップストローク表に基づく。

(v) **パートナーの合計スコアによるフォアボールマッチプレー**

パートナーの合計スコアによるフォアボールマッチプレーは、同じサイドのプレーヤー2人がそれぞれ自分の球をプレーし、各ホールのパートナーの合計スコアでマッチを競う。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第9-3c項を適用しなければならない。

ハンディキャップアローワンス： 4人のプレーヤーのうち最もハンディキャップの少ないプレーヤーはスクラッチでプレーする。他の3人はそれぞれ、最もハンディキャップの少ないプレーヤーのコースハンディキャップとの差(100%)をハンディキャップストロークとして受ける。

例： プレーヤーA、B、C、Dのコースハンディキャップは、 $A = 5$ 、 $B = 10$ 、 $C = 15$ 、 $D = 20$ 。プレーヤーAはスクラッチでプレーし、プレーヤーBは5打、Cは10打、Dは15打のハンディキャップストロークを受ける。

(vi) **ベストボール団体戦マッチプレーのボギー競技とパー競技**

ベストボールマッチプレー形式のボギー競技とパー競技は、4人のうち最も良いスコアで各ホールごとにパーやボギーに対してプレーする。各ホールの勝ち負けを集計して最高の成績を得たチームが、優勝者である。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第9-3c項を適用しなければならない。

ハンディキャップアローワンス： 男子は 80 パーセント、女子は 90 パーセントのコースハンディキャップを適用。

例： プレーヤー A、B、C、D (すべて男子) のコースハンディキャップは、 $A = 5$ 、 $B = 10$ 、 $C = 15$ 、 $D = 20$ 。全員 80 パーセントのアローワンスを適用し、プレーヤー A = 4、 $B = 8$ 、 $C = 12$ 、 $D = 16$ となる。4 人の中のベストネットスコアで各ホールのパーまたはボギーに挑む。ハンディキャップストロークの割り当ては、それぞれのハンディキャップストローク表に基づく。

(vii) **フォアサムマッチプレー**

フォアサムマッチプレーは、2 対 2 でマッチを競い、両サイドともそれぞれ 1 つの球をプレーする。各ラウンドとも正規のラウンド中は、パートナー同士は交互にティーインググラウンドからプレーし、また各ホールのプレー中も交互にプレーしなければならない（「ゴルフ規則」規則 29-1、および用語の定義）。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第 9-3c(iii) 項を適用しなければならない。

ハンディキャップアローワンス： パートナーのコースハンディキャップ合計が多いサイドは、少ないサイドのコースハンディキャップ合計との差の 50 パーセントを受ける(但しティーショットでパートナー間の良い方を選べる場合は 40 パーセント)。ハンディキャップが少ないサイドはスクラッチでプレーする。

例： サイド A の合計コースハンディキャップは 15 で、サイド B の合計コースハンディキャップは 36。ハンディキャップの多いサイド B はハンディキャップストローク 11 打を受ける ($36 - 15 = 21 \times 50\% = 10.5 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 11$)。ハンディキャップストロークの割り当ては、それぞれのハンディキャップストローク表に基づく。

(viii) **フォアサムマッチプレーのボギー競技とパー競技**

フォアサムマッチプレー形式のボギー競技とパー競技は、各ホールごとにパーやボギーに対するプレーでマッチを競う。各ホールの勝ち負けを集計して最高の成績を得たサイドが、優勝者である。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第 9-3c(iii) 項を適用しなければならない。

ハンディキャップアローワンス： パートナーのコースハンディキャップ合計の 50 パーセントを適用する (但しティーショットでパートナー間の良い方を選べる場合は 40 パーセント)。

例： パートナーを組むプレーヤー A と B のコースハンディキャップは、 $A = 5$ 、 $B = 10$ 。このサイドは合計コースハンディキャップの 50 パーセントの 8 打を受ける ($(5 + 10) \times 50\% = 7.5 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 8$)。ハンディキャップストロークの割り当ては、それぞれのハンディキャップストローク表に基づく。

(ix) チャップマンマッチプレー（またはパインハーストマッチプレー）

チャップマンマッチプレー（またはパインハーストマッチプレー）は、2対2でマッチを競う。ティーショットは全員が打ち、第2打はそれぞれのパートナーの球をプレーする。第3打は各サイドで選択した球をもう一方のパートナーがプレーし、以降そのホールを終えるまで、両サイドともそれぞれ1つの球を交互にプレーする。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第9-3c(iii)項を適用しなければならない。

ハンディキャップアローワンス： 両サイドともコースハンディキャップの多いパートナーが60パーセント、少ないパートナーが40パーセントのアローワンスを適用した後、2人の合計コースハンディキャップの多いサイドが、少ないサイドとの差をハンディキャップストロークとして受ける。合計コースハンディキャップが少ないサイドはスクラッチでプレーする。

例： コースハンディキャップ5のプレーヤーAとコースハンディキャップ10のプレーヤーBがパートナーを組むサイドABは、 $[A: 5 \times 60\% = 3] + [B: 10 \times 40\% = 4] =$ 合計コースハンディキャップ7。コースハンディキャップ14のプレーヤーCとコースハンディキャップ17のプレーヤーDがパートナーを組むサイドCDは、 $[C: 14 \times 60\% = 8.4 = 8] + [D: 17 \times 40\% = 6.8 = 7] =$ 合計コースハンディキャップ15となる。

合計コースハンディキャップ7のサイドABがスクラッチでプレーし、合計コースハンディキャップ15のサイドCDはハンディキャップナンバー1から8のホールでハンディキャップストローク1打ずつを受ける。

■ b. ストロークプレー

ストロークプレーでは、1または複数の正規のラウンドで最小のネットスコアの競技者が優勝者となる（「ゴルフ規則」規則3-1）。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第9-3c項を適用しなければならない。

(i) ストロークプレー個人競技

ハンディキャップアローワンス： 各競技者は100パーセントのコースハンディキャップを受ける（プラスコースハンディキャップはグロススコアに加算してネットスコアを決定しなければならない）。

例： コースハンディキャップ10のプレーヤーAは、グロススコア82の場合はネットスコア72。コースハンディキャップ+2のプレーヤーBは、グロススコア70の場合はネットスコア72となる。

(ii) フォアボールストロークプレー

フォアボールストロークプレーは、2人の競技者がパートナーとしてそれぞれ自分の球をプレーする。パートナーのうちの少ないスコアがそのホールのスコアとなる。「ゴルフ規則」規則30、およびフォアボールの用語の定義)ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第9-3c項を適用しなければならない。

ハンディキャップアローワンス： 男子は90パーセント、女子は95パーセントのコースハンディキャップを適用。

例1： パートナーを組むプレーヤーAとB(共に男子)は、コースハンディキャップ8のプレーヤーAがハンディキャップストローク7打を受け($8 \times 90\% = 7.2 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 7$)、コースハンディキャップ20のプレーヤーBはハンディキャップストローク18打を受ける($20 \times 90\% = 18$)。

男女混合フォアボールストロークプレーの場合は、それぞれのハンディキャップストローク表に基づいてハンディキャップストロークを割り当て、使用するティーインググラウンドは競技を管理する委員会が決定しなければならない。

例2： 男子がミドルティーを使用し、女子がフォワードティーを使用する場合は、男子はミドルティーのハンディキャップナンバーに従い、女子はフォワードティーのハンディキャップナンバーに従ってハンディキャップストロークを割り当てなければならない。

注： 同じサイドのパートナー間のコースハンディキャップ差(アローワンス適用後)は、8打を超えることができないというフォアボールストロークプレーの競技の条件を、委員会が検討することを勧める。パートナー間のコースハンディキャップ差が大きいサイドは、小さいサイドより有利になる。8打を超える差がある場合は、そのサイドのプレーヤー2人のコースハンディキャップに、追加の10パーセント引き下げを適用する。

例3： 上記例1)で、同じサイドのプレーヤーAとプレーヤーBのコースハンディキャップ差は、アローワンス適用後、8打を超えていた(18打 $-$ 7打 $=$ 11打)ため、両者に追加の10パーセント引き下げを適用する。その結果、プレーヤーAのコースハンディキャップは6(7 $-$ 0.7 $=$ 6.3 \rightarrow 四捨五入 \rightarrow 6)、プレーヤーBのコースハンディキャップは16(18 $-$ 1.8 $=$ 16.2 \rightarrow 四捨五入 \rightarrow 16)となる。それぞれのハンディキャップストローク表に基づいてハンディキャップストロークを割り当てる。

(iii) パートナーの合計スコアによるストロークプレー

パートナーの合計スコアによるストロークプレーは、同じサイドのプレーヤー2人がそれぞれ自分の球をプレーし、そのラウンドの両者の合計スコアが、そのサイドのスコアとなる。**ハンディキャップアローワンス**を決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第9-3c項を適用しなければならない。

ハンディキャップアローワンス： 各パートナーは共に100パーセントのコースハンディキャップを適用する。

例： プレーヤーAとプレーヤーBがパートナーを組んだ。コースハンディキャップは、 $A = 12$ 、 $B = 26$ 、両者のスコアは $A = 87$ 、 $B = 101$ 。このサイドのチームスコアは、 $(A : 87 - 12) + (B : 101 - 26) = 75 + 75 = 150$ となる。

(iv) ベストボール団体戦ストロークプレー

ベストボールストロークプレーは、4人のプレーヤーがそれぞれ自分の球をプレーし、そのうち最も良いスコアが各ホールのチームスコアとなる。**ハンディキャップアローワンス**を決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第9-3c項を適用しなければならない。

ハンディキャップアローワンス： 男子は80パーセント、女子は90パーセントのコースハンディキャップを適用。

例： 男女混合チームのプレーヤーA、B、C、D（ABは男子、CDは女子）のコースハンディキャップは、 $A = 8$ 、 $B = 10$ 、 $C = 12$ 、 $D = 14$ 。男子のAとBは80パーセントのアローワンスを適用し、 $A = 6$ ($8 \times 80\% = 6.4 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 6$)、 $B = 8$ ($10 \times 80\% = 8$)、女子のCとDは90パーセントを適用し、 $C = 11$ ($12 \times 90\% = 10.8 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 11$)、 $D = 13$ ($14 \times 90\% = 12.6 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 13$)となる。各ホールの最も少ないネットスコアを加算したものが正規のラウンドの合計スコアとなる。ハンディキャップストロークの割り当ては、それぞれのハンディキャップストローク表に基づく。

(v) 4人中2人のベストボール団体戦ストロークプレー

4人中2人のベストボールストロークプレーは、4人のプレーヤーがそれぞれ自分の球をプレーし、そのうち最も良い2人のスコアが各ホールのチームスコアとなる。**ハンディキャップアローワンス**を決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第9-3c項を適用しなければならない。

ハンディキャップアローワンス： 男子は90パーセント、女子は95パーセントのコースハンディキャップを適用。

例： プレーヤー A、B、C、D（すべて女子）のコースハンディキャップは、 $A = 11$ 、 $B = 16$ 、 $C = 22$ 、 $D = 35$ 。全員 95 パーセントのアローワンスを適用し、プレーヤー A は 10 ($11 \times 95\% = 10.45 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 11$)、 $B = 15$ ($16 \times 95\% = 15.2 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 15$)、 $C = 21$ ($22 \times 95\% = 20.9 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 21$)、 $D = 33$ ($35 \times 95\% = 33.25 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 33$) となる。ハンディキャップストロークの割り当ては、それぞれのハンディキャップストローク表に基づく。

(vi) **フォアサムストロークプレー**

フォアサムストロークプレーは、2 対 2 で競い、両サイドともそれぞれ 1 つの球をプレーする。パートナー同士は交互にティーインググラウンドからプレーし、また各ホールプレー中も交互にプレーしなければならない（「ゴルフ規則」規則 29-1）。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第 9-3c(iii) 項を適用しなければならない。

ハンディキャップアローワンス： パートナーの合計コースハンディキャップの 50 パーセントを適用する。但しティーショットでパートナー間の良い方を選べる場合は 40 パーセント。パートナーの合計コースハンディキャップがプラスハンディキャップの場合は、グロススコアに加算してネットスコアを決定しなければならない。

例： 同じサイドのプレーヤー A はコースハンディキャップ 5、プレーヤー B はコースハンディキャップ 12。このサイドの合計コースハンディキャップは 17 ($5 + 12 = 17$) となり、これに 50 パーセントのアローワンスを適用して 9 打のハンディキャップストロークを受ける ($17 \times 50\% = 8.5 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 9$)。

(vii) **チャップマンストロークプレー（またはパインハーストストロークプレー）**

チャップマンストロークプレー（またはパインハーストストロークプレー）は 2 対 2 で競う。ティーショットは全員が打ち、第 2 打はそれぞれのパートナーの球をプレーする。第 3 打は各サイドで選択した球をもう一方のパートナーがプレーし、以降そのホールを終えるまで、両サイドともそれぞれ 1 つの球を交互にプレーする。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第 9-3c(iii) 項を適用しなければならない。

ハンディキャップアローワンス： 両サイドともコースハンディキャップの多いパートナーが 60 パーセント、少ないパートナーが 40 パーセントのアローワンスを適用する。

例： 同じサイドのプレーヤー A はコースハンディキャップ 10、プレーヤー B はコースハンディキャップ 18。プレーヤー A は 60 パーセントのアローワンスを適用してコースハンディキャップ 6 ($10 \times 60\% = 6$) となり、プレーヤー B は 40 パーセントのアローワンスを適用してコースハンディキャップ 7 ($18 \times 40\% =$

7.2 → 四捨五入 → 7) となる。このサイドの合計コースハンディキャップは $13(6 + 7 = 13)$ となる。

(viii) **ステーブルフォード競技**

ステーブルフォード競技での得点は、ホールごとに決められているスコアとの比較で競技者に以下の点数が与えられ、それを集計して決める。

プレーしたホールで	点数
決められたスコアより2打以上多いか、スコアの申告がないとき	0点
決められたスコアより1打多いとき	1点
決められたスコアと同じとき	2点
決められたスコアより1打少ないとき	3点
決められたスコアより2打少ないとき	4点
決められたスコアより3打少ないとき	5点
決められたスコアより4打少ないとき	6点

競技者の得点数を集計して最高点を得た競技者が、優勝者である(「ゴルフ規則」規則 32-1b)。ハンディキャップアローワンスを決定後、異なるティーインググラウンドを使用する競技や男女が同じティーインググラウンドを使用する競技は第 9-3c 項を適用しなければならない。

ハンディキャップアローワンス： 100 パーセントのコースハンディキャップを適用し、ハンディキャップストロークの割り当ては、それぞれのハンディキャップストローク表に基づく。

例： コースハンディキャップ 16 のプレーヤー A が、ハンディキャップナンバー 15 のパー 4 ホールでグロススコアが 5 だった。プレーヤー A はこのホールでハンディキャップストローク 1 打を受けるためネットスコアは 4 となり、2 点を獲得する。

■ c. コースハンディキャップアローワンス換算表

本規定のハンディキャップアローワンスを適用する際の参考として、以下の換算表を使用する。

コースハンディキャップアローワンス換算表

コース ハンディキャップ	アローワンス		
	80%	90%	95%
1	1	1	1
2	2	2	2
3	2	3	3
4	3	4	4
5	4	5	5
6	5	5	6
7	6	6	7
8	6	7	8
9	7	8	9
10	8	9	10
11	9	10	10
12	10	11	11
13	10	12	12
14	11	13	13
15	12	14	14
16	13	14	15
17	14	15	16
18	14	16	17
19	15	17	18
20	16	18	19
21	17	19	20
22	18	20	21
23	18	21	22
24	19	22	23
25	20	23	24

コース ハンディキャップ	アローワンス		
	80%	90%	95%
26	21	23	25
27	22	24	26
28	22	25	27
29	23	26	28
30	24	27	29
31	25	28	29
32	26	29	30
33	26	30	31
34	27	31	32
35	28	32	33
36	29	32	34
37	30	33	35
38	30	34	36
39	31	35	37
40	32	36	38
41	33	37	39
42	34	38	40
43	34	39	41
44	35	40	42
45	36	41	43
46	37	41	44
47	38	42	45
48	38	43	46
49	39	44	47
50	40	45	48

9-5. ハンディキャップ競技のタイの決定方法

(「ゴルフ規則」付則Iを参照)

参考：「サイド」とは1人のプレーヤー、または互いにパートナーである複数のプレーヤーをいう。「サイド」は「チーム」と同義語とみなされる。

■ a. 委員会による決定手順

競技を管理する委員会は規則 33-6 に基づいてタイの決定の方法と時期を決める権限を持っている。委員会はその内容を前もって公表しておくべきである。

USGA は以下を奨励する。

(i) マッチプレー

マッチがオールスクエアに終わったときは、どちらかのサイドが1ホール勝つまで、1ホールずつプレーを続けて決着をつけるべきである。プレーオフはそのマッチを始めた同じホールから始め、ハンディキャップマッチでは与えたり受けるべきハンディキャップストロークは**正規のラウンド**と同じにするべきである。

(ii) ストロークプレー

ハンディキャップ・ストロークプレー競技でタイのときは、ハンディキャップ付きのプレーオフを行うことを勧める。そのプレーオフは18ホールで行ってもよいし、委員会が決めたそれよりも少ないホール数で行ってもよいが、どのようなプレーオフも少なくとも3ホールで行うことを勧める。

ハンディキャップストローク表が関係のない競技（個人戦ストロークプレー競技など）で、18ホール未満のホール数でのプレーオフの場合には、プレーオフ・ハンディキャップは、プレーするホール数と18ホールとの比率をそれぞれのプレーヤーのハンディキャップに乗じて決めるべきである。その場合、端数は四捨五入とするべきである。

例1： コースハンディキャップ10のプレーヤーAと、コースハンディキャップ7のプレーヤーBが、個人戦ストロークプレー競技でタイに並んだ。委員会が9ホール（18ホールの50パーセント）のプレーオフ実施を決めた場合、両者のプレーオフ・ハンディキャップは、 $A = 5$ 、 $B = 4$ となる。

ハンディキャップストローク表が関係する競技（フォアボールストロークプレー競技やステーブルフォード競技など）で、18ホール未満のホール数でのプレーオフの場合には、プレーヤー個々に対してハンディキャップストローク表を用いてその競技に割り当てられた通りのハンディキャップストロークが採用されるべきである。

例2： フォアボールストロークプレー競技で、コースハンディキャップ10のプレーヤーAとコースハンディキャップ7のプレーヤーB（共にアローワンス適

用後) がパートナーを組むサイドが、プレーオフに進出した。ハンディキャップナンバーはフロントナインに奇数、バックナインに偶数が割り当てられ、プレーオフはバックナインの9ホールで行われた。この場合、プレーヤーAはハンディキャップナンバー2、4、6、8、10のホールで各1打のハンディキャップストローク(合計5打)を受け、プレーヤーBはハンディキャップナンバー2、4、6のホールで各1打(合計3打)を受ける。

(iii) プレーオフを行えない状況(マッチング・スコアカード)

プレーオフを行えない状況のときは、マッチング・スコアカードを勧める。ただし、マッチング・カード方法は前もって発表しておくべきで、また、この方法で勝者が決まらなかった場合にどのようにするのかを規定しておくべきである。認められるマッチング・カードの方法として、最後の9ホールの合計スコアを比較し、最も成績のよい競技者を優勝者とする方法がある。タイの競技者が数人いて、最後の9ホールの合計スコアが同じであったときは最後の6ホールの合計スコア、それも同じであったときは最後の3ホールの合計スコアに基づいて優勝者を決める。それでもなお同スコアのときは、18番ホールのスコアで決める。複数のティーインググラウンドからスタートさせる方式を採用している競技では、「最後の9ホール」とか「最後の6ホール」は、それぞれ「10番ホールから18番ホール」、「13番ホールから18番ホール」と読み替えることを勧める。

ハンディキャップストローク表が関係のない競技(個人戦ストロークプレー競技など)で、最後の9ホール、6ホール、3ホールというマッチングの方法が使われる場合、それぞれコースハンディキャップの1/2、1/3、1/6がそれぞれのホールの合計スコアから差し引かれるべきである。その場合、端数は四捨五入とするべきである。

例3:

ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
プレーヤー(コースハンディキャップ)										
プレーヤーE(11)	4	6	5	4	3	4	5	6	3	40
プレーヤーF(10)	5	4	4	4	4	4	5	4	4	39

プレーヤーEとプレーヤーFの18ホールのネットスコアは同じ。

「最後の9ホール」： プレーヤーEはハンディキャップ6($11 \times 50\% = 5.5 = 6$)、ネットスコア34($40 - 6 = 34$)。プレーヤーFはハンディキャップ5($10 \times 50\% = 5$)、ネットスコア34($39 - 5 = 34$)。まだ同スコア。

「最後の6ホール」： プレーヤーEはハンディキャップ4($11 \times 33\% = 3.63 = 4$)、ネットスコア21(13～16番のグロススコア25 - 4 = 21)。プレーヤーFはハンディキャップ3($10 \times 33\% = 3.3 = 3$)、ネットスコア23(13～16番のグロススコア26 - 3 = 23)。従ってプレーヤーEの勝ち。

ハンディキャップストローク表が関係する競技（フォアボールストロークプレー、マッチプレー、パー、ボギー、ステーブルフォード競技など）では、プレーヤー個々に対してハンディキャップストローク表を用いてその競技に割り当てられた通りのハンディキャップストロークが採用されるべきである。

例 4： フォアボールストロークプレー競技で、委員会が最後の9ホールのマッチング・スコアカードを採用した。各ホールでパートナーのうちの少ないネットスコアを使用して、サイドABとサイドCDを比較したが、最後の9ホールは共に同スコアの34だった。そこで、次に最後の6ホールで比較したところ、サイドABは23、サイドCDは21となり、サイドCDの勝ちとなる。

例 4：

ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
ハンディキャップナンバー	3	5	11	9	7	15	17	1	13	
プレーヤー（コースハンディキャップ）										
プレーヤー A (5)	5*	4*	5	3	5	4	4	4*	5	
プレーヤー B (22)	7**	5*	5*	6*	5*	6*	5*	8**	7*	
サイドAB ネット	4	3	4	3	4	4	4	3	5	34
プレーヤー C (10)	6*	4*	6	3*	5*	6	3	6*	5	
プレーヤー D (15)	7*	5*	6*	5*	5*	5*	5	4*	6*	
サイドCD ネット	5	3	5	2	4	4	3	3	5	34
* =ハンディキャップストローク 1 打										
** =ハンディキャップストローク 2 打										

【裁定集】 第9章： ハンディキャップ競技

9-1/1. 所属倶楽部のスコアに基づく JGA/USGA ハンディキャップインデックスの使用をプレーヤーに義務づける競技

質問： ハンディキャップ競技の競技の条件で、所属倶楽部でプレーしたスコア4枚に基づいた JGA/USGA ハンディキャップインデックスの使用を義務づけることは適切か？

回答： 競技を管理する委員会は、競技の条件を制定する権限を持つ（「ゴルフ規則」規則 33-1 参照）。但し委員会が、所属倶楽部でプレーしたスコア4枚に基づいて査定したハンディキャップの使用をプレーヤーに義務づけた場合、このハンディキャップを JGA/USGA ハンディキャップインデックスと呼ぶことはできず、プレーヤーは JGA/USGA ハンディキャップインデックスを使用しないことになる。JGA ハンディキャップ規定（USGA ハンディキャップシステム準拠）は、プレーした場所に拘わらずすべてのスコアを提出することをプレーヤー

に義務づけている(第5-1b項参照)。競技をフェアで公正なものにするために、競技を管理する委員会はプレーヤーにJGA/USGAハンディキャップインデックスの使用を義務づけるよう、USGAは奨励している。

9-1/1. 10枚未満のスコアに基づいて査定したJGA/USGAハンディキャップインデックスの使用を禁止する競技

質問: あるハンディキャップ競技では、委員会が10枚未満のスコアで査定したJGA/USGAハンディキャップインデックスを持つプレーヤーの参加を禁止している。一般的に10枚以上のスコアで査定したものよりも高くなるというのが理由である。この措置は適切か?

回答: 競技を管理する委員会は、競技の条件を制定する権限を持つ(「ゴルフ規則」規則33-1参照)。但し、10枚未満のスコアで査定されたJGA/USGAハンディキャップインデックスを持つプレーヤーの競技参加を禁止することをUSGAは奨励していない。何故なら、10枚未満のスコアで査定したJGA/USGAハンディキャップインデックスは、10枚以上のスコアで査定したJGA/USGAハンディキャップインデックスと同様に有効だからである。しかも、10枚未満のスコアで査定したものを使用したプレーヤーが他のプレーヤーよりも有利になることはない(第11-4項参照)。

9-2b/1. ラウンド中にプレー中断となり、プレーが再開される前にハンディキャップ更新日が訪れた場合

質問: 日曜日に開催されたハンディキャップ競技が、競技開始後、プレーが雨のために中断され、その日のうちに競技を終了することができなかった。

翌週の土曜日にプレーは再開されたが、その間にJGA/USGAハンディキャップインデックスリストが更新され、新しいJGA/USGAハンディキャップインデックスが公表された。

競技の条件では、プレーヤーは、プレーしたラウンドの当日における有効なJGA/USGAハンディキャップインデックスを使用するべきであるとしているが、この場合は、プレーヤーはラウンド開始時のJGA/USGAハンディキャップインデックスを使用すべきか? それともプレー再開時での有効なJGA/USGAハンディキャップインデックスを使用すべきか?

回答: たとえラウンド中にプレーヤーのJGA/USGAハンディキャップインデックスが更新された場合でも、ラウンド開始時において有効だったJGA/USGAハンディキャップインデックスは、そのラウンドが終了するまで有効とすべきである。

9-3a/1. プラスハンディキャップのプレーヤーがシングルマッチプレーに参加した場合のハンディキャップアローワンス決定方法

質問： コースハンディキャップ+2のプレーヤーAと、コースハンディキャップ8のプレーヤーBがマッチで対戦した。この場合、プレーヤーBはハンディキャップストロークを何打受けるか？

回答： Bが10打を受け、AがスクラッチでプレーすることをUSGAは勧めている。

9-3a/2. プラスハンディキャップのプレーヤーがフォアボールマッチプレーに参加した場合のハンディキャップアローワンス決定方法

質問： フォアボールマッチプレーにプレーヤーA、B、C、Dの4人が参加した。それぞれのコースハンディキャップは、A=+2、B=6、C=2、D=4である。この場合、コースハンディキャップをどのように割り当てるか？

回答： プレーヤーAはスクラッチでプレーし、Bが8打、Cが4打、Dが6打受けることをUSGAは勧めている(第9-4a(iii)項参照)。

9-3a/3. フォアボールストロークプレーでパートナーがプラスハンディキャップの場合のハンディキャップストローク決定方法

質問： ネットスコアで競うフォアボールストロークプレーで、プレーヤーAとプレーヤーBがパートナーを組んだ。コースハンディキャップはA=+2、B=2である。両者はそれぞれ、どのホールでハンディキャップストロークを与えたり受けるのか？

回答： プレーヤーAはハンディキャップナンバー17と18のホールで各1打をグロススコアに加える。プレーヤーBはハンディキャップナンバー1と2のホールで各1打をグロススコアから差し引く(第9-4b(ii)項参照)。

9-3a/4. ネットスコアがゼロまたはマイナスになる場合

質問： ハンディキャップマッチで、パー3のホールに2打のハンディキャップを貰っているプレーヤーが、2打でホールアウト、またはホールインワンを記録した。この場合、プレーヤーのネットスコアはそれぞれいくつになるか？

回答： プレーヤーのスコアが2のときはネットスコアは「0(ゼロ)」、ホールインワンのときは「-1」となる。なお、フォアボールストロークプレーやステーブルフォード競技ではスコアはホールごとの計算となるので、これらの競技の場合についても同様な扱いとなる(「ゴルフ規則裁定集」裁定2-1/2参照)。

9-4a/1. シングルマッチプレーで共にフルハンディキャップを採用する

質問： シングルマッチプレーで、コースハンディキャップ17のプレーヤーAとコースハンディ

キャップ 13 のプレーヤー B が対戦した。第 9-4a(i) 項の規定によれば、プレーヤー A はハンディキャップナンバー 1 から 4 のホールで各 1 打ずつ受けることができているが、両者は互いにフルハンディキャップを採用し、A は 17 ホールで、B は 13 ホールで各 1 打ずつハンディキャップを受けることにした。これは正しいか？

回答： 正しくない。ハンディキャップホールは、マッチのなかで引き分けのホールの数をできるだけ多くするために設定するものであり、この場合はプレーヤー A が引き分けるためにハンディキャップを最も必要とする 4 ホールに各 1 打ずつを割り当てる。もしこれらの 4 ホールで両者がハンディキャップを受けると、技量の高いプレーヤー B が勝つ可能性が大きくなる。またハンディキャップナンバー 14 から 17 の 4 ホールでプレーヤー A だけがハンディキャップを受けることによって、これらのホールではプレーヤー A が勝つ可能性が大きくなる。つまり互いにフルハンディキャップを採用することは、引き分けのホールよりも勝敗がつくホールの数を増やすことになり、結果的に技量の高いプレーヤー（この場合は B）が有利になってしまう。

9-4a/2. フォアボールマッチプレーで、プレーヤーの 1 人が不参の場合のハンディキャップアローワンス決定方法

質問： フォアボールマッチで、ハンディキャップの一番少ないプレーヤーがプレーに加われない場合、ハンディキャップアローワンスを決めるに当たって不参のプレーヤーは無視してもよいか？

回答： 無視してはならない。他の 3 人はそれぞれのコースハンディキャップから不参のプレーヤーのコースハンディキャップを差し引き、その差（100%）をハンディキャップストロークとして受けることができる。不参プレーヤーについて誤ったハンディキャップが申告されていた場合には、本規定第 3-6a 項が適用となる（「ゴルフ規則」規則 30-3a、30-3e(i)、および「ゴルフ規則裁定集」裁定 30-3a/3 参照）。

9-4a/3. 男子と女子のパーが異なるホールの結果

質問： 男子と女子がマッチプレー競技で対戦し、男子はパー 4 で女子はパー 5 のホールで、共にスコアはパーだった。このホールの結果は？

回答： パーは関係ない。そのホールを少ないストロークでホールアウトしたプレーヤーが、そのホールの勝ちとなる。

9-4b/1. プラスハンディキャップのプレーヤーがフォアサムストロークプレーに参加した場合のハンディキャップアローワンス決定方法

質問： フォアサムストロークプレーで、コースハンディキャップ + 1 のプレーヤーとコースハンディキャップ 12 のプレーヤーがパートナーを組んだ。このサイドが受けるハンディキャップストロークは？

回答： 6 打である（ $11 \times 50\% = 5.5 \rightarrow$ 四捨五入 $\rightarrow 6$ ）。

計算式

第10章： JGA/USGA ハンディキャップ計算式

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第2章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

プレーヤーの潜在技量は JGA/USGA ハンディキャップインデックスによって示され、プレーヤーの複数の良いスコアを基準とした計算によって測定される。これらの良いスコアとは、各スコアのハンディキャップディファレンシャルを算出することによって決定する。JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、ベストハンディキャップディファレンシャル(1枚または複数)の平均に乗数 0.96 を掛けたものをいい、2枚以上の採用可能なトーナメントスコアがある場合には第 10-3 項を適用する。

10-1. ハンディキャップディファレンシャルの計算

ハンディキャップディファレンシャルは、次の 4 つの要素を使用して算出する： 調整グロススコア、JGA/USGA コースレーティング、スロープレーティング、113 (標準難易度コースのスロープレーティング)。ハンディキャップディファレンシャルを決定するには、調整グロススコアから JGA/USGA コースレーティングを引き、113 を掛け、スロープレーティングで割る。端数を四捨五入した小数第 1 位の数値で表示する。

ハンディキャップディファレンシャル＝
(調整グロススコア－ JGA/USGA コースレーティング) × 113 ÷ スロープレーティング

■ a. プラスハンディキャップディファレンシャル

調整グロススコアが JGA/USGA コースレーティングよりも高い数値の場合ハンディキャップディファレンシャルは正の数(プラス)となる。下記は、JGA/USGA コースレーティング 71.5、スロープレーティング 125 のコースで、調整グロススコア 95 の場合の、ハンディキャップディファレンシャル算出例である。

調整グロススコア－ JGA/USGA コースレーティング： $95 - 71.5 = 23.5$

上記の差 × 標準スロープレーティング： $23.5 \times 113 = 2655.5$

上記結果 ÷ スロープレーティング： $2655.5 \div 125 = 21.24$

ハンディキャップディファレンシャル： 21.2 (小数第 2 位四捨五入)

■ b. マイナスハンディキャップディファレンシャル

調整グロススコアが JGA/USGA コースレーティングよりも低い数値の場合、ハンディキャップディファレンシャルは負の数(マイナス)となる。下記は JGA/USGA コースレーティング 71.5、スロープレーティング 125 のコースで、調整グロススコア 69 の場合の、ハンディ

キャップディファレンシャル算出例である。

調整グロススコアー JGA/USGA コースレーティング: $69 - 71.5 = -2.5$

上記の差 × 標準スロープレーティング: $-2.5 \times 113 = -282.5$

上記結果 ÷ スロープレーティング: $-282.5 \div 125 = -2.26$

ハンディキャップディファレンシャル: -2.3 (少数第2位四捨五入)

10-2. JGA/USGA ハンディキャップインデックスの計算式

JGA/USGA ハンディキャップインデックスの計算式は、プレーヤーのスコア記録に登録されているベストハンディキャップディファレンシャルに基づく。プレーヤーのスコア記録に20枚以上のスコアが登録されている場合は、最新20枚のスコアのうちベストハンディキャップディファレンシャル10枚を使用して計算する。スコア記録に登録されているスコアの数が増え、使用可能なベストハンディキャップディファレンシャルの比率（最大50パーセント）も小さくなる。例えば、スコア記録内のスコアが9～10枚の場合は、使用するベストハンディキャップディファレンシャルは3枚（30～33パーセント）となる。従って、プレーヤーのJGA/USGA ハンディキャップインデックスの正確性は、提出された採用可能なスコアの枚数に比例する。このため、提出された採用可能なスコアが5枚未満のプレーヤーには、JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発給してはならない。以下、承認されたゴルフ協会、ゴルフ倶楽部、およびハンディキャップ計算プログラムがプレーヤーのJGA/USGA ハンディキャップインデックスを査定する手順を示す。

JGA/USGA ハンディキャップインデックスの査定手順:

ステップ1: 下記の表を使用して、使用するベストハンディキャップディファレンシャル枚数を決定する。

採用可能なスコア枚数	使用するディファレンシャル枚数
5～6	ベスト1枚
7～8	ベスト2枚
9～10	ベスト3枚
11～12	ベスト4枚
13～14	ベスト5枚
15～16	ベスト6枚
17	ベスト7枚
18	ベスト8枚
19	ベスト9枚
20	ベスト10枚

- ステップ 2: 使用するハンディキャップデファレンシャルを決定する。
- ステップ 3: 使用するハンディキャップデファレンシャルの平均を求める。
- ステップ 4: ハンディキャップデファレンシャル平均に乗数 0.96* を掛ける。
- ステップ 5: 端数を切り捨て、小数第 1 位の数値で表示する (四捨五入ではないので注意)。

例 1: 採用可能スコア 20 枚未満 (11 枚) の場合:

ベスト 4 枚のハンディキャップデファレンシャル:	104.1
上記の平均値:	26.025
平均値に乗数 0.96 を掛ける:	24.984
少数第 2 位切り捨て: (四捨五入しないこと)	24.9
JGA/USGA ハンディキャップインデックス:	24.9

* 乗数 0.96 は、JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) に組み込まれた「上級者へのボーナス」という計算手法で、プレーヤーの技量向上意欲を促す効果がある。デファレンシャル平均からわずかな比率を差し引いた数値 (96%) を JGA/USGA ハンディキャップインデックス計算に使用することにより、プレーヤーの技量が高まるほど (つまり JGA/USGA ハンディキャップインデックスが低くなるほど)、そのプレーヤーがハンディキャップ競技で好成績を取める可能性が若干増すようになっている。

例 2: 採用可能スコア 20 枚の場合:

ベスト 10 枚のハンディキャップデファレンシャル:	154.8
上記の平均値:	15.48
平均値に乗数 0.96 を掛ける:	14.861
少数第 2 位切り捨て: (四捨五入しないこと)	14.8
JGA/USGA ハンディキャップインデックス:	14.8

- ステップ 6: 採用可能なトーナメントスコアが 2 枚以上ある場合、第 10-3 項を適用する。

日付	調整 グロススコア	スコア タイプ	JGA/USGA コース レーティング	スロープ レーティング	ハンディキャップ ディファレンシャル
1/15/08	90	H	70.1	116	19.4
1/11/08	91	H	70.1	116	20.4
1/5/08	94	A	72.3	123	19.9
1/3/08	*88	H	70.1	116	17.4
1/1/08	89	H	70.1	116	18.4
12/25/07	*90	A	72.3	123	16.3
12/13/07	*91	A	72.3	123	17.2
12/1/07	91	I	70.1	116	20.4
11/18/07	91	I	70.1	116	20.4
11/7/07	86	A	68.7	105	18.6
11/2/07	90	H	70.1	116	19.4
10/30/07	*92	AI	72.3	123	18.1
10/23/07	*85	T	68.0	107	18.0
10/13/07	*78	T	68.7	105	10.0
10/4/07	*82	H	70.1	116	11.6
9/30/07	*84	H	70.1	116	13.5
9/29/07	94	A	72.3	123	19.9
9/21/07	93	A	72.3	123	19.0
9/17/07	*89	A	72.3	123	15.3
9/12/07	*88	H	70.1	116	17.4
* ベスト 10 枚のハンディキャップディファレンシャル					
採用可能なトーナメントスコア・ベスト 2 枚					
日付	USGA 修正スコア	スコア タイプ	JGA/USGA コース レーティング	スロープ レーティング	ハンディキャップ ディファレンシャル
10/13/07	78	T	68.7	105	10.0
7/4/07	83	T	70.1	116	12.6

10-3. 非常に優れたトーナメントスコアによる、JGA/USGA ハンディキャップインデックス引き下げ

トーナメントスコアの定義（トーナメントスコアの用語の定義、および裁定 10-3/1～10-3/6 参照）に従って、委員会は（競技を管理する委員会と協議したうえでハンディキャップ委員会がこれを担うのが望ましい）、その競技のスコアが、略称コード「T」を付記して提出するトーナメントスコア（例:82T）に指定されるかどうかを事前に決定しなければならない。第 10-3 項では、このスコアを「T スコア」と表記している箇所がある。

■ a. 追加計算の適用

プレーヤーが 2 枚以上の採用可能なトーナメントスコアを持つ場合、プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックス査定に以下の追加計算を適用しなければならない。採用可能なトーナメントスコアのベストディファレンシャル 2 枚の平均が、第 10-2 項で算出したプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスより 3.0 以上低い場合、その JGA/USGA ハンディキャップインデックスをこの追加計算によって引き下げることができる。

ハンディキャップ委員会またはハンディキャップ計算プログラムは、必ず下記の手順に従って、第 10-2 項で算出された JGA/USGA ハンディキャップインデックスを引き下げるかどうかを決定しなければならない。

■ b. 手順

例： JGA/USGA ハンディキャップインデックス 17.3 のプレーヤーが、採用可能なトーナメントスコア 3 枚 (82T, 83T, 85T) を持っている。これらはいずれも、JGA/USGA コースレーティング 70.6、スロープレーティング 130 のコースをプレーした時のスコアである。

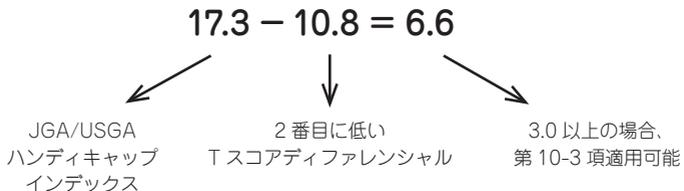
ステップ 1： それぞれの採用可能なトーナメントスコアから JGA/USGA コースレーティングを引き、113 を掛け、スロープレーティングで割ることに よってトーナメントスコアディファレンシャルを算出し、そのなかからベストディファレンシャル 2 枚を決定する。

$$82T : (82 - 70.6) \times 113 \div 130 = 9.9$$

$$83T : (83 - 70.6) \times 113 \div 130 = 10.8$$

$$85T : (85 - 70.6) \times 113 \div 130 = 12.5$$

ステップ 2： 第 10-2 項で査定した JGA/USGA ハンディキャップインデックス から、2 番目に低いディファレンシャルを引き、計算結果が 3.0 以上であれば次のステップに進む。



ステップ3: トーナメントスコアベストディファレンシャル 2 枚の平均値を求める。

$$(9.9 + 10.8) \div 2 = 10.35$$

↓
Tスコアディファレンシャル
ベスト 2 枚

↓
Tスコアベスト 2 枚
ディファレンシャル平均値

ステップ4: 平均値からプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを引く。

$$17.3 - 10.35 = 6.95 \rightarrow \text{四捨五入} \rightarrow 7.0$$

↓
JGA/USGA
ハンディキャップ
インデックス

↓
この数値と採用可能なトーナメントスコアの数を
「ハンディキャップ引き下げ換算表」に適用

ステップ5: ステップ4の算出結果(7.0) と、そのプレーヤーのスコア記録に登録されているトーナメントスコア合計枚数を「ハンディキャップ引き下げ換算表」に適用し、そのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスの引き下げ幅を決定する。

ステップ6: プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスから「ハンディキャップ引き下げ換算表」で決定した引き下げ幅を差し引いた結果が、そのプレーヤーの引き下げ JGA/USGA ハンディキャップインデックスとなる。その際、第 10-2 項で査定された JGA/USGA ハンディキャップインデックスより 1.0 以上低くなっていることを条件とする。引き下げ JGA/USGA ハンディキャップインデックスをハンディキャップレポートやコンピューター画面上で表示する場合、略称コード「R」を付記して識別する(例: 12.3R)。

$$17.3 - 5.0 = 12.3R$$

↙
JGA/USGA
ハンディキャップ
インデックス

↓
「ハンディキャップ引き下げ換算表」
で決定した引き下げ幅

↘
引き下げ
ハンディキャップ
インデックス

ハンディキャップ引き下げ換算表

	採用可能なトーナメントスコアの枚数								
	2	3	4	5-9	10-19	20-29	30-39	40以上	
Tスコアベスト 25枚とハンディ キャップインデ ックスの差	3.0～3.4	—	—	—	—	—	—	—	—
	3.5～3.9	—	—	—	—	—	—	—	—
	4.0～4.4	1	—	—	—	—	—	—	—
	4.5～4.9	1.8	1	—	—	—	—	—	—
	5.0～5.4	2.6	1.9	1	—	—	—	—	—
	5.5～5.9	3.4	2.7	1.9	1	—	—	—	—
	6.0～6.4	4.1	3.5	2.8	1.9	1	—	—	—
	6.5～6.9	4.8	4.3	3.7	2.9	2	1	—	—
	7.0～7.4	5.5	5.0	4.5	3.8	3	2.1	1	—
	7.5～7.9	6.2	5.7	5.3	4.7	3.9	3.1	2.2	1
	8.0～8.4	6.8	6.4	6	5.5	4.8	4.1	3.2	2.2
	8.5～8.9	7.4	7.1	6.7	6.2	5.7	5	4.2	3.3
	9.0～9.4	8.1	7.8	7.4	7	6.5	5.9	5.2	4.4
	9.5～9.9	8.7	8.4	8.1	7.7	7.3	6.7	6.1	5.4
	10.0～10.4	9.2	9.0	8.8	8.4	8	7.6	7	6.4
	10.5～10.9	9.8	9.5	9.4	9.1	8.7	8.3	7.8	7.2
	11.0～11.4	10.4	10.2	10	9.7	9.4	9.1	8.6	8.1
	11.5～11.9	11.0	10.8	10.6	10.4	10.1	9.8	9.4	8.9
	12.0～12.4	11.5	11.4	11.2	11	10.7	10.5	10.1	9.7
	12.5～12.9	12.1	11.9	11.8	11.6	11.4	11.1	10.8	10.5
	13.0～13.4	12.6	12.5	12.4	12.2	12	11.8	11.5	11.2
	13.5～13.9	13.2	13.1	12.9	12.8	12.6	12.4	12.2	11.9
	14.0以上	13.7	13.6	13.5	13.4	13.2	13.0	12.8	12.6

例：

「ハンディキャップ引き下げ換算表」からの決定値： 5.0

JGA/USGA ハンディキャップインデックス-上記数値： 17.3 - 5.0 = 12.3

引き下げ JGA/USGA ハンディキャップインデックス： 12.3R

■ c. トーナメントスコアの集計方法

- (i) Tスコア集計表： 採用可能なトーナメントスコアは、直近12ヶ月間の枚数に基づいて集計する。集計表の履歴にはすべてのTスコアを保存するわけではなく、そのために毎月集計が必要である。Tスコア集計表は、直近12ヶ月

間の各月の集計記録と、最新 20 枚のスコアに含まれる登録後 12 ヶ月以上経過した T スコアによって構成される。月毎の集計表には、プレーの日付ではなく、スコア提出日に基づいて記録を加えていく。

- (ii) ベスト T スコアファイル： 最大 6 枚の最も良い採用可能なトーナメントスコアが、そのプレーヤーの最新 20 枚のスコアとは別に、「ベスト T スコアファイル」に保存される。
- (iii) T スコアの追加： 新規に提出されたトーナメントスコアは、スコアおよびハンディキャップディファレンシャルとして、そのプレーヤーの通常のハンディキャップ記録に加えらる。「ベスト T スコアファイル」に登録されている採用可能なトーナメントスコアが 6 枚未満の場合、新しい T スコアはそのファイルに追加される。既に 6 枚の T スコアがファイルに登録されていて新しい T スコアがファイル内の T スコアより良い場合は、スコアの日付に拘わらずファイル内の最も悪い T スコアを削除し、新しい T スコアをファイルに追加する。
- (iv) 古い T スコアの破棄： ハンディキャップ更新日毎に、「ベスト T スコアファイル」内の各 T スコアが、登録後 1 年以上経過し且つそのプレーヤーの最新 20 枚のスコアから外れていないかどうかを確認する。もしそうであれば、そのスコアを記録から削除する。T スコアを削除した場合、「ベスト T スコアファイル」未登録の採用可能なトーナメントスコアがあれば、そのなかで最も良いものを登録する。

■ d. JGA/USGA ハンディキャップインデックス引き下げの継続と変化

非常に優れたトーナメントスコアによる JGA/USGA ハンディキャップインデックスの引き下げは、ハンディキャップ更新日毎に再計算され、以下を含む様々な要素によって随時再計算の結果が変化する可能性がある。

- ・ 新たに追加されたトーナメントスコア
- ・ 採用可能なトーナメントスコアの有効期限切れ
- ・ 第 10-2 項の計算結果の変動
- ・ ベスト 2 枚の T スコアに関連する第 10-2 項の計算結果の変動

■ e. ハンディキャップ委員会による JGA/USGA ハンディキャップインデックス引き下げの見直し

ハンディキャップ委員会は、すべての JGA/USGA ハンディキャップインデックスの引き下げを必ず見直さなければならない。見直しの結果、ハンディキャップ委員会は以下いずれかの措置をとることができる。

- 第 10-3d 項の規定に従って JGA/USGA ハンディキャップインデックスの引き下げをそのまま継続する。
- 更なる JGA/USGA ハンディキャップインデックス引き下げを適用する。例えば、委員会は、プレーヤーのプレー結果が第 10-3 項の引き下げによって示された潜在技量を継続的に上回っているとの判断を下すことができる。その場合、ハンディキャップ更新日毎に見直しを継続的に実施し、既に引き下げられている JGA/USGA ハンディキャップインデックスに更なる引き下げを適用することができる(第 8-4e 項参照)。
- 引き下げを取り消す(オーバーライド)。例えば、プレーヤーが負傷し、負傷する以前のトーナメントスコアに基づいて引き下げが適用されている場合、委員会は、そのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスの引き下げを取り消すことができる。その際、委員会は第 10-2 項に従ってそのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを再査定し、略称コード「R」の付記を取り止める。尚、2 枚以上の非常に優れたトーナメントスコアが第 10-3 項の引き下げ要件に該当し続ける限り、委員会はハンディキャップ更新日毎に引き下げを取り消す(オーバーライド) 選択肢を保持し続ける。プレーヤーのスコア記録に含まれる非常に優れたトーナメントスコアの枚数が 2 枚未満になった場合は、委員会はオーバーライドの適用を中止し、第 10-2 項の通常の査定手順に従わなければならない。
- 引き下げ幅を修正する。例えば、委員会は、第 10-3 項の引き下げを 100 パーセント適用するとプレーヤーの潜在技量を正確に反映できないが、それでも引き下げ措置は必要であるとの判断を下すことができる。その場合、委員会は、第 10-2 項で査定されたプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスと算出された引き下げ幅に修正を適用することができる。例えば、第 10-3 項で引き下げられたプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスが 10.0R で、第 10-2 項の査定結果が 15.0 だった場合、委員会は引き下げ適用後の JGA/USGA ハンディキャップインデックスを 12.5M に修正することが可能である。この方法によって、引き下げを完全に取り消さずに適切な引き下げ幅を採用することができる。

■ f. 報告の義務

JGA(承認されたゴルフ協会)とハンディキャップ計算プログラムは、第 10-3b 項に基づいて適用された JGA/USGA ハンディキャップインデックスの引き下げをゴルフ倶楽部に報告しなければならない。もしコンピューターによる報告レポートが JGA(承認されたゴルフ協会)に対して提供されている場合は、ハンディキャップ計算プログラムは JGA/USGA ハンディキャップインデックスの引き下げを JGA(承認されたゴルフ協会)に報告しなければならない。本章規定に従って引き下げが適用された JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、略称コード「R」を付記して識別しなければならない。

10-4. コースハンディキャップ

コースハンディキャップは、プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスにプレーするコースのスロープレーティングを掛け、これを 113 で割ることによって決定する（第 3-3 項参照）。上記計算式の結果は小数点以下を四捨五入した整数で表示する。

10-5. 9 ホール・ハンディキャップ（ハンディキャップインデックス (N)）

■ a. 9 ホール・ハンディキャップの使用と識別

ゴルフクラブが JGA ハンディキャップ規定（USGA ハンディキャップシステム準拠）を順守していれば、9 ホール・ハンディキャップはハンディキャップインデックス (N) として認められる。9 ホール・ハンディキャップまたはハンディキャップインデックス (N) は、倶楽部間競技で 9 ホール・ハンディキャップを持つ他のプレーヤーと対戦する場合に使用することができる。JGA/USGA ハンディキャップインデックスの使用が義務づけられている 18 ホール競技では、ハンディキャップインデックス (N) を 2 倍して使用することができる。

JGA/USGA ハンディキャップインデックスとハンディキャップインデックス (N) の両方を持つプレーヤーは、9 ホールの倶楽部間競技ではハンディキャップインデックス (N) を使用し、18 ホール競技では JGA/USGA ハンディキャップインデックスを使用すべきである。

JGA/USGA ハンディキャップインデックスしか持っていないプレーヤーが 9 ホール競技に参加する場合は、JGA/USGA ハンディキャップインデックスを 2 で割り端数を切り上げた小数第 1 位までの数値を、使用するティーインググラウンドのコースハンディキャップ換算表から 9 ホールのスロープレーティングを使用して、コースハンディキャップに換算する。

■ b. 査定方法

ゴルフクラブがハンディキャップインデックス (N) を査定する場合、9 ホールの調整グロススコアに、プレーした 9 ホールの JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングを適用してハンディキャップディファレンシャルを算出する。

注： ハンディキャップインデックス (N) を持つプレーヤーが 18 ホールをプレーした場合、2 つの 9 ホールスコアをそのプレーヤーのスコア記録 (N) (9 ホールのスコア記録) に登録しなければならない。

例： 9 ホールの JGA/USGA コースレーティングが 36.2、スロープレーティングが 121、調整グロススコアが 45 の場合、この 9 ホールのハンディキャップディファレンシャルは、「 $(45 - 36.2) \times 113 \div 121 = 8.2$ 」となる。仮に 9 ホールハンディキャップディファレンシャルのベスト 10 枚の平均が 8.9 だとすれば、ハンディキャップインデックス (N) は「 $8.9 \times 0.96 = 8.5$ 」となり、「8.5N」と識別して登録する。

■ c. 9 ホールのストロークコントロール
ストロークコントロールの定義を参照。

ストロークコントロール

9 ホール コースハンディキャップ	1 ホールのスコア上限
4 以下	ダブルボギー
5 ～ 9	7
10 ～ 14	8
15 ～ 19	9
20 以上	10

例： 9 ホールのコースハンディキャップが 12 のプレーヤーは、ホールのパーに関係なく各ホールのスコア上限を「8 打」として調整しなければならない。

■ d. 9 ホール・ハンディキャップの上限

ハンディキャップインデックス (N) の上限は、男子 18.2、女子 20.2 とする。

注： スロープレーティング 113 を超えるゴルフコースでは、ハンディキャップインデックス上限値をコースハンディキャップに換算すると、この上限値よりも大きい数値になる。

プレーヤーは、この上限を超えるローカルハンディキャップを持つことができるが、その場合、ハンディキャップカードやレポートには必ず略称コード「L」を付記してローカルハンディキャップであることを明確にしなければならない (例: 24.5L)。このようなローカルハンディキャップを倶楽部間競技で使用する場合は、本項で定めるハンディキャップインデックス (N) の上限値に引き下げて使用することを USGA は奨励している。

【裁定集】 第 10 章： JGA/USGA ハンディキャップ計算式

10-3/1. 獲得ポイント合計による年間表彰を実施する場合の、その対象ラウンドにおけるトーナメントスコアの指定

質問： 「レディースデー」にグロス部門とネット部門で競技を実施した。各クラスの 1 位から 3 位にはポイントが与えられ、年間で最も多くのポイントを獲得したプレーヤーは表彰される。これらのラウンドのスコアは、トーナメントスコアとみなされるか？

回答： みなされない。トーナメントスコアとみなすには、同じ数の正規のラウンドをプレーすることが義務づけられるべきである。

10-3/2. 賞品がゴルフボールの競技におけるトーナメントスコアの指定

質問： 賞品がゴルフボールのみの競技におけるスコアは、トーナメントスコアとして提出できるか？

回答： 賞品の価値や性質は、トーナメントスコアとしての指定可否を決定する要素ではない。トーナメントスコアの定義の条件を満たせば、そのスコアはトーナメントスコアとして提出し、略称コード「T」を付記して識別しなければならない（トーナメントスコアの定義、および第10-3 項参照）。

10-3/3. スタート時点でエントリー可能な競技におけるトーナメントスコアの指定

質問： 倶楽部所属のプロが、スタート直前にエントリー可能な競技を主催した。賞品はその日の参加人数に応じて決められる。この競技のスコアは、トーナメントスコアとして提出できるか？

回答： 倶楽部のトーナメント委員会が所属プロによる競技の主催を認め、その競技が正規のラウンドに基づいて優勝者を決定し、且つ「ゴルフ規則」に従ってプレーされる場合（および、Tスコアに指定することを委員会が事前に告知している場合）、その競技のスコアはトーナメントスコアとして提出することができる。エントリー受付の時期や賞品の性質は、トーナメントスコア指定の可否には関係ない。日常的に行われている競技（レディースデー、シニアデー、オープンコンペなど）は、伝統、スケジュール、競技形態、および倶楽部の会員制度に関わる重要度が高くないため、通常はトーナメントスコアに指定されない。重要度の高い競技とは、例えば必ず毎年1回開催されるものなどをいう。

10-3/4. 組合せとスタート時間を設定していない競技におけるトーナメントスコアの指定

質問： 倶楽部のトーナメント委員会が毎週1回、簡単な賞品の競技を開催しているが、その競技では組合せとスタート時間を設定していない。この競技のスコアは、トーナメントスコアとして提出できるか？

回答： 組合せとスタート時間を設定していないという事実のみによって競技の性質を決めることはできない。また、賞品が簡単なものかどうかも関係ない（裁定 10-3/2 参照）。倶楽部のトーナメント委員会は、毎週開催しているこれらの競技のスコアが、トーナメントスコアとして提出できる条件を満たしているかどうかを決定しなければならない。その条件を満たすためには、その競技は委員会によって開催され、正規のラウンドに基づいて優勝者を決定し、且つ「ゴルフ規則」に従ってプレーされなくてはならない。これらの条件が満たされている場合、委員会は、トーナメントスコアを提出する際には略称コード「T」を付記して識別しなければならない旨を事前に告知しなければならない。もしハンディキャップ委員会の判断でこれに該当するプレーヤーが特定される場合、その競技のスコアをトーナメントスコアとして提出しなければならない旨を委員会は告知できる。日常的に行われている競技（レディースデー、シニアデー、オープンコンペなど）は、伝統、スケジュール、競技形態、および倶楽部の会員制度に関わる重要度が高くないため、通常はトーナメントスコアに指定さ

れない。重要度の高い競技とは、例えば必ず毎年1回開催されるものなどをいう。但し、トーナメントスコアに指定する競技が多くなりすぎると、第10-3項による非常に優れたトーナメントスコアに基づいたJGA/USGAハンディキャップインデックスの引き下げを効果的に適用できなくなるので、十分に注意すること。(改訂項目)

10-3/5. 倶楽部が定期的に行っている懸賞競技におけるトーナメントスコアの指定

質問： 上記の裁定10-3/3および10-3/4を委員会が承知したうえで、倶楽部は毎週水曜日に懸賞競技を開催している。参加者はラウンドスタート時に所属プロに各2ドルを支払い、これを懸賞分としてプールする。組合せやスタート時間は設定されていない。優勝者は、その日に集まった懸賞金額相当の商品券を獲得する。競技は「ゴルフ規則」に完全に則ってプレーされる時もあるれば、そうでない時もある。また、毎週の競技スコアを集計して、年末には決勝大会が開催されている。これらの競技のスコアは、トーナメントスコアに指定できるか？

回答： 「ゴルフ規則」に従っていない競技のスコアは、通常トーナメントスコアに指定することはできない。但し、上記に示されている条件そのものは、委員会がこれらの競技のスコアをトーナメントスコアに指定することを妨げるものではない。トーナメントスコアを適用する目的は、競技において、自身のJGA/USGAハンディキャップインデックスを上回るプレーをしたプレーヤーを特定することである。もしハンディキャップ委員会の判断でこれに該当するプレーヤーが特定される場合、その競技のスコアをトーナメントスコアとして提出しなければならない旨を委員会は告知できる。倶楽部の伝統、スケジュール、競技形態、および会員を熟知している委員会は、この判断を下すうえで最も適任である。但し、日常的に行われている競技(レディースデー、シニアデー、オープンコンペなど)は、伝統、スケジュール、競技形態、および倶楽部の会員制度に関わる重要度が高くないため、通常はトーナメントスコアに指定されない

10-3/6. プレーしたホール数が13ホール未満の場合のトーナメントスコアの指定

質問： マッチプレー競技において、11番ホールでマッチが終了した。このスコアは、トーナメントスコアとして提出できるか？

回答： できない。トーナメントスコアに指定するためには、トーナメントスコアの条件を満たす競技で13ホール以上プレーしたスコアでなければならない。

システムの抑制と均衡

第 11 章： ハンディキャップの管理

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第 2 章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

システム全体の抑制と均衡に基づくハンディキャップの管理は、JGA/USGA ハンディキャップインデックスがプレーヤーの潜在技量を正確に示すためのものである。ハンディキャップの管理によって、プレーヤーの潜在技量を反映しないスコアがそのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを歪めることを防いでいる。以下に記載されているハンディキャップの管理は、公正で信頼できる JGA/USGA ハンディキャップインデックスを査定するために JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) に組み込まれている。

11-1. ゴルフ倶楽部のハンディキャップ委員会

ハンディキャップ委員会は、JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の根幹である。JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) を使用する各ゴルフ倶楽部は、JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) を保全するために必ずハンディキャップ委員会を設置しなければならない。

(第 8 章参照)

ハンディキャップ委員会は、スコアが提出され、JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) がすべて順守され、各プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスが公正に保たれていることを確認する。

11-2. スコア検証

スコア検証の用語の定義参照。

11-3. ハンディキャップディファレンシャルのワースト 10 枚の除外

プレーヤーの最新 20 枚のハンディキャップディファレンシャルのうち、最も悪い 10 枚はそのプレーヤーの潜在技量を反映していないため、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの計算に使用しない。

11-4. 20 枚未満の提出スコア

提出スコアの枚数が 20 枚未満のプレーヤーは、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの査定に使用するスコアが、最新 20 枚中 10 枚という理想的な比率 (50 パーセント) を下回り、提出スコアの枚数が 20 枚に近づくほど、JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) の正確性と信頼性は高まる。従って、採用可能なスコア 20 枚に基づいて査定さ

れたハンディキャップは、20 枚未満のスコアで査定されたものと比べてプレーヤーの潜在技量をより正確に反映する。

11-5. ストロークコントロール

ストロークコントロールの用語の定義参照。

11-6. 非常に優れたトーナメントスコアによる、JGA/USGA ハンディキャップインデックス引き下げ

プレーヤーが 2 枚以上の採用可能なトーナメントスコアを持ち、トーナメントスコアのディファレンシャルがプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスより 3.0 以上低い場合、JGA/USGA ハンディキャップインデックス査定に追加計算を適用する (第 10-3 項参照)。

11-7. JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正または停止

ハンディキャップ委員会は、プレーヤーがすべての採用可能なスコアを提出しなかったり、或いは JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) の精神を順守しなかった場合、そのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを修正または停止する権限を持つ。また、特別な理由によりプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスが低すぎる場合には、ハンディキャップ委員会はそのプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを引き上げる権限を持つ。修正、引き下げ、または停止が適用された JGA/USGA ハンディキャップインデックスについては、ハンディキャップ委員会はハンディキャップ更新日毎に見直しを実施しなければならない。

11-8. ペナルティースコア

ペナルティースコアの用語の定義参照 (第 8-4b 項参照)。

11-9. JGA (承認されたゴルフ協会) が発行するレーティング

すべてのゴルフコースは、JGA (承認されたゴルフ協会) を代表する査定チームによって、USGA が認めた手順に従って査定されなければならない。すべての JGA/USGA コースレーティングが均一な方法で査定されれば、JGA/USGA ハンディキャップインデックスもすべて公平に査定することができる。

11-10. ライセンス認可の必要条件

JGA/USGA ハンディキャップインデックスという名称を使用できるのは、本規定マニュアルに示されるように、JGA ハンディキャップ規定 (USGA システム準拠) を完全に順守して JGA/USGA ハンディキャップインデックスの発行および管理を行い、且つその目的のために USGA からライセンス認可を受けた JGA (承認されたゴルフ協会) だけである。JGA (承認されたゴルフ協会) は、USGA の商標類を使用したり JGA/USGA ハンディキャップイ

ンデックスを発行するために、USGA の文書による承認を受けなくてはならない。

11-11. JGA ハンディキャップ委員会

JGA ハンディキャップ委員会の連絡先は以下。

財団法人 日本ゴルフ協会 ハンディキャップ委員会

住所 : 〒 104-0031 東京都中央区京橋 1-12-5 京橋 YS ビル 2 階

電話 : 03-3566-0003

ファックス : 03-3566-0101

WEB サイト : www.jga.or.jp

パートⅢ – ゴルフコース

第 12 章: コースの実測

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第 2 章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

12-1. 基準測定点 (パーマナントマーカー)

正確な基準測定点を設置することは、レーティング査定において必要不可欠である。基準測定点は、使用するティーインググラウンドの区域の中心に設置する。不適切な位置に基準測定点を設置すると、常に査定されたレーティングに沿ったコース難易度を保つのが困難となる。

基準測定点の設置は、グリーンの長さやラフの長さ、およびその他コースメンテナンス作業よりもレーティングに大きな影響を与えるものである。従って倶楽部は、この点に格別の注意を払い、正確な基準測定点の設置方法について JGA (承認されたゴルフ協会) の指導を受けることが望ましい。

1 面のティーインググラウンドで 1 つのティーマーカーを使用する場合、ティーインググラウンドの中心に基準測定点を設置する。このことにより、倶楽部はティーインググラウンド全面を使用することができる。

1 面のティーインググラウンドで 2 つ以上のティーマーカーを使用する場合、各ティーマーカーの使用頻度の割合に応じてティーインググラウンドを分割し、それぞれの中心に基準測定点を設置する。例えば 1 面で 3 つのティーマーカーを使用し、それぞれの使用頻度がフォワードティー 25 パーセント、ミドルティー 50 パーセント、バックティー 25 パーセントの場合、長さ 40 ヤードのティーインググラウンドをこの割合に従って 10 ヤード、20 ヤード、10 ヤードの 3 区域に分割。そして分割された各区域の中心に基準測定点を設置する。

また、9 ホールのコースで各ホールに 2 種類のティーマーカーを設置して 18 ホールをプレーさせる場合は、それぞれのヤーデージを測定し、明確に区別できるティーマーカーと基準測定点を個々に設置しなければならない。

12-2. 実測距離の測定

■ a. 距離測定方法

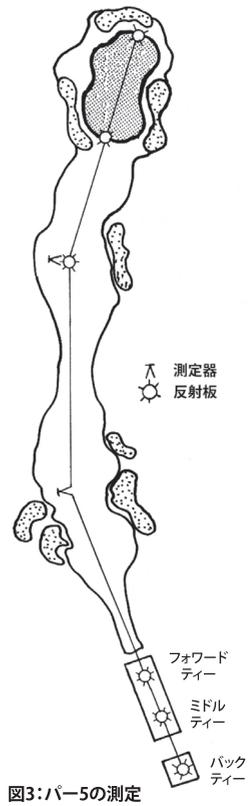
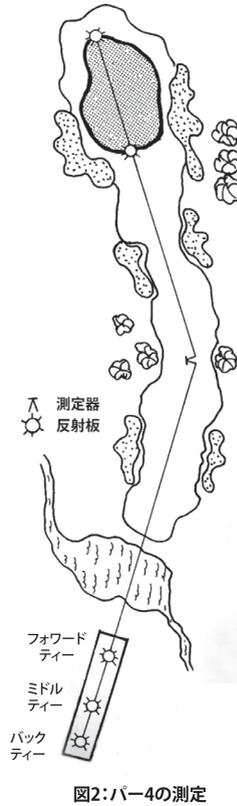
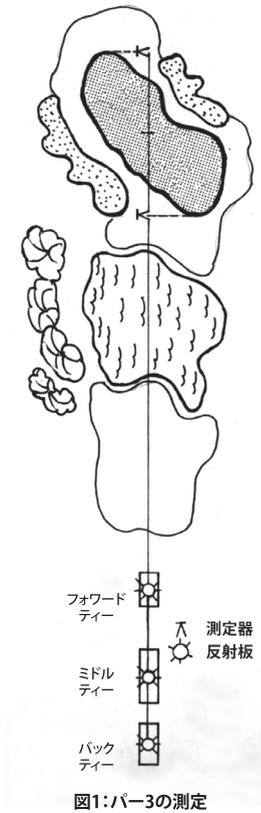
各ホールを実測する際には、電子測定器 (EMD)、測量機器、または GPS 測定器を使用して、各ティーインググラウンドの基準測定点からグリーン中心までの水平距離を測定しなければならない。コースの実測は経験者であれば誰でも行うことができるが、実測結果は JGA/USGA コースレーティングを倶楽部に付与する JGA (承認されたゴルフ協会) が検証する。スコアカードに記載するヤーデージは、この実測距離を正確に反映するべきであり、また実測距離を最も近い整数でヤード表記することは非常に重要である。

ドッグレッグのホールでは、ドッグレッグのコーナー地点のフェアウェイ中央に中継地点を設定し、その地点とティーインググラウンドを結んだ直線距離を測定しなければならない。但し、この中継地点が簡単に設定できない場合は、最も使用頻度の高いティーマーカーから 250 ヤード地点 (女子は 210 ヤード地点) に設定する。その後、中継地点とグリーン中心 (更にドッグレッグしている場合は次の中継地点) を結んだ直線距離の測定を続ける。

■ b. ティーマーカーの識別、レーティングの表示

ティーインググラウンド(「ゴルフ規則」用語の定義参照) の区域を指定する移動可能なティーマーカーは、コース上の他のティーインググラウンドと明確に識別できるように使用する色や形状を統一する必要がある。ティーマーカーを識別する色、形状、その他の方法は、コースを管理する委員会が、ハンディキャップ委員会と相談しながら決定する。コースハンディキャップ換算表 (第 3-3 項参照)、スコアカード、およびスコア提出場所の掲示板などには、各ティーマーカーの名称、色、形状とともに、JGA/USGA コースレーティングとスローブレージングを表示しておくべきである。このことによってプレーヤーは容易に、スタート前に JGA/USGA ハンディキャップインデックスからコースハンディキャップへ換算することができ、またホールアウト後にハンディキャップ査定のためにスコアを提出する際には、使用したティーマーカーの正しいレーティングを提出することができる。

実測距離の測定方法



JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティング				
ティーマーカー	男子 JGA/USGA コース レーティング	男子 スロープ レーティング	女子 JGA/USGA コース レーティング	女子 スロープ レーティング
チャンピオンシップ	74.0	125	—	—
バック	72.0	119	74.5	128
ミドル	71.3	113	73.7	122
フォワード	69.5	105	72.0	118
フロント	—	—	69.3	113

通常男子と女子が共に使用するティーマーカーには、すべてのプレーヤーがハンディキャップ査定のために正確なスコアを提出できるように、男女それぞれの JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングを査定すべきである。男女いずれかのプレーヤーが使用したティーマーカーに該当する性別のレーティングが査定されていなかった場合、未査定ティーインググラウンドのレーティング調整手順を適用できる（第 5-2g 項参照）。

9 ホールのスコアを連結して 18 ホールのスコアとする場合は、9 ホールのレーティングを組み合わせて提出するべきである。

第 13 章： JGA/USGA コースレーティング

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第 2 章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

13-1. 用語の定義

■ a. スクラッチゴルファー

スクラッチゴルファーの定義参照。

■ b. 距離レーティング

距離レーティングとは、実効プレー距離に基づいて評価したコース難易度をいう。

■ c. 障害要素

障害要素とは、コースに存在するハザード、自然の状況、植物、およびコースコンディションのことで、同じ実効プレー距離の標準難易度コースと比べてプレーを難しくしたり易くするものをいう。

■ d. 実効プレー距離

実効プレー距離とは、そのコースの実測距離を、実際のプレー距離に影響を与えるロール、高低差、ドッグレッグ/強制刻み、風の影響、および標高の各要素に基づいて修正したものをいう。例えば、強制刻みによってスクラッチゴルファーにとってのプレー距離が長くなる場合、査定チームは実測距離に上方修正を加えて JGA/USGA コースレーティングを査定する。

■ e. JGA/USGA コースレーティング

JGA/USGA コースレーティングの定義参照。

コース査定は、個々の倶楽部ではなく、JGA（承認されたゴルフ協会）によって行われる（第 14 章参照）。

注： 距離レーティングやJGA/USGA コースレーティングをパーと混同しないこと。パーは、コースのプレー難易度を測る正確な尺度ではない。同じパー設定の2つのゴルフコースで、大きく異なるJGA/USGA コースレーティングや距離レーティングが査定されることはあり得る。

■ f. ボギーゴルファー

ボギーゴルファーの定義参照。

■ g. ボギーレーティング

ボギーレーティングの定義参照。

■ h. スロープレーティング

スロープレーティングの定義参照。

13-2. 査定の基本条件

■ a. ティーマーカーの設置とホールロケーション

コース査定の当日は、以下の準備が倶楽部に求められる。

- (i) ティーマーカーを基準測定点の場所に設置する。
- (ii) ホールロケーションは標準的な位置にする。
- (iii) 通常の難易度に合わせてコースセッティングを行う。

■ b. ミッドシーズン時のコンディション

JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングは、そのコースで年間に最もプレー頻度の高いシーズンにおける通常のコンディションに基づいて査定しなければならない。

■ c. ゴルフ規則

JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングは、プレーヤーがゴルフ規則に則ってプレーし、コースのマーキングがゴルフ規則に従ってなされていることを前提に査定される。ローカルルールは「ゴルフ規則」の精神とUSGA およびJGAのポリシーに適合したものとななければならない(第7章参照)。

13-3. 査定の手順

■ a. レーティングの構成要素

JGA(承認されたゴルフ協会)は、以下の要素に基づいてJGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングを決定する。

- (i) 実効プレー距離は、コースの実測距離と、それに顕著な影響を及ぼす要素によって構成される(第13-1d項参照)。距離の測定は正確に行われなければならない

い。全体でわずか 22 ヤードの距離の誤差によって、男子 JGA/USGA コースレーティングは 0.1 打変化する。女子 JGA/USGA コースレーティングの場合は、18 ヤードの距離の誤差が 0.1 打の違いとなって現れる。

- (ii) スクラッチゴルファーとボギーゴルファーの距離レーティングは、それぞれの実効プレー距離を距離レーティング計算式に適用して算出する（第 13-1d 項、および第 13-3d 項参照）。
- (iii) JGA/USGA コースレーティングは、スクラッチゴルファーに影響を与える障害の難易度を、スクラッチ距離レーティングに加えたものである。
- (iv) ボギーレーティングは、ボギーゴルファーに影響を与える障害の難易度を、ボギー距離レーティングに加えたものである。
- (v) スロープレーティングは、ボギーレーティングと JGA/USGA コースレーティングの差に、男子 5.381、女子 4.24 の係数を掛けたものである（用語の定義、および第 13-3f 項参照）。

■ b. 実効プレー距離

査定チームは、プレー距離に影響を与える 4 つの要素（ロール、高低差、ドッグレッグ／強制刻み、風の影響）を各ホールで評価する。高地のコースの場合はこれに標高による評価を加え、実測距離を修正して実効プレー距離を導き出す。更に実効プレー距離を距離レーティング計算式に適用し、スクラッチおよびボギー距離レーティングを算出する。

- (i) **ロール**
芝が短く、乾燥した状態で、ランディングエリアが下り傾斜になっているフェアウェイは、通常の 20 ヤードよりもロールが多くなる。芝が長く、湿った状態で、ランディングエリアが上り傾斜になっているフェアウェイは、通常の 20 ヤードよりもロールが少なくなる。
- (ii) **高低差**
ティーインググラウンドからグリーンまで打ち上げのホールはプレー距離が長くなり、ティーインググラウンドからグリーンまで打ち下ろしのホールはプレー距離が短くなる。
- (iii) **ドッグレッグ／強制刻み**
通常のランディングエリアの手前でホールが屈曲しているホールは、ティーショットでフルショットを打てない。ウォーターハザードなどの障害がランディングエリア付近に存在するホールも同様である。

(iv) 風の影響

恒常的な風の強さと向きは、コースの難易度に影響を与える要素となる。

(v) 標高

海拔 2,000 フィート（約 700 メートル）以上の高地にあるコースでは、平地よりも球の飛距離が伸びるため、距離レーティングを下方修正する。

■ c. 障害難易度

査定チームは、スクラッチゴルファーとボギーゴルファーそれぞれのプレーに影響を与える障害難易度 10 項目について、それぞれ 0 から 10 までの点数によって各ホールで評価する。項目毎の評価点合計にそれぞれの比重値を掛け、これらを合算したものを計算式に適用し、スクラッチおよびボギーそれぞれの障害ストローク値に変換する。この障害ストローク値を距離レーティングに加算したものが、JGA/USGA コースレーティングとボギーレーティングである。障害難易度 10 項目の評価要素は以下。

- (i) 地形: フェアウェイランディングエリアのスタンスとライの難易度、およびランディングエリアとグリーンの高低差。
- (ii) フェアウェイ: ランディングエリアの幅（ドッグレッグ、樹木、フェアウェイの傾斜などによって狭められる）。
- (iii) グリーンへの目標アプローチ: アプローチショット距離に応じたグリーンの大さき、形状、および傾斜。
- (iv) ラフトリカバリー可能性: ランディングエリアおよびグリーン周辺に存在するラフや課罰的要素。
- (v) バンカー: ランディングエリアおよびグリーン周辺に存在するバンカー。
- (vi) OB／非常に深いラフ: ランディングエリアおよびグリーン周辺に存在するOB、またはOB同様の影響を与える非常に深いラフ。
- (vii) ウォーターハザード: 特にランディングエリアおよびグリーン周辺に存在するウォーターハザード。
- (viii) 樹木: 樹木の位置、大きさ、高さ、密生度、および樹木からのリカバリー難易度。

- (ix) グリーン表面： グリーンの速さと起伏。
- (x) 心理的影響： 難易度の高い障害が存在することによる心理的な影響。

■ d. 距離レーティング計算式

距離レーティングは、以下の計算式によって算出する。

- (i) **男子スクラッチ距離レーティング**
 スクラッチ距離レーティング＝
 (スクラッチ実効プレー距離 ÷ 220) + 40.9

例： 実効プレー距離が6,419ヤードの場合、男子スクラッチ距離レーティングは以下のように算出される。

$$\text{実効プレー距離} \div 220: \quad 6,419 \div 220 = 29.18$$

$$\text{上記の結果} + 40.9: \quad 29.18 + 40.9 = 70.08$$

$$\text{スクラッチ距離レーティング:} \quad 70.1 \text{ (少数第2位四捨五入)}$$

- (ii) **男子ボギー距離レーティング**
 ボギー距離レーティング＝
 (ボギー実効プレー距離 ÷ 160) + 50.7

- (iii) **女子スクラッチ距離レーティング**
 スクラッチ距離レーティング＝
 (スクラッチ実効プレー距離 ÷ 180) + 40.1

- (iv) **女子ボギー距離レーティング**
 ボギー距離レーティング＝
 (ボギー実効プレー距離 ÷ 120) + 51.3

■ e. コースレーティング計算式

- (i) **JGA/USGA コースレーティング (男子・女子)**
 JGA/USGA コースレーティング＝
 スクラッチ距離レーティング + スクラッチ障害ストローク値

- (ii) **ボギーレーティング (男子・女子)**
 ボギーレーティング＝
 ボギー距離レーティング + ボギー障害ストローク値

■ f. スロープレーティング計算式

スロープレーティングは、以下の計算式によって算出する。

- (i) 男子スロープレーティング
スロープレーティング=
(ボギーレーティング- JGA/USGA コースレーティング) ×5.381
- (ii) 女子スロープレーティング
スロープレーティング=
(ボギーレーティング- JGA/USGA コースレーティング) ×4.24

標準難易度のコースのスロープレーティングは 113 である。この時、JGA/USGA コースレーティングとボギーレーティングの差は、男子 21 打、女子 26.65 打である (男子: $21 \times 5.381 = 113$ 、女子: $26.65 \times 4.24 = 113$)。

注: コースレーティングに関する詳細は、「JGA/USGA コースレーティングシステム規定マニュアル」および「JGA/USGA コースレーティング査定ガイド」に記載されている (JGA のみ入手可能)。

第 14 章: コースレーティング査定の実施

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第 2 章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

14-1. JGA (承認されたゴルフ協会) による査定

すべてのコースレーティング査定は、USGA が認めた手順に従って、JGA (承認されたゴルフ協会) を代表する査定チームが行われなければならない。JGA (承認されたゴルフ協会) が設置したコースレーティング審査委員会は、各査定結果を評価しなければならない。

すべての JGA/USGA ハンディキャップインデックスが同じ基準で査定されるように、均一なコースレーティング査定手順が必要である。

14-2. JGA (承認されたゴルフ協会) による再査定

JGA (承認されたゴルフ協会) は、定期的にレーティングの見直しを実施し、必要に応じて再査定を行うものとする。新設のコースは最初の数年間で急速な変化を遂げるため、開設後 9 年間は 3 年毎に再査定を実施するべきである。コースが全く変化していなくても、最低 10 年に 1 度は必ず再査定を実施しなければならない。査定後 10 年以上経過した JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングは無効である。コースの再査定については、必ず地域を管轄する JGA (承認されたゴルフ協会) に連絡すること。

14-3. 査定チームのメンバー

査定チームは最低 3 名の経験豊富な査定員によって構成される。査定チームは、風の状況を含む通常のコースコンディションを熟知した倶楽部の代表者 (できれば JGA/USGA ハ

ンディキャップインデックスの低いプレーヤーや倶楽部所属プロが望ましい) から、査定中に協力を得ることができる。査定チームのメンバーは、スクラッチゴルファーについての実践的な知識を持っているべきであり、チームメンバーを固定化することによって、査定結果のばらつきを抑えることができる。

JGA (承認されたゴルフ協会) は、査定チームの1名をチームリーダーに任命しなければならない。査定チームリーダーは、USGA または JGA が開催するコースレーティングセミナーに出席しなければならない。査定チームはホール毎に各障害難易度を0から10までの点数によって評価し、メンバー全員が同一の採点結果で合意できるように務める。各査定員の採点に誤差が生じた場合は、チームリーダーの裁量で統一見解をとりまとめる。査定中は、障害難易度の評価を目的として球を打つことはできる。

査定結果を実証するために、査定を実施する前または後にそのコースをプレーすることを勧める。チームリーダーは、必要事項を漏れなく記入した査定用紙をJGA (承認されたゴルフ協会) へ提出し、コースレーティング審査委員会による検証を受けなければならない。委員会は、決められた範囲内で査定結果を修正したり、別のチームによる再査定の指示を出すことができる。コースレーティング審査委員会による検証が終了したら、JGA (承認されたゴルフ協会) はそのレーティングを倶楽部に発給しなければならない。

14-4. JGA (承認されたゴルフ協会) の記録管理

■ a. 情報の保管

JGA (承認されたゴルフ協会) は、JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングの記録を将来的に参照できるように保管しておかなければならない。保管する記録には、スコアカード、査定員の氏名、査定日、査定時の気象状況、フェアウェイの散水システム、芝の種類、ラフの長さ、ホール実測記録と測定者の氏名、基準測定点の設置状況、などが含まれる。

■ b. すべてのレーティングのリスト

コースレーティング審査委員会は、管轄地域内で査定された各コースの全長ヤードージ、JGA/USGA コースレーティング、およびスロープレーティングが明記されたリストを作成しなければならない。委員会はこのリストを定期的に検証し、内容の正確性を保つようにしなければならない。

JGA (承認されたゴルフ協会) のコースレーティング審査委員会は、このリストを地域内にあるすべての倶楽部に提供する。これによって、各倶楽部の会員が地域内のコースでプレーした際に、スコアの提出が簡便となる。またJGA (承認されたゴルフ協会) は、このリストのコピーをUSGA ハンディキャップ部門に提出しなければならない。

14-5. コース改造

■ a. 一時的な改造

一時的に臨時のティーインググラウンドやグリーンを使用する場合、ハンディキャップ委員会は JGA (承認されたゴルフ協会) にその旨を通知しなければならない。JGA (承認されたゴルフ協会) は、その状況でプレーした際のスコアをハンディキャップ査定に採用できるか否かの判断を下し、また JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングを一時的に変更するべきかどうかを決定する。改造工事のためにホールをクローズする場合には、そのホールのスコアを「パー+そのプレーヤーのハンディキャップストローク」としなくてはならない旨を (第 4-2 項参照)、ハンディキャップ委員会は倶楽部の会員に対して通知する責任がある。

■ b. 恒久的な改造

恒久的なコース改造を実施した場合、倶楽部はその旨を JGA (承認されたゴルフ協会) に通知しなければならない。JGA(承認されたゴルフ協会) は、既存の JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングを検証し、再査定が必要であるか否かを判断する。

14-6. ゴルフ倶楽部による仮レーティング

倶楽部自身がコースを査定することは絶対に認められない。JGA (承認されたゴルフ協会) によって JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングが査定されるまで、ゴルフ倶楽部は JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) を使用することはできない。

第 15 章: コースセッティング

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第 2 章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

15-1. コース難易度の維持

レーティングは、通常のコンドーションにおけるプレー難易度と実効プレー距離に基づいて査定されている。プレーヤーがラウンド中に 14 本のクラブをほぼすべて使用し、また公平にプレーできるという観点に基づいてコースセッティングが行われているかについて評価することもある。もし距離や通常のプレー難易度が著しく変わってしまうと、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの正確性は歪められてしまう。距離の違いが男子の場合 22 ヤード、女子の場合 18 ヤードあると、JGA/USGA コースレーティングは 0.1 打変化する。ハンディキャップ委員会はグリーン委員会と協力して、距離と通常のプレー難易度を常に一定で公平な状態に保つように務めるべきである。

15-2. バランスの良いティーマーカーの設置

ティーマーカーの設置は、コースの実効プレー距離が毎日ほぼ同じに保てるようにバランスを考えて行うべきである。天候や芝の状態に応じてティーマーカーの位置を調整することができる。

「ゴルフ規則」の用語の定義では、『ティーインググラウンドは奥行き2クラブレングスの長方形の区域で、その前方と横の辺は2つのティーマーカーの外側の先端を結んだ線をもって決める』と定義されている。従って、ティーマーカーは、常にティーインググラウンドの後ろの端から少なくとも2クラブレングス前方に設置しなければならない。

下記は、1面のティーインググラウンドを前後6つに分割した図である。前後中央の太線は、基準測定点（パーマメントマーカー）の設置位置である。



バランスの良いティーマーカーの設置方法は以下。

■ a. 通常のコンドিশョン時

同じ種類のティーマーカーは、偶数ホールではティーインググラウンドの前方、奇数ホールでは後方に設置し、必ず同じアルファベットの区域を選択するようにする（例えば、1番ホールは後方A、2番ホールは前方Aなど）。また別の種類のティーマーカーは、偶数ホールを後方、奇数ホールを前方にする。この方法で日々のティーマーカーの位置をローテーションすることにより、常にコースの実効プレー距離を一定に保てる。但し、異常なコンドিশョンの場合は下記bの方法を採用する。

■ b. 異常なコンドিশョン時

地面が硬くて球が転がるコースは後ろの区域を使用し、地面が柔らかくて球が転がらないコースは前の区域を使用する。例えば、地面が硬くて球が転がる場合は前方Aと後方Cの区域にティーマーカーを設置し、地面が柔らかくて球が転がらない場合は前方Cと後方Aの区域に設置する。

また、極度に異常な状態の場合は、状況に応じて前方と後方のすべての区域を使用し、通常のプレー距離をできるだけ保てるように務める。

上記の推奨方法は、すべてのティーマーカーの設置に採用するべきである。

15-3. ホールロケーション

良いホールロケーションの選択には多くの要素が影響するが、なによりも最も重要なことは、公平なプレー結果をもたらすことを目的として良き判断を下すことである。トリッキーなホールロケーションは選択しないこと。

以下は、ホールロケーションの選択に関わる具体的な考慮点である。

- (i) 設計者が意図した通りにそのホールがプレーされるように、必要に応じてそのホールのデザインを考慮に入れる。グリーンへのショットの距離と、考えられるその日の状態（風や天候状況、ショット地点の芝の状態、グリーン上での球の留まり具合など）を把握する。
- (ii) 要求されたショットがグリーン上に留まるために、ホールからグリーン手前と両サイドのエッジまでの間には十分なグリーン面がなければならない。例えば、そのホールでグリーンを狙うためにロングアイアンやウッドでのショットを要求される場合、短いピッチショットでグリーンを狙う場合よりも、グリーンの上で両サイドから離れたところにホールを位置させるべきである。

どんな場合でも、通常、ホールはどのグリーンエッジからも少なくとも4歩離れたところに決めることを勧める。バンカーがエッジに近い場合やエッジから外に向かって下り傾斜になっている場合、特にピッチショット以上のときには、エッジからホールまでの距離はより長くするべきである。

グリーンを少しだけ外してしまったような、まあまあ良いショットに対しては、フェアナリカバリーの機会を与えることを考慮すべきである。

- (iii) ホールの周辺の2～3フィート（約1m）の区域はできるだけ平らで均一な状態であるべきである。ホールはトリッキーな場所や、球の転がるスピードが増すような急斜面に設置すべきでない。また、ホールの上側からパットしたプレーヤーがそのホールの周辺に球を止めることができるようにすべきである。
- (iv) ホールのすぐ近くの芝の状態を考慮し、完全に治っていない古いホール跡を避けるように特に配慮する。
- (v) ホールはグリーンの上で傾斜に沿って切るのではなく、できるだけ垂直に切られるべきである。
- (vi) 左右、中央、前後等の位置に関してコース全体のホールロケーションの選択のバランスを保つべきである。例えば、グリーン左サイドのホールロケーションが多すぎると、ドローやフックのショットが特に有利な結果となってしまうので、そのような偏りのあるホールロケーションは避ける。

- (vii) 数日にわたってプレーされる競技では、日ごとのコースの難易度のバランスを保つべきである。ストロークプレー競技では、第 1 ラウンドの 1 番ホールは最終ラウンドの最終ホールと同じだけ大切である。従って、難易度がラウンドによって大きく異なるコースセッティングは避けるべきであり、重要な目的は全体のバランスを整えることである。

上記に関する更なる詳細は、「競技運営ガイド」を参照のこと。

15-4. コース管理

各ホールにおいて、ティーマーカーの位置、および距離と様々な障害の設定は、公平で一貫性のあるプレーコンディションを提供するために考慮され、このことが JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングに正確に反映される。

様々な障害は、第 15-1 項の条文に従って、査定された状態と同様に維持されるべきである。

コース管理については多くの要素が含まれるが、詳細は「競技運営ガイド」に記されている。

15-5. コースのマーキング

競技を管理する委員会またはコースを管理する委員会が、適正且つ完全なコースのマーキングを行うように務めることは、極めて重要である。マーキングが施されていないコースでゴルフ規則に則ったプレーを行うのは困難であり、JGA/USGA コースレーティングとスロープレーティングは、コースが適正にマーキングされていることに基づいて査定される。すべての境界、ウォーターハザード、修理地が正しくマーキングされていれば、シーズン中に委員会が対処しなければならない問題はほとんど起こらない。

第 16 章： パーの設定

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第 2 章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

下記に示した表は、ホールのヤーデージに基づいたパーの設定に関するガイドラインである。スクラッチゴルファーのそのホールの実効プレー距離によってパーを決定する（第 13-3b 項参照）。これらのヤーデージは任意で適用することができ、グラウンドの状態および障害難易度の重大性を考慮に入れて決定すべきである。

JGA（承認されたゴルフ協会）は、ホールのパー設定に関する疑問が発生した場合に問題を裁く権限を持つ（裁定 16/1 参照）。

パーの設定のガイドライン

パー	男子	女子
3	250 ヤード以下	210 ヤード以下
4	251 ～ 470 ヤード	211 ～ 400 ヤード
5	471 ～ 690 ヤード	401 ～ 590 ヤード
6	691 ヤード以上	591 ヤード以上

【裁定集】第16章：パーの設定

16-1. USGA のガイドラインに則していないパーの設定

質問： 第16章に従ったパーの設定が行われていない場合、どのような措置をとることができるか？ 例えば、ある倶楽部では、特別な状況は存在しない330ヤードのホールを、女子の場合パー5に設定している。このパー設定は、USGAのガイドラインから大きくかけ離れている。JGAハンディキャップ規定（USGAハンディキャップシステム準拠）を使用する倶楽部は、ガイドラインに沿ったパー設定を行わなければならないか？

回答： 倶楽部はガイドラインの範囲内でパーを設定しなければならない。

第17章：ハンディキャップストロークの割り当て

用語の定義

定義はゴシック体で表記され、「第2章-用語の定義」にアルファベット順に記載されている。

17-1. 委員会の裁量

ハンディキャップストロークの割り当てには、以下の手順を適用することを勧める。但し、ハンディキャップに及ぼす影響は最小限であるため、この手順は必須ではない。すべてのゴルフコースの状態を網羅できる共通の手段は存在しないので、ハンディキャップストロークの割り当てには、的確な判断が最も重要な要素として求められる。ハンディキャップ委員会は、異なるハンディキャップレベルのプレーヤーが平等に対戦できるようにするという基本

理念を念頭に入れ、コースの各ホールを精査するべきである。男子と女子ではハンディキャップが必要となるホールが異なる場合が多いので、割り当ても通常男女で異なる。一般的に、本章の推奨手順にできるだけ沿うことが有効であると言える。ハンディキャップストロークは、シングルマッチプレーやフォアボールマッチプレーで、ハンディキャップの多いプレーヤーが引き分けるために最もハンディキャップを必要とするホールに割り当てられるべきである。パーをとるのが難しいかどうかは、ハンディキャップが必要かどうかの判断基準としては適切でない。

18 ホールにハンディキャップストロークの順番（ハンディキャップナンバー）を割り当てる際には、勝つためのハンディキャップではなく、引き分けるためのハンディキャップという観点で、ハンディキャップストロークの必要性を考慮すべきである。この目的を達成するために、以下の手順を勧める。

■ a. 割り当ての基本

倶楽部会員の大半が最も頻繁に使用しているティーマーカーからプレーした場合に基づいてハンディキャップストロークを割り当てる。

まず、フロントナインでハンディキャップの多いプレーヤーが最もハンディキャップを必要とするホールに、ハンディキャップナンバー「1」をつける。次に、バックナインでハンディキャップの多いプレーヤーが最もハンディキャップを必要とするホールに、ハンディキャップナンバー「2」をつける。この手順で、18 ホールをフロントナインとバックナインで交互にハンディキャップナンバーを割り当てていく。

通常は、距離の長いホールほどハンディキャップの多いプレーヤーがハンディキャップを必要とする。

■ b. ハンディキャップナンバーの割り当て

(i) 偶数ナンバー／奇数ナンバー

フロントナインに奇数ナンバーを割り当て、バックナインに偶数ナンバーを割り当てることを USGA は勧めている。

この方法を採用することによって、18 ホール全体で均等にハンディキャップストロークを配分することができ、マッチをより公平にする。バックナインの方がフロントナインより格段に難しい場合、奇数ナンバーをバックナインに割り当てることを考慮するべきである。

(ii) 小さいハンディキャップナンバーの重要性

ハンディキャップナンバー「1」は、ほぼ同等の技量のプレーヤー同士がマッチで対戦した場合に、そのハンディキャップストロークが最も効果的に機能するホールに割り当てべきである。即ちコースハンディキャップ 0（ゼロ）と 1、10 と 11、或いは 29 と 30 のプレーヤーが対戦するマッチでは、両者が平等に対戦できるようにするために、ハンディキャップナンバー「1」をどのホールに割り当てるかは非常に重要である。

ハンディキャップナンバー「2」は、**コースハンディキャップ**の差が上記の場合よりも少し大きいプレーヤー同士のマッチを想定してホールを決定する。即ちハンディキャップ 0 (ゼロ) と 2、ハンディキャップ 10 と 12、或いはハンディキャップ 29 と 31 のプレーヤーが対戦するマッチである。この手順を使って、ハンディキャップナンバー「6」までを割り当てていく。

上記の手順から大きくかけ離れない範囲で、小さいハンディキャップナンバーを各 9 ホールの後ろに割り当てては避けるべきである。何故ならプレーヤーが受けることのできるハンディキャップを使う機会を得る前に、マッチの勝敗が決まってしまう可能性があるからである。ホールバイホールのプレーオフが必要となる場合には、小さいハンディキャップナンバーは最初のホールまたは 2 番目のホールに割り当てておくべきである。

17-2. スコアに基づく割り当て

ハンディキャップの差が大きいプレーヤー同士が対戦する場合、互いに平等に対戦できるようにするという理念に基づいて、以下のような計算による割り当てを行うべきである。この方法は、男子のスコアと女子のスコアを別々に適用することができる。

注： スコアに基づく割り当てを採用する場合、**ハンディキャップ委員会**は第 17-1 項を優先的に考慮しなければならない(下記 (vii) 参照)。

■ a. 比較方式

- (i) 男子**コースハンディキャップ** 8 以下、女子**コースハンディキャップ** 14 以下のプレーヤーの集団(グループ A) から約 200 枚のホールバイホールスコアを集める。低いハンディキャップのプレーヤーの数が少ない倶楽部は、最も**コースハンディキャップ**の低いプレーヤー達のスコアの 25 パーセントを 200 枚のなかに採用できる。これらのスコアは**ストロークコントロール**による調整が加えられていないものであるべきである。
- (ii) グループ A の各ホールの平均スコアと平均**コースハンディキャップ**を算出する。
- (iii) 平均的なハンディキャップから高いハンディキャップのプレーヤーの集団(グループ B) より約 200 枚のホールバイホールスコアを集める。グループ B のプレーヤーの平均**コースハンディキャップ**は、グループ A より 15 ~ 20 打多くなるべきである。各プレーヤーの**コースハンディキャップ**は、男子 20 ~ 28、女子 26 ~ 40 の範囲内であることが望ましい。これらのスコアは**ストロークコントロール**による調整が加えられていないものであるべきである。

- (iv) グループ B の各ホールの平均スコアと平均コースハンディキャップを算出する。
- (v) グループ A とグループ B の各ホールの平均スコアの差を求める（グループ A からグループ B を引く）。
- (vi) グループ A の平均スコア、グループ B の平均スコア、および平均スコアの差に基づいて、各ホールに 1～18 のランキングをつける。平均スコアの差が最も大きいホールがランキング 1 番目となる。これがハンディキャップの多いプレーヤーが最もハンディキャップを必要とするホールであり、ハンディキャップナンバー「1」となる。この手順を「18」まで続ける。
- (vii) 第 17-1b 項（ハンディキャップナンバーの割り当て手順）、および下記の注 1 および注 2 に従って、上記のハンディキャップナンバーを修正する。

注 1： 上記の計算結果でホール A がホール B よりランキングが上になったが、委員会はホール B の方がホール A よりもランキングが上だと考える場合がある。このような場合、委員会は以下の手順をとる。まず、ランキング 1 番の平均スコア差からランキング 18 番の平均スコア差を引き、その値を 18 で割る（平均領域）。次に、ホール A とホール B の平均スコア差の差異を求め、この数値が平均領域よりも大きくならなければ、委員会は計算結果を破棄し、ホール B をホール A より上にランキングするのが適切である。

注 1： 上記の平均スコア差に基づいた計算の結果、ハンディキャップの多いプレーヤーに重大な問題をもたらすウォーターハザードがあるホールが、ハンディキャップナンバー「1」または「2」となった。しかし委員会は、同等の技量のプレーヤー同士が対戦する場合には、これは適切でないと考えた。この場合、委員会はこのホールのランキングを下げハンディキャップナンバーを変更することができる。委員会は、何が公平な結果をもたらすかということについて、常に確かな判断を下すべきである。

■ b. 回帰分析方式

もう一つの計算方法として、回帰分析方式がある。この方法は、幅広いコースハンディキャップのプレーヤーから少なくとも 400 枚のスコアを集め、その分析計算結果でハンディキャップナンバー割り当てを決定する。基本的には第 17-2 項の「比較方式」と類似した計算方法だが、こちらは使用するスコアの枚数が多く、また「比較方式」ではコースハンディキャップが大きく異なる 2 種類の限定されたプレーヤー集団の間でスコアを比較しているのに対して、この「回帰分析方式」では、あらゆるコースハンディキャップを網羅する数多くのスコアをまとめて分析し、ハンディキャップナンバーの割り当てを決める。

ステップ1: 同じティーインググラウンドを使用した同じ性別のプレーヤーのホールバイホールスコアを、N枚集める（少なくとも400枚、多ければ多いほど良い）。

ステップ2: 対になっているホールバイホールスコアとコースハンディキャップをすべて抽出し、ホール毎に以下の手順で計算する。

- 1) すべてのコースハンディキャップを合計する = S1（これは全ホール同じ値）
- 2) すべてのスコアを合計する = S2
- 3) 各コースハンディキャップを2乗し、それを合計する = S3（これも全ホール同じ値）
- 4) 対になっているコースハンディキャップとスコアを掛け合わせ、それを合計する = S4
- 5) 相違要因を計算する (DF)

$$DF = (N \times S4) - (S1 \times S2) \div (N \times S3) - (S1^2)$$

ステップ3: DF値に基づいてすべてのホールにランキングをつける。DF値が大きいほど、ハンディキャップの少ないゴルファーと多いゴルファーのスコア差が大きくなると予想される（DF値が最大のホールはハンディキャップナンバー「1」となる）。

ステップ4: 委員会の裁量で、ハンディキャップナンバーを最終決定する。

17-3. 9ホールコース

9ホールを2回プレーして18ホールの正規のラウンドとしている9ホールのコースでも、同様の原則を適用する。

17-4. 27ホールコース

27ホールのコースの場合は、各9ホール毎にハンディキャップナンバーを割り当てるべきである。9ホールを2つ組み合わせて18ホールのハンディキャップ競技を行う場合は、奇数のハンディキャップナンバーが割り当てられている方をフロントナインとし、偶数のハンディキャップナンバーが割り当てられている方をバックナインとするべきである。2つの9ホールを組み合わせた競技の割り当て例は、下記の表を参照。

男女混合競技では、各9ホールの男女それぞれのハンディキャップナンバーを使用して、18ホールの割り当てを男女別々に変換する。

ハンディキャップナンバー割り当て例

ホール	フロントナイン									バックナイン								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	7	8	9
9 ホール HDPC ナンバー	5	4	9	2	8	1	3	7	6	4	9	2	1	3	5	6	8	7
18 ホール HDPC ナンバー	9	7	17	3	15	1	5	13	11	8	18	4	2	6	10	12	16	14

17-5. フォアボールおよびベストボールストロークプレー、ステーブルフォード

フォアボールストロークプレー競技、ベストボールストロークプレー競技、およびステーブルフォード競技では、対パー難易度に基づくハンディキャップナンバーの割り当てを採用するのが適切であると考えられる。

このようなプレー形式の場合、各ホールの対パー難易度が効果的なハンディキャップナンバー割り当ての基準となることが多い。もしゴルフ倶楽部が第 17-2 項で示されているスコアに基づく割り当てを採用している場合、以下の方法で対パー難易度に基づいたストロークプレー競技のハンディキャップナンバー割り当てを決めることができる。これは、グループ A とグループ B のプレーヤーにとっての各ホールの難易度を平均することによって、各ホールの対パー難易度を示すものである。

- ・グループ A とグループ B の各ホールの平均スコアを合計する。
- ・上記の合計を 2 倍した数値からそのホールのパーを引く。
- ・上記数値の大きい順で各ホールにランキングをつける。
- ・上記のランキングに修正は加えない。

スコアに基づくハンディキャップナンバー割り当て例

男子の例						
グループ A の平均コースハンディキャップ : 6						
グループ B の平均コースハンディキャップ : 22						
平均領域 = $(2.38 - 0.73) \div 18 = 0.09$						
ホール	グループ A 平均スコア	グループ B 平均スコア	平均スコア 差	ランク	* 17-1b(i) 修正	** 17-1b(ii) 修正
1	4.12	5.25	1.13	10	8	8
2	4.31	5.72	1.41	6	4	4
3	3.35	4.10	0.75	15	14	14
4	5.35	7.45	2.10	2	2	2
5	4.16	4.90	0.74	17	16	16
6	3.90	4.63	0.73	18	18	18
7	3.12	4.05	0.93	12	10	10
8	5.10	6.32	1.22	8	6	6
9	3.95	4.83	0.88	13	12	12
10	4.25	6.29	2.04	3	3	1
11	4.30	5.75	1.45	5	7	7
12	4.10	5.15	1.05	11	13	13
13	3.41	4.80	1.39	7	9	9
14	4.95	5.75	0.80	14	15	15
15	4.28	5.50	1.22	9	11	11
16	3.25	4.00	0.75	16	17	17
17	5.21	7.05	1.84	4	5	3
18	4.45	6.83	2.38	1	1	5
* バックナインの方がフロントナインより難しいと判断し、 奇数ナンバーをバックナインに割り当てた。						
** 第 17-1b(ii) の推奨手順に従い、 18 番ホールは「1」ではなく「5」を割り当てた。						

対パー難易度に基づく ハンディキャップナンバー割り当て例

男子の例						
ホール	パー	グループ A 平均スコア	グループ B 平均スコア	AB スコア計	AB スコア計 マイナス (パー × 2)	ランク
1	5	5.25	6.52	11.77	1.77	10
2	3	3.46	3.96	7.42	1.42	14/15
3	4	4.76	5.57	10.33	2.33	4
4	4	4.69	5.89	10.58	2.58	2
5	4	4.50	5.56	10.06	2.06	6
6	5	5.28	6.61	11.89	1.89	7
7	4	3.96	4.74	8.70	0.70	18
8	3	3.38	4.04	7.42	1.42	14/15
9	4	4.22	5.06	9.28	1.28	16
10	5	5.21	6.53	11.74	1.74	11
11	3	3.50	4.13	7.63	1.63	12
12	4	4.70	5.84	10.51	2.54	3
13	4	4.77	6.24	11.01	3.01	1
14	4	4.62	5.51	10.13	2.13	5
15	5	5.34	6.46	11.80	1.80	9
16	4	4.33	4.93	9.26	1.26	17
17	3	3.54	4.30	7.84	1.84	8
18	4	4.37	5.11	9.48	1.48	13

パートIV — 付則

付則 A: JGA/USGA ショートコースハンディキャップの査定手順

JGA/USGA ショートコースハンディキャップは、ショートコース（距離 3,000 ヤード未満の 18 ホールコースまたは 1,500 ヤード未満の 9 ホールコース）におけるプレーヤーの潜在技量を示した尺度をいう。この潜在技量はプレーヤーの最も良いスコア複数枚に基づいて査定され、整数で表示される。これらのスコアは、ショートコースハンディキャップディファレンシャルを算出することによって識別される。

A-1. JGA/USGA ショートコースハンディキャップを使用できるゴルフ倶楽部

JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) を順守するゴルフ倶楽部は、下記の条件を満たせば JGA/USGA ショートコースハンディキャップを発行することができる。

- (i) ゴルフ倶楽部の会員は、距離 3,000 ヤード未満の 18 ホールコースまたは 1,500 ヤード未満の 9 ホールコースでプレーしなければならない。
- (ii) ゴルフ倶楽部は、「JGA/USGA コースレーティングシステム規定」第 18 章 (JGA/USGA ショートコースレーティングの査定手順) に定められたガイドラインに従って、JGA (承認されたゴルフ協会) によって査定されなければならない。
- (iii) JGA/USGA ショートコースハンディキャップは持ち運び不可であり、発給を受けたゴルフコース以外では使用できない。
- (iv) 距離 3,000 ヤード未満の 18 ホールコースを持つ倶楽部は JGA/USGA ショートコースハンディキャップを発行することができる。但し、そのようなコースに JGA/USGA コースレーティングおよびスローレーティングを査定できないこともあり、そのようなハンディキャップは「JGA/USGA ハンディキャップインデックス」の名称を使用することができず、略称コード「SL」と付記してショートコースハンディキャップとして識別しなければならない。

A-2. JGA/USGA ショートコースハンディキャップの計算方法

■ a. JGA/USGA ショートコースハンディキャップの算出

ショートコースハンディキャップディファレンシャルとは、プレーヤーの調整グロススコアと JGA/USGA ショートコースレーティングの差をいい、小数第 1 位までの数値で表示する。

- (i) **プラスディファレンシャル**
調整グロススコアが JGA/USGA ショートコースレーティングよりも高い数値の場合、ショートコースハンディキャップディファレンシャルは正の数（プラス）となる。以下は、JGA/USGA ショートコースレーティング 51.2 の場合の、ディファ

レンシャル算出例である。

調整グロススコア:	64
JGA/USGA ショートコースレーティング:	<u>-51.2</u>
ショートコースハンディキャップデифアレンシャル:	12.8

(ii) **マイナスデифアレンシャル**

調整グロススコアが JGA/USGA ショートコースレーティングよりも低い数値の場合、ショートコースハンディキャップデифアレンシャルは負の数(マイナス)となる。以下は、JGA/USGA ショートコースレーティング 51.2 の場合の、デифアレンシャル算出例である。

調整グロススコア:	50
JGA/USGA ショートコースレーティング:	<u>-51.2</u>
ショートコースハンディキャップデифアレンシャル:	-1.2

■ **b. ショートコースハンディキャップ計算式**

JGA/USGA ショートコースハンディキャップの計算式は、プレーヤーのスコア記録に登録されている最も低いショートコースハンディキャップデифアレンシャルに基づく。プレーヤーのスコア記録に 20 枚以上のスコアが登録されている場合は、最新 20 枚のスコアのうち最も低いショートコースハンディキャップデифアレンシャル 10 枚を使用して計算する。スコア記録に登録されているスコアの数が少なくなると、使用するスコアの比率も小さくなる。例えば、スコア記録内のスコアが 9 ~ 10 枚の場合は、使用するのはベスト 3 枚(30 ~ 33 パーセント)となる。従って、プレーヤーの JGA/USGA ショートコースハンディキャップの正確性は、提出された採用可能なスコアの枚数に比例する。このため、提出された採用可能なスコアが 5 枚未満のプレーヤーには、JGA/USGA ショートコースハンディキャップを発給してはならない。JGA/USGA ショートコースハンディキャップは整数で表示する(例: 10SL)。

例 1: 以下は、20 枚のスコアが登録されているプレーヤーのスコア記録から、ゴルフ倶楽部または JGA(承認されたゴルフ協会)によって JGA/USGA ショートコースハンディキャップがどのように査定されるかを示した例である。

日付	調整 グロススコア	JGA/USGA ショート コースレーティング	ハンディキャップディ ファレンシャル
12/21/08	65	51.2	13.8
12/12/08	*58	51.2	6.8
11/10/08	*66	53.6	12.4
11/20/07	*63	51.2	11.8
11/18/07	68	53.6	14.4
11/17/07	65	51.2	13.8
11/16/07	*58	51.2	6.8
10/12/07	*63	51.2	11.8
10/10/07	68	53.6	14.4
9/8/07	*60	53.6	14.4
9/4/07	*59	51.2	7.8
9/1/07	65	51.2	13.8
8/24/07	*61	53.6	7.4
8/16/07	67	53.6	13.4
8/12/07	68	53.6	14.4
8/2/07	65	51.2	13.8
7/14/07	68	53.6	14.4
7/5/07	65	51.2	13.8
7/4/07	*63	51.2	11.8
7/1/07	*60	53.6	6.4

ベスト 10 枚のショートコース
ハンディキャップディファレンシャル： 89.4

上記の平均値 (89.4÷10)： 8.94

JGA/USGA ショートコースハンディキャップ： 9SL (端数四捨五入)

例 2： 以下は、登録されているスコアが 20 枚未満 (11 枚の場合) のプレーヤーのスコア記録から、ゴルフ倶楽部または JGA (承認されたゴルフ協会) によって JGA/USGA ショートコースハンディキャップがどのように査定されるかを示した例である。

- (i) 以下の表を使用し、提出された採用可能なスコアの枚数に応じて使用するショートコースハンディキャップディファレンシャルの枚数を決定する。

採用可能なスコア枚数	使用する ディファレンシャル枚数
5～6	ベスト1枚
7～8	ベスト2枚
9～10	ベスト3枚
11～12	ベスト4枚
13～14	ベスト5枚
15～16	ベスト6枚
17	ベスト7枚
18	ベスト8枚
19	ベスト9枚
20	ベスト10枚

- (ii) 使用するショートコースハンディキャップディファレンシャルを決定する。
- (iii) 使用するショートコースハンディキャップディファレンシャルの平均を求める。
- (iv) 端数を四捨五入して整数で表示する。

ベスト4枚のショートコース
ハンディキャップディファレンシャル： 44.3

上記の平均値 (44.3÷4)： 11.075

JGA/USGA ショートコースハンディキャップ： 11SL (端数四捨五入)

注： JGA/USGA ショートコースハンディキャップは整数で表示する (JGA/USGA ハンディキャップインデックスのように小数第1位まで表示しない)。JGA/USGA ショートコースハンディキャップは持ち運び不可であり、プレーヤーのホームゴルフ倶楽部以外で使用することはできない。

付則 B： 第 8-4 項適用に関する通知文書サンプル例

[倶楽部名]

[日付]

[宛名]

貴殿(貴女)のスコア記録を検証した結果、[倶楽部名]ハンディキャップ委員会は貴殿(貴女)の JGA/USGA ハンディキャップインデックスが潜在技量を正確に反映していないと判断し、貴殿(貴女)の[急激な上達/大量のアウェイスコア/負傷/スコア未提出/誤りのあるスコアの提出]が JGA/USGA ハンディキャップインデックスを不正確なものにしていると結論づけました。

つきましては公平なプレーを促進するため、当委員会は「JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠)」第 8-4c 項の規定に基づいて、貴殿(貴女)の JGA/USGA ハンディキャップインデックスを[例:8.4M]に修正することになりました。この修正が実施される前に、貴殿(貴女)は当委員会に対して、[期日]までに直接または文書にて異議を申し立てることができます。当委員会に対する連絡が無い場合、または当委員会が修正理由を有効と決定した場合、修正された JGA/USGA ハンディキャップインデックスは[日付]より有効となります。

当委員会はハンディキャップ更新日毎に本修正の見直しを行い、必要と判断すれば、第 10-2 項の規定に基づいた通常のハンディキャップ査定方法に戻します。当面の間は、すべてのスコア提出を継続し、JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠)の順守に努めて頂くようお願い申し上げます。

ハンディキャップ委員長

付則 C： ジュニアパー

ジュニアパーは、様々な技量レベルのジュニアプレーヤーのために調整したパーであり、ジュニアが通常のパーでプレーできるようになるまでの間、その上達を測定する現実的な尺度を提供する。ジュニアの JGA/USGA ハンディキャップインデックスは第 10 章の計算式によって査定され、プレーするコースのコースハンディキャップに換算する。

C-1. ジュニアのレベル分類

ジュニアパーを使用することによって、プレーヤーを初心者、中級者、上級者などの技量別に分類できる。初心者はコースハンディキャップ 41 以上、中級者はコースハンディキャップ 25 ～ 40、上級者はコースハンディキャップ 24 以下のジュニアプレーヤーをいう（ジュニアのコースハンディキャップは、通常フォワードティーの JGA/USGA コースレーティングとスローレーティングに基づく）。

ゴルフ倶楽部は、JGA/USGA ハンディキャップインデックスを持たないジュニアの技量を別の方法でレベル分類することができる。例えば、初心者のプレーを 3 ～ 6 ホールに限定し、上達に応じて 9 ホール、18 ホールへとプレーするホール数を増やしているゴルフ倶楽部がある。このような倶楽部は、3 ～ 6 ホールのプレーヤーを初心者、9 ホールと 18 ホールのプレーヤーをコースハンディキャップ 24 以下になるまで中級者として分類することができる。

C-2. ジュニアパーの設定

ジュニアパーは、各ホールのフォワードティーからの距離とジュニアプレーヤーの技量に基づいて設定する。下記は、男女それぞれのジュニアパーの設定方法を示したものである。

女子							
	ホール距離によるジュニアパーの設定						
	3	4	5	6	7	8	9
初心者	90y 以下	91 ～ 160y	161 ～ 230y	231 ～ 300y	301 ～ 370y	371 ～ 440y	441y 以上
中級者	140y 以下	141 ～ 250y	251 ～ 355y	356 ～ 470y	471y 以上	—	—
上級者	＜大人と同じ通常のパーを使用＞						
例：初心者女子ジュニアは 150y のホールはパー 4。中級者女子ジュニアは 400y のホールはパー 6。							

男子							
	ホール距離によるジュニアパーの設定						
	3	4	5	6	7	8	9
初心者	100y 以下	101～ 180y	181～ 260y	261～ 340y	341～ 420y	421～ 500y	501y 以上
中級者	150y 以下	151～ 270y	271～ 390y	391～ 510y	511y 以上	—	—
上級者	<大人と同じ通常のパーを使用>						

例:初心者男子ジュニアは150yのホールはパー4。中級者男子ジュニアは400yのホールはパー6。

C-1. ジュニア用スコアカード

フォワード ティー	ジュニアパー				HDCP ナンバー	±	HOLE	±
	男子		女子					
	初心者	中級者	初心者	中級者				
333	6	5	7	5	7		1	
125	4	3	4	3	17		2	
442	8	6	9	6	1		3	
360	7	5	7	6	11		4	
167	4	4	5	4	15		5	
326	6	5	7	5	13		6	
358	7	5	7	6	9		7	
406	7	6	8	6	5		8	
496	8	6	9	7	3		9	
3,013	57	45	63	48	OUT			
361	7	5	7	6	10		10	
496	8	6	9	7	2		11	
318	6	5	7	5	12		12	
282	6	5	6	5	14		13	
123	4	3	4	3	18		14	
359	7	5	7	6	8		15	
168	4	4	5	4	16		16	
443	8	6	9	6	4		17	
385	7	5	8	6	6		18	
2,935	57	44	62	48	IN			
5,948	114	89	125	96	TOTAL			
コースハンディキャップ								
ネットスコア								
プレーヤー			アテスト			日付		

C-4. ジュニアパーに基づくスコアの提出方法

ジュニアプレーヤーは第 4 章に従って各ホールスコアの調整を行い、第 5-2 項に従って適切な JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングと共にスコアを提出する。

付則 D: 第 3-5 項、および第 9-3c 項の解説文書サンプル例

[倶楽部名]

[日付]

[宛名]

異なるティーインググラウンドを使用するプレーヤー同士が対戦する場合のハンディキャップの取扱について、貴殿（貴女）のご質問にお答え致します。

JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) では、各プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスをコースハンディキャップに換算し、算出されたコースハンディキャップに基づいてプレーします。しかし、異なるティーインググラウンドを使用するプレーヤー同士が対戦し、それぞれのティーインググラウンドに設定された JGA/USGA コースレーティングが異なる場合、ハンディキャップの多いプレーヤーに対してコースハンディキャップの修正を加えなければなりません。

競技者間で JGA/USGA コースレーティングに差異があると基準が変わってしまうため、競技の公平性を保つためにレーティングの差を適切に処理しなければなりません（「JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) 規定」第 3-5 項の例を参照）。

この修正には 2 つの方法があり、コースレーティング差異分を、レーティングの高いティーインググラウンドを使用するプレーヤーに付加するか、或いはレーティングの低いティーインググラウンドを使用するプレーヤーから差し引くことができます（詳細は裁定 3-5/1 を参照）。

但し、この修正を適用できるのはプレーヤー同士が直接対戦する場合のみです。また JGA/USGA ハンディキャップインデックスはあくまでも指標値であり、個別のティーインググラウンドには対応しません。特定のティーインググラウンドの JGA/USGA コースレーティングに基づく適正なハンディキャップをプレーヤーに与えるのは、コースハンディキャップだけです。

JGA/USGA ハンディキャップインデックスはプレーヤーの潜在技量を数値で表したものであり、これを個別のティーインググラウンドに対応させるためにはコースハンディキャップに変換する必要があります。そして異なるティーインググラウンドを使用するプレーヤー同士が対戦する場合は、更に追加の修正を加えて公平な競技が行えるようにします。

異なるティーインググラウンドを使用する競技で「JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠)」第 3-5 項の規定を適用しないことは、「ゴルフ規則」に反することになり、競技を管理する委員会はそのような権限を持っていません。

詳細については、異なるティーインググラウンドを使用する競技に関するパンフレットおよび説明書をご参照下さい。

ハンディキャップ委員長

付則 E： 非常に優れたトーナメントスコアの確率表

JGA/USGA ハンディキャップ インデックス範囲		0～5	6～12	13～21	22～30	30超
ネット ディ ファ レン シ ャ ル	0	5	5	6	5	5
	-1	10	10	10	8	7
	-2	23	22	21	13	10
	-3	57	51	43	23	15
	-4	151	121	87	40	22
	-5	379	276	174	72	35
	-6	790	536	323	130	60
	-7	2349	1200	552	229	101
	-8	20111	4467	1138	382	185
	-9	48219	27877	3577	695	359
-10	125000	84300	37000	1650	874	

上記の表は、プレーヤーが左側に記載されたネットディファレンシャル*を下回るスコアを出す確率を、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの範囲別に示したものである。

* ネットディファレンシャルとは、個別のトーナメントスコアのハンディキャップディファレンシャルからプレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスを差し引いたものである。この数値は、プレーヤーが自身の JGA/USGA ハンディキャップインデックスよりも良いスコアを出した時に負の数（マイナス）となる。

例： JGA/USGA ハンディキャップインデックス 10.5 のプレーヤーが、JGA/USGA コースレーティング 71.2、スロープレーティング 126 のティーから 74 でプレーした。

$$(74 - 71.2) = 2.8 \times 113 \div 126 = 2.5 \text{ ハンディキャップディファレンシャル}$$

$$2.5 - 10.5 = 8.0 \text{ ネットディファレンシャル}$$

上記の表より、これが起こる確率は 4,467 分の 1 である。

付則 F: 倶楽部向け JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) ライセンスプログラム

ゴルフ倶楽部として JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の使用を希望する団体は、JGA (承認されたゴルフ協会) に連絡し、認可を受けなければならない。JGA (承認されたゴルフ協会) は、認可に関するその団体の申請内容を精査し、そのゴルフ倶楽部が決められたシーズンおよびハンディキャップ更新日を守ることを確認しなければならない。

「ゴルフ倶楽部」とは、最低 10 名の会員* で構成する組織で、ゴルフ活動の管理、スコア検証の実施、および JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の保全を目的として、規約と委員会 (特にハンディキャップ委員会) によって運営されるものをいう (倶楽部コンプライアンスチェックリスト・第 8-2m 項、および裁定 2/7 参照)。ゴルフ倶楽部は JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) を使用するための認可を受けなければならない。この認可は、既に USGA のライセンス認可を受けている JGA (承認されたゴルフ協会) の会員制度を通して受けることができる。

ゴルフ倶楽部の会員同士は、合理的且つ定期的に共にプレーする機会を持たなければならない。スコアは会員本人が提出しなければならない。また会員仲間や倶楽部のハンディキャップ委員会を含む (但しそれらに限定しない)、他者によるスコアの検証を受けられるようにしなければならない。

ゴルフ倶楽部は、以下 3 種類のいずれかとする:

タイプ 1: タイプ 1 倶楽部は、有効な JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングを保持する特定のゴルフコースに会員が所属し、そのゴルフコースで倶楽部競技の大部分が開催され、また倶楽部のスコア記録が保管されている場合をいう。

タイプ 2: タイプ 2 倶楽部は、職業、共済、民族、または社交上の組織を通して会員が交流し、会員の多数が倶楽部の設立以前から交流関係にある場合をいう。

タイプ 3: タイプ 3 倶楽部は、互いに面識のない者同士が会員として集まり、入会方法の大部分が公募 (新聞やインターネットなど) によって行われる場合をいう。

* 注: 承認されたゴルフ協会のなかには、事務管理上の理由で、ゴルフ倶楽部が承認されたゴルフ協会に加盟する条件として、USGA が定める最低会員数 10 名を超える所属会員数を義務づける場合がある (第 2 章参照)。

認可を受けたゴルフ倶楽部は、コンプライアンス順守に関する監査を受けるものとする。(付則 G 参照)。

付則 G： ゴルフ倶楽部監査手順

USGA は、JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の保全を確保するために、ゴルフ倶楽部に対する監査プログラムを実施している。認可を受けたすべてのゴルフ倶楽部は、コンプライアンス順守に関する問題の有無に拘わらず、USGA の監査を受けることがある。

認可を受けたゴルフ倶楽部にコンプライアンス順守に関する潜在的な問題が存在するという旨の報告が、書面にて提出された場合、その倶楽部は直ちに監査を受ける。

ゴルフ倶楽部が監査手順を不服とした場合、USGA は問題点を明示した文書通達を行い、問題解決のための期限を設定する。この期限内に問題解決を図れなければ、その倶楽部は認可を受けたゴルフ倶楽部のリストから除外され、JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) を使用する権利を失う。

執行手順

USGA は JGA (承認されたゴルフ協会) に対して、コンプライアンス順守に関して倶楽部に連絡を取るよう要請する。もし JGA (承認されたゴルフ協会) または USGA が、その倶楽部にコンプライアンス順守を説得できなかった場合、USGA はその倶楽部に対して、JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) および USGA 商標類を使用できなくなる旨を通知する。

倶楽部は、JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の使用を認められたゴルフ倶楽部のリストから除外される。USGA は、その倶楽部の JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) 使用権が取り消された旨を他に知らせる権利を持つ。

異議申し立て

ゴルフ倶楽部が最初の決定を不服とした場合、JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) 使用権取消の通知を受けてから 30 日以内に、USGA ハンディキャップ委員会に対して文書による異議申し立てを行うことができる。もしゴルフ倶楽部が異議申し立てを行うことを選択した場合、倶楽部の代表者は、その件に関する審問が行われる USGA ハンディキャップ委員会の次回ミーティングについてしかるべき通知を受けなければならない。その場で反証する資格を与えられる。USGA ハンディキャップ委員会は、ゴルフ倶楽部から提供されたすべての情報、およびそのスタッフによる調査結果や提言を精査し、その問題に関する最終決定を下すものとする。

権利の回復

JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) の使用権を失ったゴルフ倶楽部が、その権利を回復するためには、再び認可を求める再申請手続きを行う必要がある。USGA は申請書を受け取った時点で、その申請を検討するための必要条件を倶楽

部に提示する。ゴルフクラブがこの必要条件を満たしていることを USGA が認めた場合、USGA はゴルフクラブ、およびそのクラブによるコンプライアンス不履行の通知を受けたすべての者に対して、そのクラブが再び JGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠) を使用できるようになったことを告示する。但し、権利を回復したゴルフクラブは、その後 2 年間は毎年 USGA による監査を受けなければならない。

付則 H： 最も上達したプレーヤーの決定方法

倶楽部内で、年末またはシーズン末に最も上達したプレーヤーを決定する場合、以下の方法を USGA は勧めている。

シーズン開始時に、プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスに「12」* を加え、これを数値 A とする。またシーズン終了時に、プレーヤーの JGA/USGA ハンディキャップインデックスに「12」を加え、これを数値 B とする。

数値 A を数値 B で割り、小数第 3 位までの数値で表示する。これが上達度を示す上達ポイントである。上達ポイントが最も大きいプレーヤーを、最も上達したプレーヤーとして表彰する。

例：

開始時ハンディキャップインデックス： 22.6

終了時ハンディキャップインデックス： 17.4

数値 A： $22.6 + 12 = 34.6$

数値 B： $17.4 + 12 = 29.4$

数値 A ÷ 数値 B： $34.6 \div 29.4 = 1.177$

上達ポイント： 1.177

上記の手順を各プレーヤーに適用し、その年に最も上達したプレーヤーを決定する。上達ポイントが最も大きいプレーヤーが、最も上達したプレーヤーである。

注： 9 ホールハンディキャップインデックスの場合は、開始時と終了時のハンディキャップインデックスに「12」ではなく「6」* を加える。

* 開始時と終了時の JGA/USGA ハンディキャップインデックスに加算する「6」および「12」の数値は、すべてのハンディキャップを網羅する上達度測定尺度として USGA が採用したものである。例えば、JGA/USGA ハンディキャップインデックス 20.0 から 10.0 に上達したプレーヤーの上達度（上達ポイント 1.454）と、5.0 から 0（ゼロ）に上達したプレーヤーの上達度（上達ポイント 1.416）は比較的同じ数値となるが、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの数値だけを見ると、それぞれの変動幅は「10」（ $20 - 10$ ）と「5」（ $5 - 0$ ）である。つまり、「6」と「12」の加算値を採用することによって、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの変動幅では測定できないプレーヤーの技量上達度を導き出すことができる。